

321

173



始



本溪湖城廠間經濟調查資料

南滿洲鐵道株式會社  
總務部事務局調查課

321-173



本調査資料ハ大正四年八月課員星武雄ヲ派シ本溪湖ヨリ城廠ニ  
至ル太子河流域一帶谿谷地方ノ一般經濟狀態ヲ調査セシメタル  
モノニシテ今之ヲ印刷ニ附シ以テ該地方ノ狀況ヲ知ラントスル  
者ノ參考ニ供ス

大正四年十二月一日

緒言

南滿洲鐵道株式會社

總務部事務局調査課

社寄贈本



# 本溪湖城廠間經濟調查資料

## 目次

第一章 總說	頁數
一、調查區域概說(一)二、戶口及耕地積(三)三、物資生產額(五)四、物資輸出額(六)五、雜品輸入額(七)	八
第二章 交通運輸	八
第一節 陸運	八
一、概說(八)二、道路ノ分布(一〇)三、運搬具(一八)四、運賃(二二)	八
第二節 水運	二二
一、概說(二二)二、太子河ノ水路(二四)三、船筏子(二七)四、運賃(三〇)	二二
第三章 產業	三一
第一節 農業	三一
一、耕地ノ分布(三一)二、土地(三三)三、公課及租子(三七)四、耕種(三八)五、農產額及輸出力(四一)	三一
六、農民(四三七)農家ノ家畜並ニ車輛(四五)	三一
第二節 工業	四七
一、農產加工業	四七
イ、燒鍋(四七)口、油房(五一)ハ、磨房(五二)ニ、粉房(五二)	四七

目次

一



本溪湖城廠間經濟調查資料

- 一、窯業（當缸）.....五三
- 三、香料製造業（水磨房及香房）.....五五
- 第三節 商業.....五七
- 第四節 林業.....五八
  - 一、森林ノ分布（五八）、木材ノ種類（五九）、木材ノ伐採及流筏（六一）、木材輸出額（六三）
  - 五、木材ノ公課（六四）、六、林業副產物（藥材及菌類）（六四）
- 第五節 鑛業（省略）.....
- 第四章 市邑.....六七
  - 第一節 城廠.....六七
    - 一、市街狀況.....六七
    - 二、商業.....六九
      - イ、概説（六九）、商店（七〇）、八、商業機關（七一）
    - 三、重要商品.....七二
      - イ、農產物（七二）、農產加工品（七四）、八、木材（七七）、特產物（八〇）、ホ、輸入雜貨（八三）
    - 四、金融及度量衡.....八六
      - イ、金融概説（八六）、通貨（八六）、度量衡（八七）
    - 五、交通（省略）.....

- 第二節 牛心臺及紅臉溝.....八八
  - 一、一般狀況（八八）、二、炭坑概況（八九）、三、紅臉溝概況（八九）、四、牛心臺驛發著貨物（九二）、五、交通（九二）
- 第三節 高麗營子.....九二
  - 一、一般狀況（九二）、二、物資集散（九三）、三、通貨及度量衡（九四）、四、土地（九五）、五、交通（九六）
- 第四節 小市.....九六
  - 一、市街狀況（九六）、二、商業概況（九七）、三、重要商品（九七）、四、通貨及度量衡（一〇〇）、五、農業（一〇一）、六、交通（一〇一）
- 第五節 韭菜峪.....一〇一
  - 一、一般狀況（一〇一）、二、重要商品（一〇一）
- 第六節 小甸子.....一〇四
  - 一、一般狀況（一〇四）、二、物資集散（一〇五）、三、通貨及度量衡（一〇七）
- 第七節 望城崗子及清河城.....一〇九
  - 一、一般狀況（一〇九）、二、物資集散（一一〇）、三、通貨及度量衡（一一二）、四、農業一斑（一一二）、五、清河城（一一三）
- 第八節 大堡及田師傅溝口.....一一三
  - 一、大堡（一一三）、二、田師傅溝口（一一五）
- 第九節 馬家城子及葦子峪.....一一六
  - 一、馬家城子（一一六）、二、葦子峪（一一七）

目次

四

第五章 沿道狀況…………… 一一八

  第一節 牛心臺小市間…………… 一一八

  第二節 小市城廠間…………… 一二三

  第三節 城廠望城崗子間…………… 一二九

  第四節 望城崗子牛心臺間…………… 一三四

以上

附圖 本溪湖城廠間調查地方圖



# 本溪湖城廠間經濟調查資料

大正四年八月

課員 星 武 雄 調查

## 第一章 總 說

### 一、 調查區域概況

本調查區域ハ牛心臺ヨリ起リ小市、韭菜峪、城廠、小甸子、高麗營子地方ヲ含ミ面積約百八方邦里ニ互ル一帶トス

區域内ノ戶數一萬四千一百戶、人口九萬五千四百人、一方邦里ノ平均人口八百八十六人アリ

平地ニ乏シク概ネ山岳重疊ス、太子河ノ本支流其間ヲ貫通シ其河岸ニ處々小盆地アレトモ多クハ岩崖屹立ス



陸路ハ概シテ險惡ナリ殊ニ雨期ハ一時交通杜絶ス冬季ハ河水ヲ利用シテ大車ヲ通シ夏季ハ馱馬ヲ通スルモノ普通ナリ夏冬ヲ通シテ車運スルコトヲ得ルハ城廠、草河口間ノ道路ニ過キスシテ城廠本溪湖間本道ノ如キハ馱馬道ニシテ車運不可能ナリ

太子河ハ本溪湖ヨリ上流ハ城廠、葦子峪マテ下流ハ遼陽地方ニ陰曆四月以降八月ニ至ル間船筏子ト稱スル小舟ヲ通ス、水路ノ屈曲甚タシク深淺一ナラス漲水ニ際シテハ停航ノ已ムナキニ至ル、概シテ水運ハ木材流筏ノ外左程價値アルモノニ非ス

總 說

通信設備ハ各市街地ニ郵便代寄處ノ設アルモ未タ電報局ヲ開設スルニ至ラス  
 調査區域内ノ農村三百八十三箇村耕地四萬九千日地每一人宛耕地三畝〇八ヲ有シ主トシテ高粱、黃  
 豆、穀子ヲ種作ス、平甸地ニ乏シキヲ以テ山嶺ノ傾斜地タモ叮嚀ニ耕作セラレ峻嶺ノ高頂ニ及フモノ  
 少シトセス、將來新ニ開墾スヘキ餘地殆トナシ、地味概シテ中等、毎日地ノ收穫平均三石五斗乃至四石  
 ト見レハ大差ナシ、農産額合計約十九萬石其内約四萬八千石ノ輸出力ヲ有シ副産物トシテハ麻五十  
 四萬斤、葉煙草四萬斤アリ、農民一般ニ貧窮ニシテ副業トシテ人夫其他ノ工力ヲナシ僅ニ蠅頭ノ利ヲ  
 得テ辛フシテ生計ヲ立テツツアリ、家畜車輛モ亦一般ニ少數ナリ  
 工業ハ農産加工業トシテ燒鍋三戸ノ生産額一百五萬斤内六十萬斤ヲ輸出シ、油房九戸ノ生産額豆油  
 九萬七千斤、大豆餅一萬五千枚、小豆餅九千五百枚アリ内大豆餅一萬五千枚ヲ輸出シ、磨房五戸ノ生産  
 額麥粉五萬斤、地方ノ需要ニ足ラスシテ却テ洋麵約十九萬斤ヲ輸入シ、粉房十七戸ノ生産額粉條五萬  
 五千斤ハ略ホ地方ノ需要ヲ充ス、蠶業トシテハ大堡附近ニ蠶室大小七戸アリ水缸三千四百組(大小四  
 組)及其他ノ雜土器ヲ生産シ大部分ヲ下流地方ニ輸出ス、香料製造業トシテハ湯河ノ流域一帶ニ水  
 磨房四十戸、内香房ヲ兼ヌルモノ二十五戸ノ生産額、楡麵四十萬斤、柞麵三十萬斤、線香四十萬斤アリ内  
 楡麵三十萬斤線香四十萬斤ヲ輸出ス  
 鑛山ノ内現時採掘セラルルハ牛心臺及田師傅溝ノ二炭坑ニシテ年産額牛心臺炭約八萬噸、田師傅溝  
 炭約二千噸アリ、其他到處ニ小炭坑多ケレトモ其産額多カラズ、鐵鑛モ亦數箇所アレトモ大堡附近ニ  
 少許ノ採掘アル外其他ハ休山中ナリ  
 商業範圍ハ附近ノ小區域ニ限り漸ク葦子峪四平街ニ及フノミ、雜貨類ノ輸入經路ハ交通ノ關係上安

東ヨリ草河口ヲ經由スルモノ過半ヲ占メ殘部ハ本溪湖、奉天、遼陽、千金寨地方ヨリ輸入ス、商業一般ニ  
 沈衰シ資本一萬元以上ヲ有スルモノ僅々七戸ニ過キス  
 通貨ハ硬貨缺乏シテ奉票之ニ代リ、商店發行ノ私帖又奉票ヲ壓倒シテ地方ノ主要通貨タリ、金融機關  
 爲替機關ト稱スヘキモノナク、金融狀態頗ル混亂逼迫ノ姿ニ在リ  
 輸入雜品ノ年額ハ布疋類約二十七萬疋、砂糖類約三十六萬斤、食鹽約三百四十五萬斤、鉄鐵十五萬斤等  
 其重ナルモノニシテ其内八割ハ城廠ニ輸入スルモノニ係ル  
 東南方一帶ニ約八十方邦里ノ森林地帯アリ、種類ハ雜樹ニシテ良材ニ乏シク徑一尺以上ノモノ稀ナ  
 リ、現在伐出セララルルモノハ城廠及葦子峪ノ二方面ニシテ年産額四十三萬餘本アリ皆筏ニ依リテ下  
 流各地ニ分銷セラル  
 林業副産物トシテ藥材約三十萬斤、菌類約六萬斤ヲ産スレトモ品質ハ吉林産ニ比シテ劣等ナリ  
 皮毛類ハ城廠、韭菜峪ヨリ獸皮約七千七百枚、獸毛約三萬五千斤ヲ産スレトモ却テ奉天ヨリ城廠ニ牛  
 皮一千餘枚ヲ輸入ス  
 市邑ハ城廠(戶數六〇〇)葦子峪(戶數二〇〇)ヲ除キテ市街ノ體裁ヲ成スモノナシ其ノ稍小市街トモ看  
 做サルヘキ村落ハ小市(戶數一〇〇)高麗營子(戶數一〇〇)大堡(戶數一〇〇)馬家城子(戶數四〇)韭菜峪(戶數九〇)  
 小甸子(戶數三〇)清河城(戶數五〇)望城崗子(戶數六〇)紅臉溝(戶數一六〇)ノ九箇處トス、但シ右ノ  
 内葦子峪ハ今回ハ踏査セス  
 右各項ノ詳細ハ後章ニ於テ分述闡明スヘシ

二、戶口及耕地積

本調査區域ハ便宜上之ヲ商業範圍ニ依リ牛心臺、小市、城廠、望城崗子ノ四區ニ分チ次ニ物資ノ關係ヲ按シ小市ハ更ニ小市、溫泉寺、韭菜峪、青山背、梨寨ノ五小區ニ分チ城廠ハ更ニ城廠、田師溝、馬家城子ノ三小區ニ分チ望城崗子ハ更ニ小甸子、望城崗子、高麗營子ノ三小區ニ分チ各區間ノ面積、戶口及耕地面積ヲ表示スレハ左ノ如シ

方地	城廠	馬家城子	田師溝	城廠	小市	韭菜峪	青山背	溫泉寺	小市	望城崗子	高麗營子	小計
面積	二二二	一〇九	八八	三一九	六二	二二七	五七	六二	三六七	一〇八	八九	二八八
戶數	三二〇	一四〇	九〇	五五〇	一一〇	八〇	五〇	七〇	三〇〇	九〇	一一〇	三三〇
人口	二二七〇	八六〇	五六〇	三九〇〇	九八〇	四七〇	二八〇	四四〇	二四九〇	六五〇	七三〇	二二六〇
每方里人口	一一一	一〇八	一〇八	一〇八	一〇八	一〇八	一〇八	一〇八	一〇八	一〇八	一〇八	一〇八
耕地面積	六九〇	四六〇	二八〇	一四三〇	五七〇	二九〇	一七〇	二三〇	一四四〇	四四〇	四九〇	一五一〇
一人宛耕地	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六

牛心臺地方  
耕地一日地ハ六畝(二四〇弓)トス  
右ノ表ハ面積ハ地圖ニ依リテ略算シ其他ハ支那官憲或ハ土人ノ説ト實地踏査狀況トヲ相斟酌シテ推定セルモノナリ略算ニ過キスト雖大體ニ於テ大差ナカルヘキヲ信ス

### 三、物資生産額

調査區域内各地方別重ナル物資ノ生産額ヲ總括シテ表示スレハ左ノ如シ

地方	高粱	穀子	黃豆	包米	計	燒酒	豆油	大豆餅	小豆餅	麥粉	粉	粉條
城廠	八五〇〇	八〇〇〇	七三〇〇	一七〇〇	二五九〇〇	三〇〇〇〇	六〇〇〇	一〇〇〇〇	四〇〇〇	五〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇
田師溝	五八〇〇	四五〇〇	四三〇〇	一〇〇〇	一五九〇〇	二五〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
馬家城子	四六〇〇	三三〇〇	三〇〇〇	一〇〇〇	一二九〇〇	一五〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
小市	七二〇〇	六九〇〇	六五〇〇	一五〇〇	二二一〇〇	二五〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
韭菜峪	四九〇〇	三五〇〇	二五〇〇	六〇〇	一二九〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
青山背	二二〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	七〇〇	五九〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
溫泉寺	三九〇〇	二二〇〇	一〇〇〇	七〇〇	七九〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
小計	二二四〇〇	一八六〇〇	一三三〇〇	四七〇〇	五九〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
總計	二二四〇〇	一八六〇〇	一三三〇〇	四七〇〇	五九〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇

總説

五



合計	牛心臺	小高麗營子	望城崗子	小城崗子	小甸子
七二八〇〇	八七〇〇	三三九〇〇	七三三〇〇	八二〇〇〇	七三〇〇〇
四六六〇〇	四一〇〇〇	一三〇〇〇	四六〇〇〇	四〇〇〇〇	三三〇〇〇
四九三〇〇	六二〇〇〇	一六〇〇〇	七〇〇〇〇	五九〇〇〇	五九〇〇〇
三三六〇〇	一〇〇〇	四三〇〇〇	一〇〇〇〇	一三三〇〇	一〇〇〇〇
一八二〇〇	二〇一〇〇	五七五〇〇	一九九〇〇	二〇四〇〇	一七二〇〇
一〇〇,〇〇〇,〇〇〇		五〇〇,〇〇〇			五〇〇,〇〇〇
九七〇〇〇		三三〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	一〇〇	一〇,〇〇〇
一五〇〇〇		五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇		
九五〇〇〇		三〇〇〇	一〇,〇〇〇	五〇〇	一〇,〇〇〇
五〇〇,〇〇〇					
五四七〇〇		一〇,一〇〇	五五〇〇〇	一八〇〇〇	二二,〇〇〇

農産物ハ右ノ外小豆綠豆其他ノ雜穀アレトモ合セテ一萬石内外ノ見込ナリ  
生産ノ大部分ヲ輸出スル木材藥材其他ノ特産物ハ次項ニ於テ其輸出額ノミヲ示スヘシ

四、物資輸出額

地方	大豆	高粱	燒酒	線麻	黃菸	大豆餅	榆麵	線香	木材	藥材	石炭
城師溝廠	二二八〇〇石	一〇〇,〇〇〇石	一五〇,〇〇〇斤	四〇〇,〇〇〇斤	四〇〇,〇〇〇斤	一〇〇,〇〇〇枚			一三二,〇〇〇本	一六五,〇〇〇斤	
田家子	三五〇〇〇	五〇〇	一五〇,〇〇〇						一九二,〇〇〇		一,〇〇〇
馬家子	七〇〇	五〇〇	三〇〇,〇〇〇		四〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇			四三三,〇〇〇	一五五,〇〇〇	二,〇〇〇
小計	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇			一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇
小市	三三〇〇〇	一〇〇			一五〇〇						
韭菜峪	二二〇〇〇	三〇〇									
其他ノ地方	二二〇〇〇	一〇〇									
小計	七,〇〇〇	一,五〇〇			一,五〇〇						

右ノ内城廠ノ黃豆輸出額カ生産額ヨリ多キハ葦子峪四平街地方ヨリ來集スルニ依ル、線麻及黃菸モ亦城廠地方ニ生産スルモノニ非スシテ四平街葦子峪ヨリ來集スルモノニ係ル  
馬家城子ノ木材輸出額ハ葦子峪ニ産シ後ニ依リ同地ヲ通過スルモノヲ擧ケタルモノナリ  
石炭ハ山城溝青山背八盤嶺堡子等ニテモ現ニ多少ノ探掘高アルモ産額僅少ナルヲ以テ省略セリ  
右ノ外水缸三千四百組(大堡附近)菌類六萬斤(城廠ニ來集ス)獸皮七千七百枚(城廠及韭菜峪)獸毛三萬五千斤(附近産ス)アリ皆大部分ヲ輸出ス

五、雜品輸入額

各市街地ニ輸入スル重ナル雜品ノ數量左ノ如シ

地名	洋麵	布疋類	砂糖類	食鹽	銃鐵	石油	磷寸
城廠	八〇〇,〇〇〇斤	二二八,〇〇〇疋	三三三,〇〇〇斤	三〇〇,〇〇〇斤	一〇〇,〇〇〇斤	二,〇〇〇	三〇〇

紅	高麗	高麗	小市	小甸	望城	合計
10,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	190,000
11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	268,700
11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	355,000
11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	338,000
11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	151,000
11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	227,000
11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	375,000

右ハ重要雜品ノミノ略算ニ過キサカ尙詳細ニ關シテハ後章市邑ノ部ニ於テ説明スヘシ

### 第二章 交通運輸

#### 第一節 陸運

##### 一、概説

本地方ノ陸運ハ概ネ城廠ヲ以テ中心トス依テ本章ニ於テハ主トシテ城廠ヲ中心トシテ説明シ漸次他ノ地方ニ及ハントス從テ後節第四章城廠ノ説明中交通ノ一項ハ本節中ニ包含セルヲ以テ之ヲ省略ス

最モ重要ナル道路ヲ城廠草河口間大車道百八十支里トシ次ヲ城廠本溪湖間馱馬道百八十支里トシ城廠小市間城廠小甸子千金寨間城廠四平街間城廠葦子峪間ノ道路之ニ亞ク其内城廠草河口間ノ一路ハ安東縣トノ商業關係ヲ聯絡スル主要道路ニシテ城廠ヲ出入スル貨物ノ内約七割ハ之ニ依リ四時大車ヲ通ス次ニ城廠本溪湖間ハ夏季ハ山道ニ依リテ馱馬ヲ通シ冬季ハ水道ニ依リ大車ヲ通シ亦

主要道路タルヲ失ハサルモ商業ノ關係上其價值草河口街道ニ劣リ且陸運ハ城廠下流ノ水運ニ壓倒セラル其外城廠四平街間及小甸子千金寨間ハ貨物ノ關係上冬季ニ於テ交通稍頻繁ナレトモ其他ノ各路ニ至リテハ道路概シテ險惡其價值亦大ナラス

道路ノ難易ハ夏冬ニ依リテ著ルシキ懸隔アリ夏季殊ニ雨期ニ在リテハ一時交通杜絶スルヲ常トス、沿道大小ノ河流一トシテ橋梁ヲ有スルモノナク人馬車輛總テ淺處ヲ擇ミテ徒涉スルカ故ニ一旦出水スルトキハ通行不可能トナル場合多シ太子河ニハ隨處主要地點ニ渡船ノ設備アレトモ幅二尺五寸乃至三尺長三丈ノ刳舟(編木)ニシテ單ニ人ヲ乘スルニ足ルモ鐵道沿線地方ニ於テ見ルカ如キ車馬ヲ渡スニ足ル大船ナシ從テ太子河湯河北溝清河等ハ出水ノ際大車ノ渡河不能ナリ唯タ水量輕減セシ場合ニハ車輛ヲ通過セシムヘキ淺處ナキニ非サルモ城廠草河口間ヲ除ク外道路遠處ニ及フトキハ途中河岸崖道ニ必ス數箇處ノ難處アルヲ以テ勢ヒ山道ニ依ルコトヲ要ス然レトモ山道モ亦時ニ急峻ナル山嶺横リ馱馬ノ外通行不能ノ箇所多シ冬季ニ至リ河水結氷シタル時始メテ如上ノ難處ヲ避ケ自由ニ氷上ヲ通行スルコトヲ得ヘシ概シテ冬季ハ自由ニ大車ヲ通スルモ夏季ハ馱運ニ依ラザルヘカラザル地方多ク城廠ヨリ各地ニ至ル沿道トモ高山峻嶺溪谷崖道多クシテ主要道路ヲ除ク外辛フシテ騎行シ得ルカ或ハ單ニ人ノミ通行シ得ヘキ箇所尠カラス

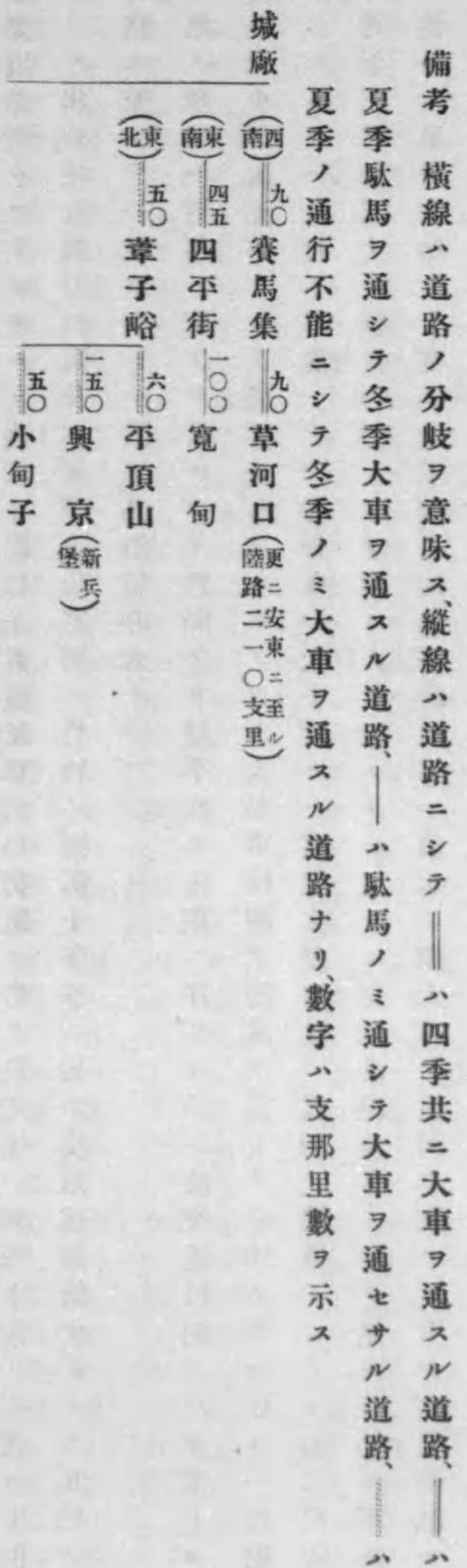
運送従事者ハ馱運ノ外專業者ナク概ネ農民ノ副業ニ係ル大車ノ數ハ南滿鐵道沿線ニ比シ甚タ少ク稍開潤セル平甸地中ニ存在スル村落ト雖毎村三四輛ヲ有スルニ過キス大車運送従事者モ亦極メテ少數ニシテ冬季城廠ニ出入スル車輛最モ頻繁ナルトキニ於テ一日四十輛ヲ出テス普通十數輛内外ナリ

各主要道路ノ沿道ニハ旅店ノ設備アレトモ亦概ネ農民ノ副業ニ係リ構内ノ空地モ狹隘ニシテ三四輛ヲ宿泊セシムルヲ限度トシ奉天附近郊外ニ於テ見ル如キ車輛數十輛ヲ宿泊セシメ得ヘキ旅店ノ存スルナシ

要スニル本地方ノ道路ハ一般ニ難處多ク冬季ヲ除ク外降雨出水其他ノ故障多ク輸送力微弱ニシテ一車ノ積載量約二千斤ヲ出テス且春夏ノ候ハ馬賊ノ危險甚タシク旅客常ニ之ニ窘ミ自然ノ結果ニ基ク交通路ニ非スシテ人爲的ニ強テ交通路トナシタルカ如キ觀アリ又目下ノ處地方ノ生産額少數ナルヲ以テ斯ノ如キ不便ナル交通路ニテ殆ト足ルモノノ如シ

一、道路ノ分布

城廠ヲ中心トスル主要交通路ヲ簡明ニ圖解スレハ左ノ如シ



右ノ各路ニ就キ左ニ道路ノ狀況ヲ説明スヘシ  
(1) 城廠賽馬集間(九十支里)

城廠(一五)二道黃嶺子(六)灤河峪(五)三道黃嶺子(一)二南孤山子(五)將軍石(五)城門子(二)分水嶺頂(一)二張家堡子(八)平頂山(五)東甸子(五)賽馬集……九〇支里

一般ニ道路良好ニシテ四時大車ヲ通ス城廠ヨリ二道黃嶺子ニ至ル間小嶺アレトモ急峻ナラス、冬季ハ氷上ヲ利用シテ直通スルコトヲ得ヘシ、二道黃嶺子灤河峪間ニ小嶺アレトモ急峻ナラス、灤河峪ニ於テ太子河(河幅八)ヲ渡ル平水ノ時ハ徒渉スルコトヲ得レトモ出水ノ際ハ不能ナリ、灤河峪三道黃嶺子間ニ小嶺アリ勾配緩ニシテ車行容易ナリ、將軍石附近ハ稍開潤セル平地ヲナシ道路平坦ナリ、城門子張家堡子間ニ於テ分水嶺(上下二十)ヲ越ユ嶺頂附近ノ外急峻ナラス

(ロ) 賽馬集草河口間(九十支里)

賽馬集(一)二岔溝(七)岔路子(五)雙嶺子(一)五四棵楊樹(一)二楊木溝(三)四門陳家(五)小河沿(三)草河城(八)開口子(五)徐家堡子(一)〇草河嶺(五)草河口……………九〇支里

道路良好ニシテ車行容易ナリ賽馬集附近ハ平甸耕地毘連ス、岔溝岔路子間及岔路子雙嶺子間ニテ緩河ノ上流入道河ヲ渉ル車馬ノ通過容易ナリ、雙嶺子四棵樹間ニ陡嶺子嶺アリ嶺北ハ勾配緩慢ニシテ南嶺ハ稍急峻ナレトモ車行ニ支障ナシ草河城開口子間ニ於テ草河ヲ渉ル(河幅五)徒渉スルコトヲ得ルモ甚タシク出水スルトキハ不能トナル、徐家堡子草河嶺間ニ於テ草河嶺ヲ越ユ小嶺ニシテ車行容易ナリ但シ路幅狹隘ニシテ纒ニ一車ヲ通スルノミ

(ハ) 城廠四平街間(四十五支里)

城廠ノ南溝ニ入り東營房ヲ經由シ城廠邊門ヲ出ツ途中ニ嶺ヲ越エ太子河ノ上流ヲ渉ル道路稍險惡ナレトモ冬季ハ大車ヲ通スヘシ四平街ハ桓仁縣ニ屬シ縣佐駐在ス、同地ヨリ縣衙所在地ニ至ル道路ハ單ニ駄馬ヲ通スルノミ又寬甸縣(支里)ニ近キモ道路險惡ナルヲ以テ同地ノ物資ハ城廠ヲ通過スルモノ多ク從テ交通稍頻繁ナリ

(ニ) 城廠葦子峪間(五十支里)

城廠(一)二凹子嶺(三)凹子嶺堡子(七)長嶺子(三)上夾河(三)太子城(五)冷口子(五)路家溝(一)二葦子峪城廠ヨリ十二支里ニシテ凹子嶺ヲ越ユ嶺ハ上下六支里、急峻ナラス長嶺子附近ハ小嶺起伏スレトモ太子城ニ至ル間山嶺ノ勾配緩慢ニシテ道路良好大車ヲ通ス、太子城ニ於テ太子河ノ北溝ト會ス、二道ニ岐ル太子河ニ沿フトキハ渡河六回ヲ要シ、對岸崗東ヨリ山道ニ依ルトキハ越嶺二回ヲ要ス山道ハ

駄道ナレトモ河沿道ハ冬季結氷ノ際大車ヲ通ス

(ホ) 葦子峪平頂山間(六十支里)及葦子峪興京間(百五十支里)

共ニ駄馬道ニシテ一般ニ險惡ナリ唯タ葦子峪平頂山間ハ冬季河水ヲ利用シテ大車ヲ通スルコトヲ得

(ヘ) 葦子峪小甸子間(五十支里)

葦子峪(三)西甸子(一)二孫家店(五)千合嶺(五)馬圈子(五)金斗峪(一)〇英守堡子(五)三家子(五)小甸子……………五〇支里

道路ハ千合嶺附近稍不良ニシテ車行少シク困難ナリ馬圈子小甸子間二十五支里ハ道路概ネ平坦ニシテ車行容易ナリ

(ト) 城廠馬家城子間(三十五支里)

(甲) 城廠(三)九龍口(一)五田師傅溝口(三)靛咀子(五)南甸子(六)北甸子(三)馬家城子……………三五支里

(乙) 城廠(八)北陽崗子(四)小峪(五)地塔堡子(六)大陽(一)二馬家城子……………三五支里

甲道ニ依ルトキハ大車ヲ通スルモ城廠九龍口間(太子河)及北甸子馬家城子間ニ於テ渡河二回ヲ要シ夏季ノ通行困難ナリ、乙道ニ依ルトキハ太子河ヲ渡ルコトヲ要セサルモ數回河崖ヲ通行シ駄馬ノ外通行不可能ナリ

(チ) 馬家城子望城崗子間(四十五支里)

馬家城子(七)水洞(八)趙家甸子(五)富家樓子(一)五小甸子(五)清河城(五)望城崗子……………四五支里

馬家城子趙家甸子間十五支里ハ太子河道大屈曲ヲナシ爲ニ太子河ヲ四回渡ルコトヲ要スルカ故ニ

夏季出水ノ際ハ通行不可能ナリ、但シ金邊祠ヲ迂回シテ北溝ヲ渡ルトキハ二嶺ヲ越エ二十支里ニシテ趙家甸子ニ達スルコトヲ得ヘキモ道路狹隘險惡ニシテ人ノミ通行スルコトヲ得、又趙家甸子ヨリ小甸子ニ至ル間清河ノ徒涉二回ヲ要シ夏季出水ノ時ハ通行不可能トナルヲ以テ五支里ヲ迂回シ一嶺ヲ越エ英守堡子三家子ヲ經由スヘシ、趙家甸子以北ハ大車ヲ通シ殊ニ小甸子望城崗子間ハ道路平坦ニシテ四時大車ヲ通ス

(リ) 望城崗子千金寨間(百二十支里)

本道ハ途中二嶺アレトモ急峻ナラス四時大車ヲ通ス殊ニ冬季ハ小甸子方面ヨリ千金寨ニ農産物ヲ輸出シ雜貨ヲ輸入スル主要ノ交通路ナリ

(ヌ) 望城崗子本溪湖間(一百支里)

望城崗子(一) 雙嶺堡子(二) 雙嶺(三) 張家溝(五) 上店子(五) 西麻戶(五) 頭道河子(三) 高麗營子(一) 二偏嶺堡子(一) 五三家子(八) 上牛心臺(三) 下牛心臺(五) 石灰窰(八) 程家窩棚(七) 小孤山子(七) 本溪湖……………一〇〇支里  
本道ハ小甸子地方ヨリ本溪湖ニ至ル最モ重要ナル道路ナレトモ夏季三家子ニ於ケル太子河ノ渡河困難ナルヲ以テ夏季ハ駄運ニ依ルモノ多ク冬季ニ非サレハ大車ヲ通セス但シ牛心臺本溪湖間ハ四時大車ヲ通ス、高麗營子偏嶺堡子間ニ偏嶺アリ高峻ナラス上下五支里アリ、偏嶺堡子地塔堡子間ニ崖道アリ通行容易ナラス三家子ニ於ケル太子河ノ渡河ハ人馬ノ外渡ルコト困難ナリ牛心臺程家堡子間ハ冬季氷上ヲ牛心臺ヨリ對岸良家屯ニ渡リ威寧城ヨリ右岸ノ崔家ニ渡リ程家窩棚ヲ經由スルヲ順道トス、本溪湖河沿ニ於テ渡船ノ設備アリ車輛ヲ載渡スルコトヲ得ヘシ、又高麗營子ヨリ山道ヲ通シテ本溪湖ニ至ル道路アレトモ稀ニ駄馬ノ通行ヲ見ルノミ

(ル) 馬家城子葦子峪間(三十五支里)

馬家城子(四) 金邊祠(四) 二道河子(七) 下夾河(一) 偏砬子溝(五) 馬二嶺(五) 葦子峪……………三五支里  
馬家城子下夾河間ニ三回渡河ヲ要ス冬季ナラハ氷上ヲ通行スヘキモ駄馬ナラハ左岸ニ沿ヒ崖道ヲ通シテ二道河子ニ至レハ一回ノ渡河ニテ足ル、下夾河ヨリ葦子峪間ハ大車ヲ通セス、但シ冬季ハ河水ヲ利用シ二十五支里ニシテ達スヘシ、要スルニ本道路ハ夏季ノ通行頗ル困難ナリ

(ヲ) 馬家城子本溪湖間(百六十支里ト稱ス)

(甲) 馬家城子七水洞(五) 高麗營子(七) 流响哨(五) 鍋成石(一) 大陽(五) 養梨寨(一) 二上山城寨(五) 下山城寨(三) 前歲子(七) 謝家歲子(三) 同江峪(五) 迎水寺(一) 溝兒湯(即チ溫泉寺) 五大店子(四) 松樹臺(三) 養豬園子(三) 法臺牛象堡子(即チ放牛堡子) 一〇七家子(三) 迷岔堡子(一) 〇三家子(八) 上牛心臺(三) 〇本溪湖……………一六〇支里  
(乙) 馬家城子(四) 金邊祠(八) 水洞(八) 趙家甸子(七) 流响哨(五) 鍋成石(一) 地道子(四) 泉水河子(一) 八小市(馬家城子支里四五) 謝家歲子(三) 同江峪(一) 二青石嶺(三) 溝兒湯(五) 大甸子(四) 松樹臺(六) 法臺牛象堡子(一) 五偏嶺堡子(一) 五三家子(八) 上牛心臺(三) 〇本溪湖(小市ヨリ百支里)……………一七〇支里

(丙) 馬家城子(依リ) 三二 鍋成石(依リ) 三三 前歲子(四) 青石嶺(三) 溝兒湯(依リ) 三三 本溪湖……………一五七支里

(丁) 馬家城子(依リ) 七四 溝兒湯(一) 〇劉家溝(七) 楊家溝(一) 五紅臉溝(三) 上牛心臺(三) 〇本溪湖……………一三九支里

(戊) 馬家城子(依リ) 六四 小市(依リ) 九〇 本溪湖……………一五四支里

甲道ハ太子河ヲ渡ルコト二十一回(馬家城子水洞二回、高麗營子流响哨、鍋成石、前歲子、謝家歲子、同江峪二回、趙家甸子、小甸子、英守堡子、三家子、同法臺、牛象堡子、孤店、偏嶺堡子、迷岔堡子、三家子)ヲ要シ夏季ノ通行全ク不可能ナリ、冬季氷上ヲ利用シテ始メテ行車スルコトヲ得ヘシ  
乙道ハ甲道ニ比シ十支里延長スルモ渡河七回(金邊祠、流响哨、小市、謝家歲子) 及越嶺四回(水洞、趙家甸子、謝家歲子、松樹臺)ニテ

足ル甚タシキ出水ナキ限リ人員ノ通行ニ適スルモ駄馬ノ通行困難ナリ

丙道ニ依ルトキハ越嶺四回渡河四回、丁道ニ依ルトキハ越嶺六回渡河四回ヲ要シ戊道ニ依ルトキハ越嶺七回渡河三回ヲ要ス、皆道路概シテ險惡ナリ、丁道ノ内溝兒湯(温泉)、紅臉溝間ノ如キハ峻嶺聳立シ歩行スラ尙困難ニシテ騎行ニ適セス、戊道ノ内小市本溪湖間ハ城廠本溪湖間駄馬道ノ一部ニシテ次項ニ之ヲ説明スヘシ

(ワ)城廠本溪湖間(百八十支里或ハ百六十支里ト稱スレトモ數路アリ)

(甲)城廠(三)九龍口(三)黃家堡子(九)胡家堡子(五)劉家堡子(六)魏家堡子(四)大堡(三)全家堡子(二)小嶺(五)八盤嶺

堡子(一〇)八盤嶺溝(五)蜂蜜砬子(六)青山背(三)袁家窩棚(二)山城溝(八)頭道溝(三)娘々宮(三)朴家堡子(五)香

磨堡子(一〇)城廠(九)小市(五)謝家砬子(一〇)同江峪西溝(一)三架嶺(一)窟窿山堡子(八)鞏子溝(八)

歡喜嶺(五)孔山子(三)臥龍村(五)石灰窰(八)程家窩棚(七)小孤山子(七)小市(九)本溪湖……一八五支里

(乙)城廠(依リ)二〇劉家堡子(五)大堡(合シ)一五五本溪湖……一八〇支里

(丙)城廠(一)八田師傅溝口(一〇)轉山子(五)八盤嶺堡子(依リ)一五蜂蜜砬子(七)潭家堡子(二)城廠堡子(八)小

市(依リ)一五同江峪西溝(一)前屯(三)金坑(五)後屯(八)大濃湖(七)小南溝(三)本溪湖一五五支里

(丁)城廠(一)八田師傅溝口(二)大堡(合シ)一五五本溪湖……一八五支里

(戊)城廠(依リ)二五大堡(合シ)五〇朴家堡子(五)磨石峪(七)二架嶺(一〇)三架嶺(合シ)六三本溪湖……一六〇支里

甲道ハ延長百八十五支里アリ、城廠九龍口間ニ於テ太子河ヲ渡ル(河幅)、獨木舟ノ渡船アレトモ出水ノ際ハ渡河困難ナリ、魏家堡子、大堡間ニ於テ小嶺ヲ越ユ(上下支里)、傾斜緩慢ナリ、全家堡子八盤嶺堡子間ニ

ニ小嶺ヲ越ユ(上下支里)、急峻ナラス、八盤嶺堡子八盤嶺溝間ニ於テ八盤嶺ヲ越ユ(上下支里)、險峻ニシテ駄馬タモ尙辛フシテ通行ス、青山背袁家窩棚間及山城溝頭道溝間ニ於テ小嶺ヲ越ユ緩慢ナリ、朴家堡子ニ於テ湯河ヲ渡ル(河幅)、平水ニ於テ徒渉スルコトヲ得ルモ出水ノ際ハ河急ニシテ一時交通杜絶ス其ヨリ香磨堡子ニ至ル間ニ崖道アリ出水ノ際ハ河水之ヲ浸シテ交通不能トナル、小市謝家砬子間ニ於テ小嶺ヲ越ユ(上下支里)、急峻ナラサレトモ石礫多シ、謝家砬子同江峪西溝間ニ於テ一嶺ヲ越ユ(上下支里)、急峻ニシテ盤曲甚タシク辛フシテ駄馬ヲ通ス、三架嶺ニ於テ三架嶺ヲ越ユ(上下支里)、甚タ急峻ナリ、窟窿山堡子ニ於テ一嶺ヲ越ユ(上下支里)、稍急峻ナレトモ駄馬通行ニ支障ナシ、歡喜嶺ニ於テ一嶺ヲ越ユ(上下支里)、傾斜緩慢ナリ、本溪湖河沿ニ於テ太子河ヲ渡ル(河幅)、渡船大ニシテ車輛ヲ載渡スヘシ、本道ハ處々數支里ノ間大車ヲ通スヘキ箇處ナキニ非サルモ駄馬ノ通行スラ尙困難ナル箇處多ク夏冬ヲ通シテ全ク車輛ヲ通セス

乙道ハ劉家堡子大堡間ノ小嶺(上下支里)、緩慢ニシテ總里程ニ於テ五支里ヲ短縮ス

丙道ハ轉山子八盤嶺堡子間ニ於テ緩慢ナル小嶺(上下支里)ヲ越エ、蜂蜜砬子小市間ニ於テ緩慢ナル三嶺ヲ越エテ甲道ト合シ、同江峪西溝ト三架嶺トノ中間擦屁股溝ヨリ分岐シ高峻ナル擦屁股嶺(上下支里)ヲ攀チ金坑ノ高臺地ニ出テ後屯ヨリ再ヒ急峻ナル大濃湖嶺(上下支里)ヲ下リテ小南溝ニ出テ本

溪湖ニ達スルモノニシテ道路最モ近ク四十支里ヲ短縮スルコトヲ得レトモ人ノ外通行困難ナリ

丁道ハ田師傅溝口ヲ經由シテ大堡ニ至ルモノニシテ甲道ニ比シ道路稍良好ナリ、里程ハ甲道ニ同シ

戊道ハ朴家堡子ヨリ二架嶺(上下支里)ヲ經由シ三架嶺ニ於テ甲道ト合スルモノニシテ近キコト三十五

支里ナリ、原ト城廠本溪湖間ノ駄馬道ナリシカ險惡ナル二架嶺ノ通過甚タ困難ナルタメ近時丙道ニ

依リテ小市ニ出テ七十五支里甲道ニ依リテ本溪湖ニ至ル(九十支里)者多シ

(カ) 城廠韭菜峪間(九十支里)

- (甲) 城廠(前項ノ甲) 朴家堡子(五) 城廠堡子(五) 韭菜峪..... 九〇支里
  - (乙) 城廠(前項ノ乙) 七五 朴家堡子(行) 八 韭菜峪..... 八三支里
  - (丙) 城廠(前項ノ丙) 八 盤嶺堡子(前項ノ甲) 二 青山背(分岐シテ四家一六) 韭菜峪..... 七〇支里
- 朴家堡子迄ハ駄馬道ナルモ其ヨリ韭菜峪ニ至ル間ハ道路平坦ニシテ四時大車ヲ通ス、丙道ニ依ルトキハ青山背韭菜峪間ニ小嶺ヲ越ユルモ道路概シテ良好ナリ
- (ヨ) 小市望城崗子間(五十支里)

小市(三) 觀音閣(五) 上山城寨(二) 養梨寨(五) 富成峪(一) 閻家嶺(五) 孟家堡子(三) 泰家堡子(七) 望城崗子 觀音閣上山城寨間ニ於テ太子河ヲ渡ル(河半幅) 獨木舟ニ依ル渡船ナルヲ以テ夏季車輛ノ通行ハ不能ナリ、上山城寨養梨寨間ニ崖道アリ亦出水ノ際行クヘカラス、富成峪孟家堡子間ニ於テ閻家嶺(上下) ヲ越ユ、石礫多キモ車ヲ通スヘシ、冬季ハ氷上ヲ利用シテ大車ヲ通スヘキモ夏季ハ人馬ノ外交通不能ナリ

三、運搬具 (第三章第一節ノ七参照)

陸路運搬具ハ大車、駄馬、橇ノ三種ニシテ小車ハ冬季草河口城廠間旅客カ稀ニ用フルノミ、駄馬ヲ除ク外皆地方農民ノ副業トシテ供給セラレ、運搬具ノ供給ヲ以テ本業トスル者ナシ、其雇入ハ隨時旅店カ運搬具供給者或ハ雇入者ノ依頼ニ應シテ仲介スルカ或ハ直接雇入ルルモノニ係ル

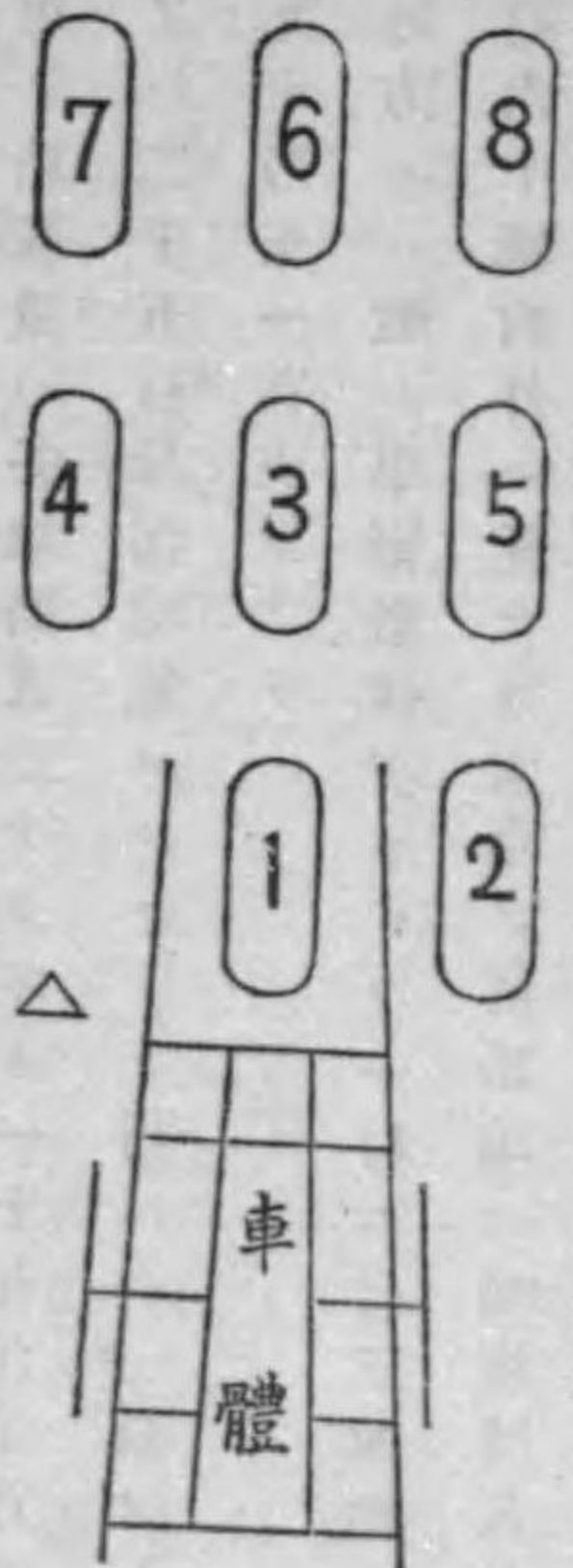
今各運搬具ニ就キテ簡單ナル解説ヲ下スヘシ

(イ) 大車

大車ハ即チ支那式荷馬車ニシテ車體ノ長サ一丈三尺、一丈三尺五寸、一丈四尺、一丈五尺ノ四種アリ、其大小ニ依リテ挽馬數及積載量ヲ異ニスルモ一丈三尺物、一丈三尺五寸物ハ主トシテ農用ニ供セラレ、長路ノ運搬用ニ供セラルルハ一丈四尺及一丈五尺ノ兩種トス

大車ノ材料ハ車體ニハ柞樹及榆樹、車頭(車)ニハ柞樹、車腕(車)ニハ柞、榆、色ノ三種ヲ用ヒ鐵輪ヲ繞ラス、產地ハ湯河上流地方ヨリ分水嶺、平頂山ニ至ル一帶ニシテ分水嶺地方ヨリ賽馬集ヲ經由シテ安奉沿線ニ仕向ケラルル車頭、車腕子ノミニテ約八百輛(每輛ノ積載量、車頭五百本、車腕子百本乃至五百本)ニ達ス、大車製造地ハ賽馬集、城廠南坡、本溪湖等ニシテ就中賽馬集製ノモノ最モ廉價ニシテ且堅牢ナリ

大車ハ城廠草河口間ヲ除ク外夏季ノ運搬ニ適セス主トシテ冬季ニ使用セラル、馬或ハ牛ヲ以テ挽カシムルモ長途ニハ牛ヲ使用スルコト稀ニシテ馬或ハ騾五頭乃至七頭ヲ以テシ六頭曳ノモノ最モ普通ナリ、挽馬ハ其位置ニ依リテ定マリタル名稱アリ即チ左ノ如シ



- △ハ馬夫ノ位置其左方ヲ裏ト曰ヒ、右方ヲ外ト曰フ
- 1. 轅馬(或ハ元馬、馬トモ稱ス)
- 2. 外套馬
- 3. 前套馬
- 4. 裏套馬
- 5. 外套馬
- 9. 前大套
- 7. 裏大套
- 8. 外大套

馬夫ハ近路ナレハ趕車(車夫ナリ老板)一名ニテ足ルモ遠路ナレハ宿泊ノ際夜間ノ飼馬、見廻或ハ難處

越脱ニ資スルタメ補助者トシテ跟跑的(站跑的)一人ヲ増加ス  
 大車ノ積載量ハ各地略大差ナク概ネ一千五百斤乃至二千斤ナリ、但シ冬季河水ニ依リ本溪湖ニ至ル  
 モノハ二千五百斤迄積載スルコトヲ得ヘシ、一日ノ行程ハ道路ニ依リテ異ナルモ夏季五六十支里、冬  
 季九十乃至一百支里ナリ

本地方ハ一般ニ車輛數僅少ニシテ一村ニ付三四輛内外ヲ有スルヲ普通トシ城廠附近各村落ヲ通シ  
 テ約六十輛内外ニ過キス大車ノ供給地ハ城廠、賽馬集、草河口、本溪湖、小市、望城崗子附近ノ村落ニシテ  
 就中賽馬集城廠ノ二地方最モ多シ

(ロ) 馱馬

馱馬ニ使用セララルルハ騾馬最モ多ク驢馬之ニ亞キ稀ニ馬ヲ以テシ其供給地ハ本溪湖、草河口、安東縣  
 ノ三箇所ヲ主トス冬季ヨリハ寧ロ夏季ニ於テ重ニ雜貨ノ輸送ニ使用セラレ數頭乃至數十頭ヲ一組  
 トシ五六頭乃至十頭ニ付馱子の(夫)一人附添フ其積載量每頭二百斤内外ヲ普通トスレトモ雜貨ノ  
 形狀種類等ニ依リテ重量ニ多少ノ差異アリ即チ布疋類ハ二件(每件百斤)石油ハ二箱(每箱約七十斤)砂糖ハ二  
 包(每包百斤)茶ハ二簍(每簍十五斤)麥粉ハ四袋乃至六袋(每袋十斤)ヲ積載ス、一日ノ行程ハ夏季五十乃至六十支里  
 ナリ

馱運ハ專業者多ク馱馬ノ數ハ本溪湖ニ約二百頭、草河口ニ約三百頭ヲ有スルモ若シ必要ニ應シテ農  
 家ヨリ招集スルトキハ更ニ兩地トモ六百頭乃至八百頭ヲ得ヘシト云フ

(ハ) 橇

橇ハ土名扒犁ト稱ス形狀ハ大車ニ比シ小ニシテ積載量ハ一千斤乃至一千五百斤トシ挽馬ハ二頭ヲ

普通トス、平地ノ通行ニハ可ナルモ遠路ナレハ山嶺或ハ無雪地等ノ障害アルヲ以テ不適當ナリ、主ト  
 シテ近距離ニ於ケル穀物ノ移搬薪材ノ運出等ニ用ヒラル

四、運賃

(イ) 城廠ヨリ各地ニ至ル大車及馱馬ノ運賃左ノ如シ

地名	支那里程	運搬具	行程	積載量	品名	單位	季節	方向	運賃
安東	三九〇	大車	四日半	一、八〇〇	穀物	一袋(斗五斤)	冬	往來	一元五角
鳳城	二七〇	大車	三日	一、八〇〇	雜貨	同	同	往來	一元五角
奉天	三〇〇	大車	三日半	二、〇〇〇	線麻	同	同	往來	一元三角乃至一元五角
草河	一八〇	大車	二日	二、〇〇〇	酒	同	同	往來	一元七角
本溪湖	大車道 一八〇 二〇〇	大車	二日半	二、〇〇〇	雜貨	同	同	往來	一元二角
本溪湖	馱馬道 一八〇 二〇〇	馱馬	三日	二〇〇	餅貨	同	同	往來	七角
本溪湖	大車道 二〇〇	大車	二日半	二、五〇〇	豆	同	同	往來	八角
本溪湖	馱馬道 二〇〇	馱馬	三日	二〇〇	酒	同	同	往來	七角五分
本溪湖	大車道 二〇〇	大車	二日半	二、五〇〇	雜貨	同	同	往來	九角五分
本溪湖	馱馬道 二〇〇	馱馬	三日	二〇〇	餅貨	同	同	往來	八角
本溪湖	大車道 二〇〇	大車	二日半	二、五〇〇	豆	同	同	往來	九角乃至一元
本溪湖	馱馬道 二〇〇	馱馬	三日	二〇〇	餅貨	同	同	往來	三四角
本溪湖	大車道 二〇〇	大車	二日半	二、五〇〇	豆	同	同	往來	六角



遼陽	大馬道 三車道 三四〇	大馬道 三車道 三四〇	大馬道 三車道 三四〇	二〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	一元
				二〇〇	同	雜貨	同	百斤	夏	同	往	九角乃至一元
				二〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	六角
				二〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	四角五分
				二〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	一元三四角
				二〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	八九角

(ロ) 小市ヨリ各地ニ至ル運賃左ノ如シ

遼陽	二一〇	大馬道 三日半	二一〇〇	同	雜貨	同	百斤	夏	同	往	三角乃至六角
本溪湖	九〇	大馬道 一日半	二、五〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	五角六分
		大馬道 二日半	二、〇〇〇	同	雜貨	同	百斤	夏	同	往	二角乃至三角
		大馬道 一日半	二、〇〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	二角乃至四角
		大馬道 三日半	二、〇〇〇	同	雜貨	同	百斤	夏	同	往	一角
		大馬道 三日半	二、〇〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	三角乃至六角

(ハ) 其他各地ヲ中心トスル運賃左ノ如シ

高麗營子	本溪湖	六五	大馬道 一日	二、五〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	一角五分乃至二角
		六五	大馬道 一日	二、〇〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	二角乃至二角五分

小甸子	千金寨	一三〇	大馬道 一日半	二、〇〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	六角乃至七角
		一三〇	大馬道 一日半	二、〇〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	三角五分
		一三〇	大馬道 一日半	二、〇〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	四角
		一三〇	大馬道 一日半	二、〇〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	六角
		一三〇	大馬道 一日半	二、〇〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	六角
		一三〇	大馬道 一日半	二、〇〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	三角五分乃至四角
		一三〇	大馬道 一日半	二、〇〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	六角乃至七角
		一三〇	大馬道 一日半	二、〇〇〇	同	雜貨	同	百斤	冬	同	往	七角乃至七角七分

第二節 水運 一、概況

太子河本流ハ本溪湖ヨリ上流域廠迄水路二百五十支里、支流北溝ハ馬家城子ヨリ葦子峪迄水路五十支里ノ間船筏子ト稱スル小舟ヲ通ス、木排即チ筏、ハ尙城廠ノ上流水路二百支里楊鬪子溝迄、杉松河ハ上流四十五支里迄、葦子峪ノ上流一百支里平頂山迄等ニ通スルコトヲ得レトモ、河流ノ屈曲甚クシク流速急ニシテ沙灘多ク且夏季降雨ニ際シテハ河水氾濫奔湍飛流シ顛覆ノ恐アリテ行舟ニ便ナラス、陰曆八月中秋後ニ至レハ河面漸ク凍結シテ水運全ク杜絶シ一年ヲ通シテ舟楫通行ノ時期四箇月ニ過キス

舊時遼陽地方ヨリ城廠ニ至ル唯一ノ交通路トシテ商業關係亦最モ密接ナリシカ水路一般ニ險惡ニ過キス

シテ強ヒテ舟楫ヲ通セシメタル觀ナクンハアラス唯タ木材流筏ノ外交通運輸上ノ價值ハ世人ノ想像スルカ如ク大ナラス是レ後章市邑ノ條ニ於テ述フル所ノ各市邑ノ現況ニ依リテ首肯スルコトヲ得ヘシ從テ安奉線ノ開通シタル今日ニ在リテハ從前遼陽ニ對スル位置轉シテ安東ニ遷移シ商業路トシテハ車行容易ナル草河口驛ヲ經由スルニ至リ太子河ノ水運ハ年々衰微シツツアルハ當然ノ結果ナルヘシ唯タ近時鑛業ニ依リテ發達セル本溪湖ノ現勢ニ伴ヒ坑木其他之ニ關聯スル諸物資ノ輸送ニ依リテ纔ニ衰微ヲ免ルコトヲ得ヘキカ

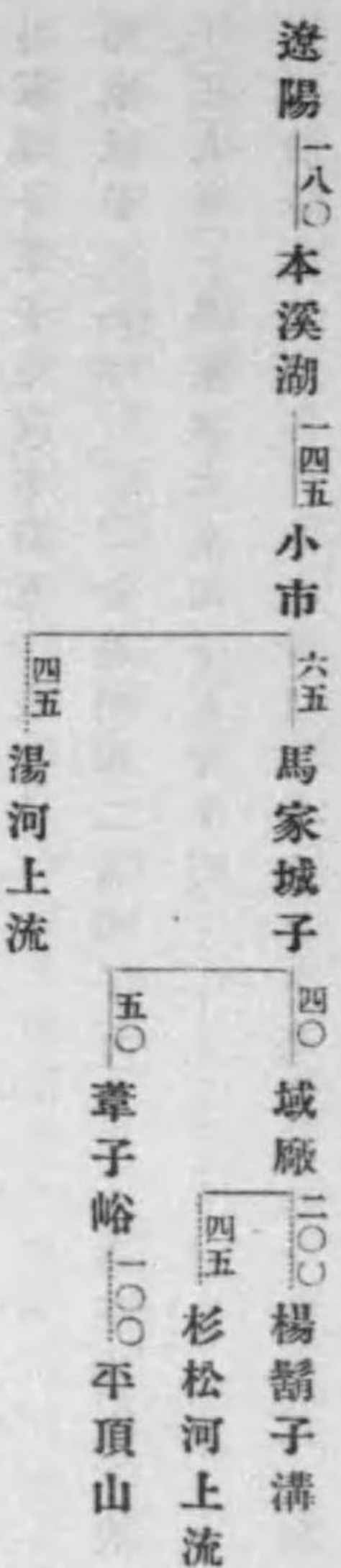
航行期間ハ解氷後危險ナキニ至リタル陰曆四月十五日頃ヨリ開始セラレ陰曆六月頃迄ヲ至便ナル時季トシ冬季囤積セラレタル穀物等ニ依リテ運送最モ盛ナリ六七月ノ交ハ雨期ニ際シ水量増加スルト共ニ急湍激浪ノタメ航行危險トナリ時ニ中絶スルコトアリ本年陽曆七月下旬ノ如キ其適例ナリ是ヨリ漸次回復シテ航行ヲ續ケ陰曆八月十五日中秋前後ニ至レハ氣候寒冽ノ度ヲ増シ河水漸ク凍氷ニ近ツキ又航行ニ便ナラス

操舟ハ專業者ナキニ非サルモ概ネ河沿農民ノ副業ニ係リ碇船ノ場所モ特ニ碼頭ノ設備アルニ非スシテ隨意河沿ニ假泊ス船宿ヲ業トスル船店モナク船筏子ノ雇入ハ荷主ト船夫トノ直接面議ニ依ル

二、太子河ノ水路

太子河水路ノ分布ヲ示セハ左ノ如シ

備考——ハ船筏子ヲ通スルモノ……ハ筏ノミヲ通スルモノ、數字ハ水路里程ヲ示ス



今各路ノ狀況ヲ左ニ略説スヘシ

(イ)遼陽本溪湖間(水路一百八十支里)

河道ノ屈曲甚タ多キモ水量豊富ニシテ淺處モ水深四尺以上ヲ有シ水勢概ネ平夷ニシテ航行容易ナリ、普通下航一日乃至一日半、上航四日ナルモ甚タシク水量ニ増減アルトキハ下航三日、上航七八日以上ヲ要スルコトアリ

(ロ)本溪湖小市間(水路一百四十五支里)

本溪湖(四)小孤山子(四)大峪堡子(二)姚家灣子(三)崔家(四)威寧城(五)孤家子(六)下牛心臺(四)上牛心臺(六)老官(七)三家子(八)迷岔堡子(二)地塔堡子(二)偏嶺堡子(三)七家子(二)臺溝(四)孤店(三)磚瓦窰(六)放牛堡子(四)養(五)豬圈子(三)松樹臺(七)中寨子(八)後嶺子(四)大甸子(四)發家峪(二)溝兒湯(二)青石嶺(八)迎水寺(五)同江峪(六)謝家(五)雙寨子(五)前嶺子(六)下山城寨(六)上山城寨(對岸ハ湯河口ニシテ小市ノ船積卸場ナリ)……一四五支里

本溪湖ヨリ牛心臺ニ至ル間ハ難處ナキモ其上流ハ俄ニ屈曲甚タシク而モ屈曲ノ凹點ハ概ネ岩崖屹立シ増水ノ際舟行甚タ危險ナリ且處々淺灘アリテ舟行ヲ妨クコト少カラス殊ニ松樹臺大甸子間及同江峪山城寨間ハ屈曲最モ甚タシクシテS字形ヲナセリ山城寨附近ハ河道二岐スルモ南又ヲ通路トス水深深處二丈、淺處四尺内外ナリ、平水ニ於テ下航一日乃至一日半、上航二日乃至四日ナリ

(ハ) 小市馬家城子間(水路六十五支里)

湯河口(小市ノ船荷一)五(泉水河子)六(地道子)四(黃溝)二(楸皮溝)四(鍋成石)三(小老鶴砬子)四(流响哨)九(清河口)  
(祖家甸子三)高麗營子(五)水洞(一)馬家城子(北溝ノ會).....六五支里

淺灘及岩崖アルコト小市本溪湖間ニ同シケレトモ水流稍平夷ナリ唯タ高麗營子馬家城子間ハ三回ノ大屈折ヲナシ舟行稍危險ナルノミ、小市地道子間ハ河道二岐シ南又ヲ通路トス、水深三四尺ヨリ一丈五尺ニ及フ、平水ニ於テ下航半日乃至一日、上航一日半乃至二日半ヲ要ス

(ニ) 馬家城子城廠間(水路四十支里)

馬家城子(四)北甸子(三)南臺(三)河東(三)南甸子(五)砬咀子(四)田師傅溝口(八)南陽崗子(五)草家窩子(五)城廠.....四〇支里

岩崖及屈曲ヲ減少スルモ河流急速ノ度ヲ増シ且沙灘多シ南陽崗子南甸子間ニ於テ河道二岐シ西又ヲ通路トス田師傅溝口ノ船荷積卸場ハ西又ノ沿岸ニ在リ、水深深處一丈、淺處二尺ニ至ル箇處アリ、平水ニ於テ下航半日、上航一日内外ナリ

城廠ヨリ本溪湖ニ至ルマテ最モ順境ニ行舟シテ下航二日乃至二日半、上航五日乃至六日ナルモ時トシテ上航ニ十四五日ヲ要スルコトアリト云フ

(ホ) 馬家城子葦子峪間(水路五十支里)

馬家城子(太子河ノ會)六(金邊祠)四(二道河子)五(大溝)二(李王溝)五(下夾河)二(河南)三(崗東)二(太子城)四(冷口)子(三)大貝(三)路家溝(六)南甸子(五)葦子峪.....五〇支里

岩崖、屈曲、急湍共ニ多クシテ舟行容易ナラス水深減水ノ時一尺内外ノ箇所アリテ一時交通中絶スル

(ヘ) 小市湯河上流間  
コトアリ、平水ニ於テ下航半日乃至一日、上航一日半乃至二日半ヲ要ス

湯河阿口ヨリ四十五支里ノ上流マテ筏ヲ通スルトモ近時河流ヲ堰キテ磨房水車ヲ運轉シ楡麵柞麵等ヲ製造スル者多キカ故ニ目下筏ノ通行不可能ナリ、本河ハ水流急速ニシテ岩石水中ニ突出シ深淺一ナラサルヲ以テ假令現在ノ磨房ヲ撤スルトモ筏ノ通行ハ容易ト云フヘカラス

(ト) 城廠楊鬍子溝間(水路二百支里)

楊鬍子溝ハ太子河ノ上流城廠ノ南方ニ當リ陸行スレハ一嶺ヲ過キテ六十支里ニシテ達スヘキモ水路ハ遠ク西南ニ迂回シ二百支里ニ延長ス、船筏子ヲ通セサレトモ筏ヲ通ス現時伐出木材ヲ盛ニ流下シツツアリ、平水ニ於テ下航四日内外、時トシテ十餘日ヲ費スコトアリト云フ

(チ) 城廠杉松河上流間

舟楫ヲ通セサレトモ上流四十五支里迄筏ヲ通ス杉松河上流各地方ヨリ伐出セル木材ハ本河ニ依リテ一旦城廠マテ流出セラル

(リ) 葦子峪平頂山間(水路一百支里)

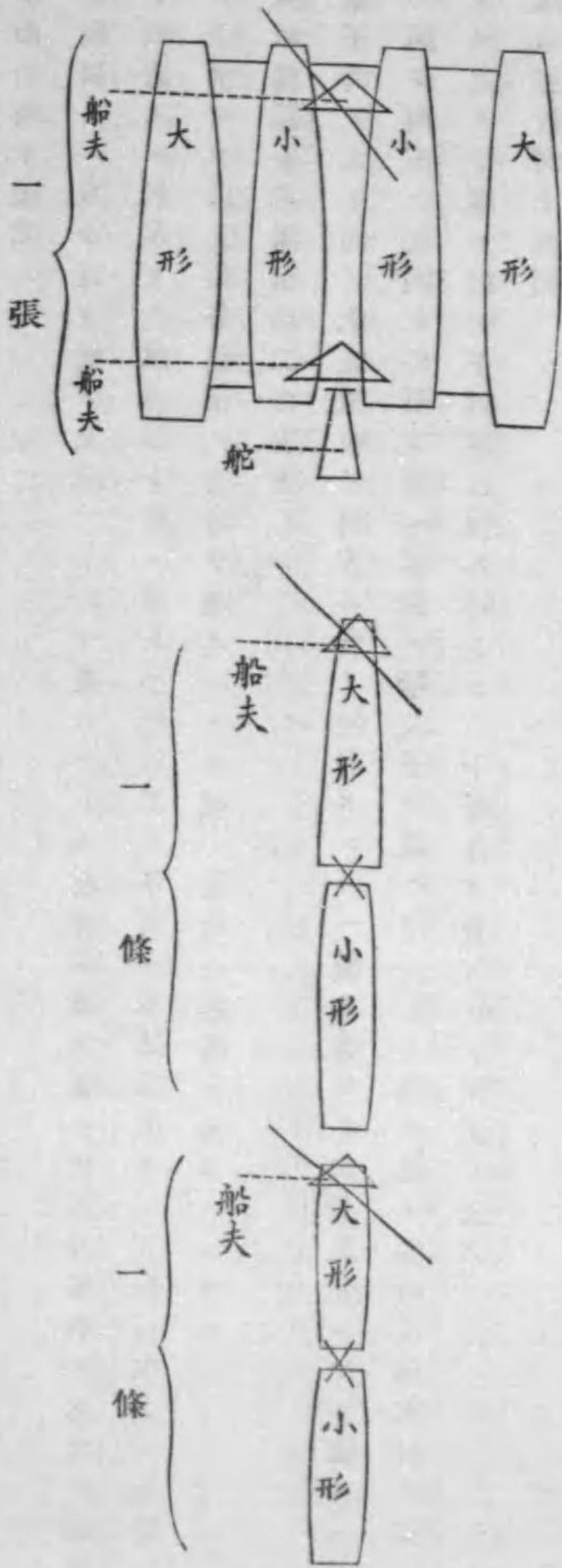
水量増加スルトキハ下航ノミ船筏子ヲ通スルモ上航ニ便ナラス平頂山ニ於テ製造セラレタル船筏子ハ空航ニテ本水路ニ依リ下航スレトモ平時ハ上流地方ニ於テ伐出セラレタル木材ヲ編筏シテ流下セシムルアルノミ、平頂山ヨリ本溪湖迄筏ノ下航六日乃至十二三日ナリト云フ

三、船筏子

太子河ノ水運ニ使用スル船ハ船筏子ト稱スルモノノ一種ノミ船筏子トハ小槽子ト稱スル小形列舟ヲ四箇組合セテ一隻トナシタルモノヲ謂フ小槽子ニ大小ノ二種アリ大形ハ幅二尺二寸乃至二尺五寸小形ハ一尺八寸乃至二尺ニシテ長各三丈アリ小形二箇ヲ内部ニ大形二箇ヲ外部ニ排列シ堅紐ナル麻繩ヲ以テ結合シタルモノ即チ船筏子ニシテ之ヲ一張ト稱ス(一)操舟人員二人下航ノ際ハ船筏子ノ前部ニ一人棹ヲ操リ後部ニ一人木舵ヲ操ル上航ノ際ハ四箇ノ小槽子ヲ分離シ大一箇小一箇宛細長ク結ヒ附ケテ一聯トナシ即チ二聯ヲ作り各聯ヲ一條ト稱ス各船夫一人棹ヲ以テ操舟シ碇泊ノ時丈ケ四箇並列セシメ以テ船夫ノ臥眠ニ便ニス即チ左圖ノ如シ

下航ノ場合

上航ノ場合



船筏子ノ材料ハ欄松(まつ)ニシテ遠ク吉林省濛江地方ヨリ産出ス船夫自身或ハ其使用人山許ニ赴キ

適當ノ欄松ヲ買入レ割リテ粗造ノ船形ヲ造ル此價格二十元内外ナリ其ヨリ陸路南行シ渾江ノ上流八道江マテ牛或ハ車ヲ以テ運搬ス此運賃一本ニ付四元内外ナリ八道江ニ於テ粗造船ヲ組合セテ筏トナシ流ニ從ヒ通化ヲ過キテ桓仁(桓仁)ニ至ル此間自身或ハ使用人ヲ以テ流下スルトキハ特ニ費用ヲ要セサルモ別ニ苦力ヲ雇用スルトキハ一本ニ付一元内外ノ運賃ヲ要ス桓仁ニ於テ陸揚ナシタル船材ハ再ヒ牛或ハ車ヲ以テ山嶺ヲ越エ太子河北溝ノ上流平頂山ニ至ル此運賃一本ニ付四元内外ナリ平頂山ニ至リテ更ニ手工ヲ加ヘ所謂小槽子トナシ四箇組合セテ初メテ船筏子トナシ下流地方ニ航下ス概ネ船筏子一張ニ付實費百二十元内外ヲ要シ本溪湖ニ於ケル賣價ハ百三十元乃至百五十元ナリ

操舟ノ用具ハ鐵釵子(鐵釵)船桿子(木)權(權)等ニシテ平頂山葦子峪城廠本溪湖等ニ於テ販賣ス其他數條ノ小木棍數枚ノアンペラヲ準備シ貨物ノ濡濕ヲ防キ或ハ船夫ノ起臥ニ便ニス隨時適當ナル地點ヲ擇ミテ假泊シ船中ニ於テ炊爨起臥ス

船筏子ハ通化恒仁平頂山遼陽等ノ稅局ニ於テ之ヲ驗シ每隻ニ付一元五角ヲ納メテ船票ヲ領シ烙印ヲ受ク一稅局ニ於テ徵稅セラレタルモノハ他ノ稅局ニ於テハ免稅セラルルモノトス其碇泊シタル場合ニハ城廠葦子峪ニ於テハ每隻二角五分ヲ商務會經費トシテ徵收セラレ本溪湖ニ於テハ一角五分ヲ龍王廟ニ納メ(龍王廟ハ又三王廟トモ云フ本溪湖河岸ハ同廟ノ廟地ニ係ルカ故)遼陽ニ於テハ三角ヲ船捐トシテ稅局ニ納ムルコトヲ要ス

船筏子ノ所有者ハ本溪湖上流ヨリモ下流ニ多シ就中下流四十五支里ノ樂家巖子及下流九十支里ノ下馬峪等ハ重ナル供給地トス又上流ハ山城寨ニ至ル間河沿ノ各村落ニ之ヲ有スレトモ山城寨ヨリ

上流ニハ所有者ナシ上下流ヲ通シテ船筏子ノ總數約二百六十隻ニシテ其内上流地方村落ノ所有數合計九十六隻ナリ其内譯左ノ如シ

姚家灣子	九	大峪堡子	一〇	三家子	四
迷岔堡子	二	七家子	二	臺溝	三
中塞子	一〇	孤店子	二	養豬園子	三
發家峪	五	前河沿	一	迎水寺	五
謝家崴子	一五	山城寨	一六		
合計			九十七隻		

船夫トシテ雇用スル苦力ハ一年以上常雇ノ者多ク其賃銀食事使用者持ニテ一年八十元以上百元内外ナリ

### 四、運賃

船筏子ノ積載量ハ下航五千斤ヲ以テ定量トシ之ニ滿タサルトキモ五千斤ニ相當スル運賃ヲ要ス、馬家城子葦子峪間ハ水淺キテ以テ二千斤以上ヲ積載スヘカラス是亦五千斤ニ相當スル賃銀ヲ要ス、上航ノ際ハ小槽子箇々一聯トナスカ故ニ船幅狭クシテ大貨物ノ積載ニ不便ニシテ一箇ニ付五百斤以上ヲ積載スルコト困難ナリ、一日ノ行程下航一百支里乃至一百四十支里上航三十支里乃至五十支里トス

各地間船筏子ノ下航運賃ヲ示セハ左ノ如シ

(一)城廠本溪湖間(水路二百五十支里)	雜貨類	一百斤	三角乃至四角
	雜穀	一袋(斗)	四角五分乃至六角
	豆餅	一枚(二十斤)	二角乃至二角五分
(二)城廠遼陽間(水路四百三十支里)	雜貨類	一百斤	四角乃至五角
	雜穀	一袋(斗)	六角乃至一元
	豆餅	一枚(二十斤)	三角乃至三角五分
(三)小市本溪湖間(水路百四十五支里)	雜穀	一袋(斗)	二角乃至三角

天候不良ナルカ或ハ解氷及雨期ノ際ニハ二割乃至五割ヲ増シ上航ノ際ハ右ノ運賃ノ一倍半乃至二倍ヲ要ス

## 第三章 產業

### 第一節 農業

#### 一、耕地ノ分布

本地方到ル處山嶺起伏シテ平地ニ乏シク唯タ牛心臺高麗營子小市韭菜峪城廠小甸子望城崗子等ノ附近ニ些少ノ平甸耕地ヲ有スルノミ其他ハ山岳ノ斜面ニシテ急峻ナル山嶺ト雖苟モ耕耘ヲ加ヘ得ヘキ地點ハ叮嚀ニ耕作セラレ傾斜セル耕地層々相重リテ山頂ニ及ヒ甚タ奇觀ヲ呈セリ

全體ノ耕地面積ニ就テ支那官憲ノ調査セル所ハ左ノ如シ

産業

城廠地方

三、一〇一

田師傳溝地方

三二

三、三三三

望城崗子地方

六、九四五

小市地方

六六〇一

牛心臺附近

約二、四〇〇

合計

二、二四九一

然レトモ右ノ數ハ租稅徵收上表面届出ラレタル地積ニシテ大部分ハ平均耕地ニ係ルカ故ニ未届耕地山岳斜面ノ耕地等ヲ加算スレハ實際ハ尙多數ナラサルヘカラス、今本調査區域ノ總戸數一萬四千一百戸、總人口九萬五千四百人(參照第一章)トシ實地踏査ノ現況ニ鑑ミ一年一人ノ食量一石一斗(壯年男子ハ石ニ及フモノアルモ老若男女ヲ通スレハ一石一斗内外ナリ)トシ家畜ヲ一戸平均二頭即チ總數二萬八千一百頭ト假定シ每頭一年一石ノ穀物ヲ食ムトスレハ食料約十萬五千石、家畜飼料約二萬八千石ヲ要ス其他燒酒、豆油、粉條、豆腐等製造ノ消費高約二萬二千石、城廠其他各地ヨリ輸出セララル總數約四萬八千石アリ即チ農産ノ總額ハ二十萬三千石、其内葦子峪四平街ヨリ城廠ニ來集スル穀物約七千石ヲ差引クトキハ約十九萬六千石ヲ生産スヘキ計算トナル本地方一日地ノ收穫量ヲ高粱、粟、豆、玉蜀黍ヲ通シ平均四石ト見テ此農産額ヨリ打算スレハ本地方耕地ノ總額ハ少クトモ四萬九千日地以上ヲ有セサルヘカラス即チ前記支那官憲ノ調査ト比較スルニ約二倍強トナル其差額ハ未届耕地並ニ山岳斜面ノ耕地ト見ルコトヲ得ヘシ、本章ニ於テハ耕地ノ實額ヲ大約四萬九千响トシテ計算スルコトトセリ

本地方耕地實數約四萬九千响アリ是ヲ通過地方ノ農村實況ニ依リ毎戸平均所有耕地ヲ定メ推シテ其附近一帶ノ地方ニ及ホシ以テ各地方ノ耕地ヲ略算スルトキハ左ノ如シ(單位日地日ハ一ニ天或ハ响ト)

區域	地	方	農	村	數	耕	地	數	備	考
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

合	牛	子	崗	城	望	市					廠		城	
						賽	温	青	韭	小	馬	田		
計	心	小	高	望	小	小	賽	温	青	韭	小	馬	田	城
	臺	小	麗	城	甸	小	梨	泉	山	菜	小	家	師	
	地	營	營	營	營	計	寨	寺	背	峪	市	城	傳	
	方	計	子	子	子	計	寨	寺	背	峪	市	溝	廠	
三、八三	三、六	九、九	三、七	三、一	三、一	一、四	二、九	二、三	一、七	二、七	二、八	一、三	四、三	六、四
四、九〇〇	五、二〇〇	一、五〇〇	五、八〇〇	四、九〇〇	四、四〇〇	一、四四〇	二、三〇〇	一、八〇〇	一、七〇〇	二、九〇〇	五、七〇〇	一、四三〇	四、六〇〇	六、九〇〇
人口一人宛耕地三畝〇八ニ當ル	平地六割ヲ占メ他ハ山地ナリ	高麗營子ノ溝谷ニ沿ヒ平地多シ	望城崗子清河城及其南方一帶平地多シ	小甸子ヨリ英守堡子富家樓子一帶平地多シ	小甸子ヨリ英守堡子富家樓子一帶平地多シ	山地平地相半ハス	太子河岸些少ノ平地アレトモ多クハ山地ナリ	山間溪谷中ノ傾斜地多シ	韭菜峪一帶稍平地アリ	小市及山城寨附近ニ平均耕地多シ	城廠附近ニ平均耕地最モ多シ	平均地少ク山地多シ	平均地四割、殘部ハ山地トス	城廠附近ニ平均耕地最モ多シ

尙ホ平均耕地ノ分布ハ附圖ニ依リテ大約ヲ知ルヘシ

一、土地

本地方ノ土地ハ官地、王府地、旗地、民地、廟地ノ五種アリ其内最モ多キハ王府地ニシテ六割ヲ占メ旗地

産業

三三

之ニ亞キ三割ヲ占メ民地、官地、廟地合セテ一割ヲ占ム  
 王府地ハ金王府地大部ヲ占メ其區域ハ牛心臺附近ヨリ東南ニ延ヒ小市ヨリ山城溝、韭菜峪一帶ニ及  
 ヒ高麗營子小甸子地方ニモ散在ス包衣達ノ所在地ヲ磨石峪トシ現包衣達ヲ王作霖ト曰フ、次ハ禮親  
 王府地ニシテ高麗營子、大堡、小甸子、望城崗子等ニ散在シ、次ハ二爺府地(公爺府地トモ稱ス金王ノ二爺ナリト云フ)ニシテ高麗  
 營子、小市附近ニ散在ス、其他山城寨及水洞附近ニ少許ノ順承郡王府地アリ、小甸子附近ニ恒公府地ア  
 リ、老官砬子附近ニ端郡王府地アリ  
 旗地ニ旗紅冊地、升科地、餘租地、興京倉地等ノ別アリ、最モ多キハ旗紅冊地ニシテ城廠ヨリ小甸子、山城  
 寨ニ至ル太子河右岸地方ニ多シ、興京倉地ハ馬家城子、小甸子附近ニ散在シ其間少許ノ升科地、餘租地  
 ヲ含ム  
 民地ハ主トシテ民紅冊地ニシテ間々餘租地ヲ夾ム、砬咀子、放牛堡、小市、山城溝、城廠、趙家甸子、山城寨地  
 方ニ散在ス  
 官地ハ邊門隨缺地、內務府地、盛京戶部地ノ三種アリ、邊門隨缺地ハ城廠附近ヨリ邊柵ニ沿フ一帶ニ散  
 在シ、城廠邊門章京以下莊丁ノ隨缺地(總計二千七百六十畝)ト邊柵挖濠臺丁ノ隨缺地(總計七千二百六十畝)トアリ、內務府地  
 ハ清河城及賽梨寨地方ニ散在シ奉天戶部地ハ高麗營子附近ニ少許アリ  
 廟地ハ寺廟ニ附屬スル香奠地ニシテ溫泉寺附近ノ一角ニ之ヲ有スルノミ  
 右ノ內民地ト旗地トハ名稱ニ於テ異ナルモ事實ニ於テハ殆ト區別ナク旗地ニシテ民人ニ典押セル  
 モノ多シ、其他ノ王府地、官地、廟地等亦他人ニ出押シタルモノ多ク而モ名稱ニ於テ押ト稱スルモ事實  
 ハ典或ハ賣却セルニ等シク土地所有者ノ關係甚タ複雑シ殊ニ王府地ノ如キハ原來典押ヲ禁シアル

ニ拘ラス隨意其管理者カ押典賣却スルコト恰モ自己ノ私有地タルカ如キ觀アルモノ多シ  
 今通過地方ノ土地種類並ニ地價ヲ示セハ左ノ如シ

地名	地價 (一日地)			旗地	民地	王府地	割地	其他
	上	中	下					
城廠	4000	2100	1000	7			1	隨缺地
大地塔堡	3000	1100	1000	10			1	
全塔堡	3500	1100	1000	8			2	
馬家堡	3000	1000	1000	6			4	
小市	3000	1000	1000	6			3	
香磨堡	3000	1000	1000	5			1	
山城	3000	1000	1000	5			1	
朴家堡	3000	1000	1000	6			4	
城廠	3000	1000	1000	1			1	
韭菜峪	3000	1000	1000	1			1	
頭溝	3000	1000	1000	1			2	
山城	3000	1000	1000	4			6	
青山	3000	1000	1000	4			6	
温泉	2800	1100	1000	1			2	廟地
謝家寺	2800	1100	1000	1			9	內務府地
賽梨寨	3000	1100	1000	7			3	
小甸子	3500	1500	1500	5			3	

牛心臺地					城崗子地方				
牛心臺	紅臉	老官	三家	偏嶺堡	牛營堡	高麗營	趙家甸	望城崗	清河城
三五〇	三五〇	三五〇	二五〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	四〇〇	三五〇
二五〇	二五〇	二五〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二五〇	二五〇
一五〇	一五〇	一五〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一五〇	一五〇
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
九	八	一〇	一	一	一	一	一	一	一
二	三	二	三	三	三	三	三	二	二
八	八	九	九	七	四	九	三	二	八

右ノ地價ハ甚タ高キニ失スルノ感アルモ姑ク土人ヨリ聞キタルママヲ記ス

地積ノ單位ヲ畝トス、一畝ハ二百四十弓、一弓ハ五尺平方、六畝ヲ以テ一日地トス、一日地ハ又一天地或ハ一畝地トモ稱ス、地積ノ計算ニ用フル尺度ハ原來戶部營造尺(尺〇五六我)ニ據ルモノナレトモ事實ニ於テハ木尺(我一尺)ヲ用フルカ故ニ一畝地ハ凡ソ我六畝〇步二六六(營造尺ヲ用フルトキ)ニ當リ一日地ハ我三段六畝一步六(營造尺ヲ用フルトキ)ニ當ル、山地斜面ノ耕地ハ點々散在シテ丈量ニ不便ナルカ故ニ概ネ目算ヲ以テシ大凡山地ノ一日地ト稱スルハ平地ノ一日地半以上ニ相當ス、壠ノ幅ハ奉天附近ニ比シテ稍狭ク我一尺四寸乃至一尺六七寸内外ナリ

地味ハ一般ニ中等ニ位ス、牛心臺、高麗營子、富家樓子、山城寨地方ヲ第一位トシ、小市、韭菜峪、城廠、小甸子、望城崗子地方ヲ第二位トシ、其他之ニ亞キ溫泉寺、青山背地方ハ地味最モ瘦惡アリ、殊ニ山地ハ石礫多

### 三、公課及租子

耕地ノ公課ハ奉天全省同一ニシテ上中下ノ三則ニ分チ、每畝上則地大洋一角四分、中則地一角、下則地六分ノ規定ナレトモ本地方ニ於テハ中則地ニ準シ、每畝一角ノ外附加一分ヲ課シ、即チ每日地一年大洋六角六分ヲ小洋ニ換算シテ八角ノ錢糧ヲ徵シ、別ニ畝捐或ハ地畝錢ト稱シテ、每日地每月一角即チ一年一元二角ヲ本溪縣ニ納ム、但シ官地、王府地ノ内免租地ハ此限ニ在ラス

畝捐ハ本溪縣署ニ上納スル地方税ニシテ、其内六割ヲ巡警費ニ充テ、四割ヲ學堂費ニ充ツ、其他地方ニ依リテハ保衛團ノ經費(馬家城子ハ每月銀元四角)ヲ納ムルモノアリ

佃種即チ小作ハ年期(五年一期)ト永代トノ二種アリ、租子即チ小作料ニ錢納ト穀納トノ二種アレトモ永代小作ニシテ穀納スルモノ多シ、穀納ニ活租ト死租トノ二種アリ、活租ハ穀量ヲ定メス、收穫高ノ幾割カラ地主ト小作人トノ間ニ分配スル方法ニシテ、本地方ニ於テハ對半ト稱シ、收穫物ヲ折半スルト共ニ錢糧畝捐モ亦小作人ト地主トニ於テ均分負擔スル方法普通ニ行ハル、小市、高麗營子、城廠、馬家城子等ノ如シ、又死租トハ年ノ豊凶ニ拘ラス、規定ノ穀量ヲ納付スルモノニシテ、其租子(小作)ハ地味ノ良否ニ依リテ一定セサルモ、二石ヲ普通トシ、少キハ一石五斗多キハ三石ニ及フモノアリ、此場合納付スル穀物ハ二色糧(高粱、黃豆)ノ二種ヲ或ハ三色糧(高粱、黃豆、穀子)ノ三種ヲ納付スルモノアリ、此場合納付通トシ、其錢糧ハ地主ニ於テ負擔シ、畝捐ハ小作人ニ於テ負擔スルヲ原則トス、レトモ事實ニ於テハ錢糧ヲモ小作人ニ於テ負擔シ、地主ノ名義ニ依リテ官廳ニ納付スルモノ少カラスト云フ



王府地ヲ耕作スルモノハ小作料トシテ規定ノ小租ヲ王府ニ納ムルコトヲ要シ其額處ニ依リテ同シカラス、紅臉溝金王府地ハ一年銀四錢五分乃至五錢、迷岔堡子金王府地ハ銀一兩、偏嶺堡子ノ禮親王府地ハ銀四錢乃至一兩〇五分ニシテ等シカラス、高麗營子ノ舊奉天戶部管轄地ハ小洋九角、小市ノ金王府地ハ小洋一元、小甸子ノ恒公府地ハ銀六錢ナリ、此場合錢糧ト小租ト相重複シテ旗地民地ニ比シ多額ノ負擔ヲ要スルカ如キ觀アルモ實際ニ於テハ表面届出ノ面積ヨリモ多額ノ土地ヲ耕スカ故ニ結局損失スル所ナキモノナリト云フ

### 四、耕種

耕作方法及農具等ハ南滿洲各地ト同シキカ故ニ(資料保存第二號南滿洲農業概要參照)説明ヲ略シ單ニ本地方特別ノ狀況ニ就テノミ臚述スヘシ  
 作付ハ高粱最多ク殆ト全額ノ四割ヲ占メ穀子(粟、黃豆)之ニ亞キ各二割五分ヲ占メ其他包米等合セテ約一割ヲ占ム(穀物名稱ノ說明ニ就テハ資料保存第一號所載滿洲穀物解説ヲ參照スヘシ)  
 收穫ハ高粱上地五石乃至七石、中地三四石、下地二石五斗内外ナリ今地方別平均作付割合並ニ收穫量ヲ示セハ左ノ如シ

地方	作付			收穫量(每日地)		
	高粱	黃豆	穀子	高粱	黃豆	穀子
田師溝	三	三	二	六	五	六
城方	三	三	三	六	五	六
其他	一	一	一	六	五	六

地方	作付			收穫量(每日地)		
	高粱	黃豆	穀子	高粱	黃豆	穀子
馬家子	五	一	二	七	四	五
小市	三	三	三	六	五	六
菲菜峪	四	二	三	六	四	五
青山背	三	二	二	六	四	五
賽梨寨	四	二	二	五	四	五
溫泉寺	四	二	二	五	四	五
小甸子	四	二	二	五	四	五
望城子	四	二	二	五	四	五
高麗營	三	三	二	六	五	六
牛心臺	四	三	二	七	五	六

播種量ハ各地トモ大差ナク概ネ毎日地ニ付高粱二升、黃豆五升、穀子一升、包米三升内外ナリ  
 農法ハ輪作法ヲ用フルコト南滿洲他ノ各地ニ同シ普通第一年高粱ナラハ第二年穀子若クハ包米、第三年大豆或ハ高粱、第四年高粱若クハ穀子ノ順序ヲ用フ  
 解雪後清明節(陽曆四月五日)ヲ過クレハ小犁ヲ家畜ニ牽カシメ或ハ人工モテ穀物刈跡ノ殘根ヲ除去シ大體ノ整地ヲナス之ヲ翻地ト稱ス此工程約十日、終レハ犁杖ヲ以テ墾ヲ整フ之ヲ坦地ト稱ス、坦地終レハ種子ヲ播布ス之ヲ種地ト稱ス、高粱、穀子、黃豆、包米ノ四種共ニ播種時季略ホ同シ、犁杖ハ一箇ニ付家畜二頭、人二人約十五日地ヲ耕作スルコトヲ得、二箇ナレハ家畜四頭、人三人乃至四人、三箇ナレハ家畜六頭、人四人乃至六人ヲ要ス、家畜ハ牛或ハ騾ヲ用フ  
 播種ノ後陽曆六月上旬、六月下旬、七月中旬ノ三回中耕ヲ加フ之ヲ割地ト稱シ第一回ノ割地ハ普通芒種節(陽曆六月六日)前後ニ於テス、割地ニハ鋤頭(柄ノ長キ鐵)ヲ用ヒ割地毎ニ犁杖ヲ用ヒテ除草整地ス之ヲ鋤地ト

稱ス、刻地鑿地ヲ通シテ所要ノ家畜人員ハ種地ノ場合ニ同シク一回ノ工程各十日内外ナリ  
 耕地ニハ肥料ヲ用フ、肥料ハ糞糞及土糞ヲ混用ス、糞糞トハ牛馬糞ニシテ土糞トハ腐土、塵埃、雜草、獸糞  
 其他ノ汚穢物ノ堆積肥料ナリ、多ク種地ノ前後ニ於テ施肥スルモ輪作ノ關係ニ依リ高粱畑及萱畑ニ  
 ハ之ヲ用ヒサルコトアリ

鑿地後白露節(陽曆九月八日)ニ至ル間約二箇月ハ農閑ノ時期トス、白露節ヲ過クレハ收穫ノ候ニ達シ先ツ高  
 梁及包米ヨリ刈取り次ニ穀子ニ及ヒ黃豆最モ後ル之ヲ割地ト稱ス、犁杖二箇(兩副)ヲ用ヒ三十日地  
 ヲ耕作シタル場合其收穫ニ要スル工程ハ三人工ニテ少クトモ十五日ヲ要シ更ニ之ヲ自家ニ運搬ス  
 ルニ少クトモ五六日ヲ要スト云フ

收穫シタル雜穀ハ碾子(石製)ヲ以テ穗ヨリ離ス之ヲ打穀ト稱ス、更ニ風ヲ利用シ木楸(木製)ヲ以テ空  
 中ニ上ケ塵及秕ヲ去ル之ヲ颯ト稱ス、此場合家畜ヲ有スル者ハ家畜ヲ以テ碾子ヲ曳カシムルコトヲ  
 得ルモ小農ハ概ネ連枷ヲ以テ叩キ穗穀ト穀實トヲ分離セシム、其他碾子(石)ヲ用ヒテ精穀スル方法等  
 南滿洲他ノ各地ニ同シ

本地方ニ於テ高粱ハ一石ヲ精シテ六斗乃至七斗ノ高粱米(紅米)ヲ得ヘク其秕子(殼)ハ豚ノ飼料トシ  
 秣(稈)程ハ燃料ニ供スル外棚或ハ家屋ノ天井張等ニ用フ、一日地ニ付凡ソ三百捆(每捆七十八斤)ノ秣積ヲ得ヘ  
 シ

穀子ハ精シテ一石ヨリ約五斗ノ小米ヲ得ヘク秕子ハ豚ノ飼料トシ穀草(谷草トモ稱)ハ牛馬ノ主要ナ  
 ル飼料トナル  
 包米ノ稈ハ包米糶ト稱シ燃料或ハ牛ノ飼料トナシ穗穀ハ包米棒子ト稱シ燃料或ハ瓶ノ栓ナトニ用

フ、豆殼並ニ豆稈ハ燃料ニ供セラル

五、農産額及輸出力

農産額ノ最モ多キハ高粱ニシテ概ネ住民ノ食料ニ充テラレ一部燒酒ノ原料牛馬ノ飼料ニ供セラレ  
 多少ノ輸出力ヲ有ス、次ハ穀子ニシテ住民ノ食料トセラルル外僅少ノ輸出力アリ、次ハ黃豆ニシテ一  
 部豆油豆腐ノ原料牛ノ飼料等ニ供セラルルモ大部分ハ輸出セラル、包米ハ一般ニ耕種スルモノ少ク  
 食料トセラルル外僅少ノ輸出力アリ、其他小豆、綠豆、芝麻、小麻子等多少ノ生産アルモ殆ト數フルニ足  
 ラス大麥、小麥等ハ殆ト之ヲ生産セシテ葦子峪、平頂山等ヨリ之ヲ輸入ス、牛心臺ヨリ小市一帶ニ棉  
 花ノ栽培者アルモ其額少ク唯タ小甸子、望城崗子一帶ヨリ麻ヲ産シ年々約五十萬斤ノ生産力アリ  
 今各地方ノ耕地、作付、收穫等ヨリ打算セル地方別農産額見込數ヲ示セハ左ノ如シ(第一項參照)

地方	人口	耕地	一人宛耕地	主要農産物				
				高粱	穀子	黃豆	包	米
城師溝廠	13,700	6,900	0.5	8,500	8,000	7,300	1,000	1,000
田家子	8,900	4,600	0.5	5,800	4,500	4,500	1,000	1,000
馬家子	5,200	1,800	0.3	4,700	1,100	900	1,100	1,100
小計	37,800	12,100	0.3	19,100	14,700	12,700	3,900	3,900
小市	9,800	5,700		7,100	6,900	6,500	1,500	1,500
菜峪	4,700	1,900		4,900	3,500	1,500	600	600
青山背	2,700	1,400		2,100	1,100	1,700	700	700

産業	賽梨寨	温泉寺	小計	小甸子	望城崗子	高麗營子	小計	牛心臺	合計
豆	四四〇〇	三三〇〇	二四九〇〇	六五〇〇	七三〇〇	八八〇〇	二二六〇〇	一〇〇〇〇	九五四〇〇
高粱	一一三〇〇	一八〇〇	一四四〇〇	四四〇〇	四九〇〇	五八〇〇	一五一〇〇	五二一〇〇	四九〇〇〇
梁包			三三七				八〇〇	三三三	三〇八
米	三三〇〇	二二〇〇	二二一〇〇	七四〇〇	八二〇〇	七三〇〇	三三三〇〇	八〇〇〇	七二七〇〇
小米	一六〇〇〇	一七〇〇〇	一五九〇〇	三五〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	一一一〇〇	四二〇〇	四六六〇〇
麻	一〇〇	一〇〇	一一一〇〇	五三〇〇	五九〇〇	七〇〇〇	一八二〇〇	六二〇〇	四九三〇〇
黃菸	九〇〇	七〇〇	四四〇〇	一〇〇〇	一一〇〇	一〇〇〇	四二〇〇	一〇〇〇	三三三〇〇

次ニ各地方農産物輸出力ヲ示セハ左ノ如シ(第一章第四項參照)

地方	黃豆	高粱	梁包	米	小米	麻	黃菸
城廠地方	一七〇〇〇	二二〇〇〇		一〇〇	五〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇
小市地方	七〇〇〇	一五〇〇〇		一〇〇	六〇〇	五〇〇〇〇	一七〇〇
望城崗子地方	一三〇〇〇	一〇〇〇〇		一〇〇	一〇〇		
牛心臺地方	四五〇〇〇	八〇〇		一〇〇	一〇〇		
合計	四〇〇〇〇	五三三〇〇	三〇八	三三三	七二七〇〇	五三〇〇〇〇	四一三〇〇

右ノ輸出力ハ最近一箇年間ニ於テ各地方ヨリ輸出セラレシ大約ノ數量ヲ示シタルモノニシテ其内城廠ハ其附近ノ産出農産物ト四平街葦子峪ヨリ來集スルモノトヲ含ムカ故ニ黃豆ノ如キハ其附近出産數ヨリモ却テ多額ノ輸出量アリ、小市望城崗子、牛心臺ノ三地方輸出品ハ皆附近ノ産出農産物ノ

一部トス尙輸出状態ニ關シテハ第四章市邑ニ於テ分述スヘシ  
參考トシテ各地斗量及斤數ノ比較ヲ左ニ示ス

城廠	一斗ハ我	一斤ハ我
小市	同	同
高麗營子	同	同
小甸子	同	同

### 六、農民

本地方農民ノ平均一人宛耕地ハ三畝〇八(我一段八畝十)ニシテ自耕スル者佃種スル者各二割ヲ占メ、出押(出押ト稱スルモ實ハ典ナルモノ多シ)シテ他人ニ耕作セシムル者約六割ヲ占メ、耕地寡少農民ノ生計甚タ窘迫セリ、大富豪ト稱スヘキ者ナク耕地一百日地以上ヲ所有スル地主ナク概ネ三四十日地ヲ所有スレハ地方ノ富豪ニ數ヘラレ一箇人的(イコヒテ)地(土地)ヲ耕作スル者最モ普通ナリ其一人ノ土地トハ山坡地ノ如キ丈量不便ナル耕地ニ於テ之ヲ稱シ二日地内外ヲ指スモノナリ以テ農民貧窮ノ度ヲ察スヘシ  
サレハ單ニ耕作ノミヲ以テ生計ヲ營ミ難ク種々ノ副業ヲ兼ネサルヘカラス、家畜車輛ヲ有スル者ハ農閑ノ時運搬業ニ從事シ多少資本ノ調達ヲ得ル者ハ油房、粉房ヲ兼ネ小ナルハ豆腐製造或ハ小旅店ヲ開營シ或ハ菓子焼餅類ノ販賣ニ從事ス、温泉寺附近ヨリ城廠ニ至ル一帶ニハ豚或ハ山羊ヲ飼養スル者多ク青山背蜂蜜礮子一帶ハ柞蠶ヲ飼養スル者多シ、而シテ資力ヲ有セサル細民ニ在リテハ木材伐出、石炭開掘、筏ノ流下、船筏子ノ漕運等ニ雇ハレ若干ノ賃銀ヲ得テ辛フシテ糊口ノ道ヲ得ルヲ普通

トス

農民所要ノ雜貨布疋ハ附近ノ商舖ニ特約シテ前借シ收穫ノ際或ハ年末ニ於テ清算スルヲ常トシ爲ニ收穫穀物ハ自家食料ノ分ヲ殘スノ餘力ナク之ヲ出シテ以テ商舖ノ抵償ニ充テ各季農閑ノ候勞働シテ得タル零碎ノ賃銀ヲ以テ更ニ食料ヲ購買スル者少カラス、且現銀ヲ得ルコト容易ナラサル結果現銀貨幣ノ尊重セラルルコト甚シク農家生計造練ノ窮狀大ニ同情ニ値スルモノアリ

食料ハ高粱、粟、包米等ヲ主食トシ就中高粱最モ多シ其比例ハ地方ニ依リテ多少ノ異同アリ高麗營子ニ於テハ高粱、粟各四割、包米二割ヲ用ヒ小市地方ニ於テハ高粱五割、粟三割、包米二割ヲ用ヒ、小甸子地方ニ於テハ高粱五割、粟四割、包米一割内外ヲ用フ、一年ノ食量壯年ノ男子ハ二石以上三石ヲ要スレトモ老幼男女ヲ通シテ一人平均食量ハ一石乃至一石二三斗普通一石一斗内外ナリ、概ネ朝食ハ早飯ト稱シ普通飯ニ炊キ晝食ハ水飯ト稱シ煮沸スルト同時ニ撈出シテ冷水中ニ浸シタルモノヲ用ヒ夕食ハ粥トナシテ吃スル者多シ、一日普通二食ナレトモ勞働期間ハ三食トス但シ昌圖、海龍地方ニ於テ見ル如ク農耕期間四食トナスコトナシ、食料ハ粟ヲ最モ上位トシ麥粉ハ更ニ上食ニシテ普通ノ農家ニ在リテハ祭祀、吉凶ノ外之ヲ用フルコト稀ニ、白米ノ如キニ至リテハ特別ノ場合ニ非サレハ常民ノ口ニスルコトヲ得サルモノナリ

副食物モ亦粗惡ニシテ祭祀、吉凶ニ非サレハ肉食スルコト稀ナリ、鶏卵、鴨蛋ノ如キモ豊富ナラス、野菜ハ主要副食物ニシテ各戸皆之ヲ栽培スレトモ豊富ト云フ程ニ非ス、殊ニ四五月頃ハ副食物最モ缺乏シテ普通ノ農家ニ在リテハ鹹味甚タシキ漬物ノ外他菜ヲ有スルモノ稀ナリ

### 七、農家ノ家畜並ニ車輛

(第二章)

犁杖一箇ニ付家畜二頭ヲ要シ十五日地ヲ耕作スルコトヲ得ルカ故ニ三十日地以上ヲ耕作スル者ニ在リテハ概ネ家畜四頭以上ヲ有シ大車ヲ準備スルモノ多シ、農用家畜ハ重ニ牛及騾ニシテ馬ハ少ク驢ハ中農以上ノ家ニ於テ曳白用トシテ飼養セラル

牛馬ノ飼養法ハ時季ニ依リ同シカラス即チ左ノ如シ

- (一) 春季施肥整地ノ場合 雜草未タ成長セサルヲ以テ秣ハ粟稈ヲ用ヒ一日牛ハ每頭粟稈二十斤乃至三十斤、大豆一升馬ハ每頭粟稈二十斤高粱二升、豆餅五斤ヲ要ス
- (二) 中耕ノ場合 雜草成長スルヲ以テ牛馬共ニ放牧シ牛ニハ穀物ヲ給セス馬ニハ時々粟稈ヲ與ヘ一日一頭ニ付高粱一升豆餅五斤ヲ與フ
- (三) 農閑ノ時 牛馬共ニ放牧シ飼料ヲ與ヘス馬ノミハ夜間粟稈少許ヲ與フ
- (四) 冬季運送ニ從事スル時 牛ハ遠路ノ運送ニ從事セシメサルモ勞働ニ從事セシムル時ノ飼料ハ整地ノ場合ト同シ馬ハ一頭ニ付一日粟稈十五斤、高粱一升五合、豆餅五斤ヲ要ス
- (五) 冬季閑散ノ時 牛馬共ニ粟稈十斤、外ニ牛ハ大豆四五合、馬ハ高粱一升乃至一升五合、豆餅三斤内外ヲ與フ

以上第一ノ場合ニハ一日三回ニ分給スル外其他ノ場合ハ二回ニ分給ス

右ハ中農以上ニ於ケル最優額ヲ示シタルモノナルカ故ニ穀物ノ豊富ト否トニ依リ或ハ農民貧富ノ度ニ依リ多少節約セララルモノトス

牛馬ノ使用日數ハ耕作ノ際播種マテ二十日、三回ノ中耕合計三十日穀物ノ收穫運搬ニ五六日、打穀ニ約十日内外ニシテ其他薪ノ運搬及其他ノ雜用ヲ除キ夏季ハ中耕後收穫迄約二箇月、冬季ハ收穫後採種前迄約四箇月ノ閑暇ヲ有ス、此閑暇ヲ利用シ夏季ハ駄馬用トシ冬季ハ大車ヲ挽カシメ或ハ他人ノ借用ニ供ス

牛馬ヲ借入ルル場合ニハ損料トシテ春夏秋冬ノ三季ハ一日一頭ニ付二角五分(飼料擔)冬季運搬用トシテ借用スルトキハ一日一頭ニ付一角乃至二角(飼料擔)ヲ普通トス  
 冬季運搬ニ用ヒラルル車輛ハ車長一丈三尺五寸以上ノモノニシテ套馬ハ六頭曳ノモノ多シ夏季ノ運搬ニハ多ク駄馬トシテ使用ス、行程夏季一日五十乃至六十支里、冬季九十乃至一百支里、運賃トシテ夏季馬一頭ニ付一元乃至一元五角、雨期ハ二元ニ及ビ冬季大車一輛ニ付一日三元乃至四元ヲ得ヘシ、冬季大車運送業ニ従事スルトキハ馬夫二人(趕車的一人)ヲ要シ途中一日ノ諸雜費左ノ如シ(車夫二人換站計)

一、宿泊料 <small>(每人一食一角一日)</small>	二人合計	四角
一、家畜監視禮金 <small>(料ナシ)</small>		半角
一、秣切リ禮金 <small>(一回半角)</small>		一角
一、粟稈九十斤 <small>(約千斤)</small>		二角七分
一、高粱九升 <small>(每斗約八角)</small>		七角二分
一、豆餅三十斤 <small>(約五十斤物)</small>		七角五分
合計		二元二角九分

右ノ内事實ニ於テ豆餅ハ六頭總計二十斤内外ニ節約シ粟稈及高粱ハ出來得ル丈ケ自家ノモノヲ携帶スルヲ以テ大約一日ノ經費ヲ一元五角以下ニ節約シ一日ノ純益一元五角以上二元五角ヲ得ルト云フ然レトモ本溪湖城廠宿泊ノ際ハ馬ノ飼養ニハ經費ノ増加ヲ見サレトモ人ノ宿泊ニ一倍半乃至二倍ノ經費ヲ要シ且馬匹不足ノ場合、他借ノ損料、馬夫不足ノ場合、雇入賃銀ヲ差引クトキハ純利益五角内外ニ減少スルコトアリ一年ヲ通シテ約一百元ノ所得アレハ優等ノ成績ナリト云フ

農家人夫ノ賃銀ハ食料雇主負擔ニテ臨時雇一日二角乃至三角五分、常工(常)二箇月五元乃至七八元、一年(十一箇月)四十元以上九十元ニシテ作業ノ成績ニ依リ五月節、八月節、年末ニ若干ノ金物ヲ賞與スル外、外勤ノ場合ト雖割増金ヲ給セス  
 車馬ノ公課ハ駄馬ニ使用スルトキハ每頭一年駄捐一角二分ヲ要シ大車ハ一輛ニ付車牌子トシテ一年四元ヲ要ス

本地方ニハ車店專業ノモノナク車夫ト雇主トノ間ニ於テ直接大車雇入契約ヲ爲スヲ常トス旅店ノ主人カ媒介シタルトキハ概ネ交情ニ依リ口錢ヲ要セサルモ時トシテ一角乃至二角ノ禮金ヲ贈與スルコトアリト云フ

## 第二節 工業

### 一、農産加工業

(イ) 燒鍋(燒酒製)

本地方ニ於ケル燒鍋ハ三戸アリ即チ左ノ如シ

燒鍋名	位置	副業	資本	班數	原料消費高	製造高	輸出高	使用人數
福興魁	城廠	雜穀輸出、農業	二五〇〇〇	二	高粱 三八〇〇〇 小豆 三六〇〇〇	三〇〇〇〇	一五〇〇〇	六
永隆泉	田師傳港口	油房	二五〇〇〇	二	高粱 三〇〇〇〇 小豆 三〇〇〇〇	二五〇〇〇	一五〇〇〇	六
永泉長	小甸子	雜貨、油房、粉房	四〇〇〇〇	冬夏	高粱 一六〇〇〇 小豆 六四〇〇〇	五〇〇〇〇	三〇〇〇〇	九
合計	三戸		九〇〇〇〇	冬夏	高粱 一、二、二、六、〇〇〇 小豆 一、二、二、六、〇〇〇	一〇、五〇〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇、〇〇〇	二、一、一〇

燒鍋ハ櫃房(營業)麵房(製造部)酒房(蒸溜部)ノ三ニ分レ櫃上ニハ大掌櫃以下之ニ居リ燒酒製造ノ總監督ヲナシ、所内ノ副業ヲ管シ、原料ノ購買保存、燒酒ノ販賣輸出等ヲ營ム、麵房ハ麵原料ノ碾碎、煉製、麩子房ノ堆積、製麩、既成麩ノ粉碎等ニ從事ス、酒房ハ原料ノ碾碎、窖子房(醱酵)ニ挿入、櫃房(蒸溜)ノ操作等ニ從事ス、其製出シタル燒酒ノ保存其他工場内各種ノ雜務ハ櫃上ニ於テ之ヲ管ス、燒鍋内使用人員ハ其班數ト副業ノ有無ニ依リテ同シカラサルモ小甸子永泉長ノ使用人ヲ示セハ左ノ如シ

- 一、櫃房 掌櫃的 七 人(大掌櫃的 一人 外櫃 二人 其他 四人)
- 二、櫃房 夥計 十四人(酒櫃、雜貨櫃ヲ含ム)
- 三、雜役 十九人(打雜兒的馬夫、車夫、猪管兒、大司夫等ヲ含ム)

- 二、麵房 班 九 人(管箱的 一人 端麵的 二人 接團的 二人 拌鍋的 二人)
- 三、酒房 班 十八人(大司夫 一人 燒火的 一人 打水的一人 上楸的一人)
- 四、油房 七 人(拌案子 一人)
- 五、粉房 五 人
- 合計 九十四人

其一班ト稱スルハ櫃一箇(蒸溜)ヲ指シ一班ニ付一日原料高粱四石八斗ヲ用ヒ之ニ對スル麵ノ原料大麥一石一斗二升、小豆四斗八升ヲ要シ高粱酒四百斤ヲ製出シ燃料トシテ一日一班ニ付石炭五百斤ヲ消費ス、原料ハ主トシテ燒鍋附近ヨリ産スルモノヲ用フルモ城廠ニ在リテハ大麥ヲ葦子峪、平頂山地方ヨリ輸入ス、麵ノ製造ハ陰曆三月以降八月以前ニ於テセラレ碾碎セル原料ヲ模型ニ入レテ煉瓦狀トナシ、麵子房中ニ積込ミ四十五日目ニ麵トナル、福興魁、永隆泉ニ於テハ一年一回製造シ、永泉長ニ於テハ一年二回製造スルノミ、出來上リタル麵ハ再ヒ之ヲ粉碎シ其品質ニ依リテ優等ト劣等トヲ適宜ニ混シ、一方高粱ヲ挽割リタル高粱種子ト稱スルモノ四石ニ對シ、麵約三百二十斤ヲ混シテ窖子(醱酵)ニ封入シ、八日乃至十日ヲ經過スルトキハ充分ニ醱酵ス之ヲ糝子ト稱シ取出シテ更ニ高粱種子若干ヲ加ヘテ櫃(蒸溜)

中ニ装入シ竈下ヨリ火ヲ加ヘテ蒸餾セシメ錫鍋(冷却器)ニ導キテ冷却セシメ初メテ燒酒ヲ得ヘシ蒸餾スルコト約一時間ニシテ之ヲ取出シ床上ニ播布シ其冷却ヲ俟テ更ニ麴ヲ加ヘテ窖中ニ封入シ別ニ新稗子ヲ取出シ高粱種子ヲ加ヘテ蒸餾セシム斯ノ如ク繰リ返シ同一ノ稗子ニシテ蒸餾五回ヲ越ユルトキハ酒精分減少スルヲ以テ酒精トシテ屋外ニ廢棄ス其製出シタル燒酒ハ毎回共酒精分ヲ異ニスルヲ以テ之ヲ適度ニ混シ同一ノ酒精分トシ變又ハ糞中ニ貯フ原料ノ處分ヨリ蒸餾保存ニ至ルマテ操作ノ詳細ハ南滿洲各地ニ同シキヲ以テ之ヲ省略ス(中央試驗所報 省第一輯參照)

酒糟ハ一班ニ付約一千八百斤ヲ得其價格一千斤ニ付四元乃至五元ナリ豚ノ飼料ニ適スルヲ以テ各燒鍋ニ於テハ概ネ三四圓(四十圓約)ノ豚ヲ飼養ス

一年ノ作業日數ハ故障ナケレハ休日ヲ除外シ約三百四十日アレトモ夏季ハ班數ヲ減スルコトアリ或ハ原料不足高價等ノ關係ニ依リ休業スルコトアルヲ以テ一年ヲ通シテノ作業日數ハ三百日乃至三百二十日ナリ

燃料ハ皆田師傳溝炭ヲ用フ每千斤ノ價格城廠ニ於テ一元八角小甸子ニ於テ二元五角内外ナリ酒ノ斤量ハ納稅ノ時ハ十六兩ヲ以テ一斤トスルモ賣買ノ時ニハ十二兩ヲ以テ一斤トシ二斤即チ二十四兩ヲ以テ一提トス燒酒ヲ量ルニハ提ヲ用ヒ二十兩ヲ量ルモノヲ大提トシ以下十二兩八兩四兩二兩等ノ各種アリ燒鍋ニ於テハ提量定マリ居レトモ小商ニ至リテハ隨意ニ之ヲ製作スルヲ以テ大小一致セシテ甚タ亂雜ナリ

本地方燒酒ノ生産高百五萬斤其内六十萬斤ヲ輸出シ殘部ハ附近ニ於テ消費ス輸出地ハ賽馬集、四平街、葦子峪、平頂山等ニ約四割安東鳳凰ニ約六割ヲ輸出ス輸出狀況ニ就テハ第四章第一節及第四節ヲ

參照スヘシ

燒鍋ハ廣大ナル地所房屋ヲ所有シ地方最大ノ營業ナルコト南滿洲ノ各地ニ同シク多數ノ家畜ヲ飼養シ車輛十數輛ヲ有シ概ネ他ノ營業ヲモ兼ス小甸子永泉長ノ如キハ油房、粉房雜貨ヲ兼テ竝ニ雜穀、麻其他特產物ノ輸出業ヲモ營ミ居レリ

燒鍋ノ公課ハ一班ニ付一日六元四角(百斤ニ付大洋一元六角一班ノ製造高四百斤トシテノ計算)ヲ納ムルヲ通則トスレトモ城廠福興魁ニ於テハ小洋ニ換算シテ一班一日八元ヲ納稅シ外ニ雜穀ノ購賣ニ當テハ價格每百元ニ付一元黃豆ハ三元ヲ納ムト云フ

(口)油房(豆油及豆餅製造所)

本地方ノ油房ハ皆小規模ニシテ舊式搾油法ニ依ル油房數及生産輸出高左ノ如シ

地 方	油房戶數	班 數	一 年 生 產		輸 出 高	原料大豆消費高
			大豆餅	小豆餅		
城 廠	三	三	六〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇
小 市	二	二	一〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
高 麗	二	二	一〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
小 甸	一	一	一〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
望 城	一	一	一〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
計	九	七〇	九七〇〇〇	一五〇〇〇	一五〇〇〇	三三〇〇〇

右ノ外農家ノ副業トシテ極メテ小規模ノ搾油業者數戸アルモ生産額僅少ニシテ數フルニ足ラス一班ハ普通三人ニシテ看礮子的一人燒火的一人泡豆的一人トス其半班ト稱スルハ人員同一ナルモ搾

油高僅少ニシテ納税ノ關係上斯ク稀スルノミ  
 原料ハ黄豆(豆)ヲ用ヒ皆附近ヨリ産ス一斑ニ付一日黄豆三石ヲ搾油シ一石ニ付豆油三十斤、豆餅三百  
 十二斤ヲ製出スルコトヲ得ヘシ、豆餅ニ大小ノ二種アリ大豆餅ハ一枚ヲ五十二斤トシ日本斤ノ四十  
 六斤ニ當リ(實際ハ四十七斤内外アリ)全部輸出ノ目的ヲ以テ製造セラレ高麗營子、城廠ノ外製造スルモノナシ、小豆  
 餅ハ地方ノ飼畜用ニ充テラレ城廠ハ二十六斤物、高麗營子ハ二十五斤物、小甸子、望城崗子ハ二十斤物、  
 小市ハ十八斤物トス、即チ黄豆一石ニ付大豆餅ハ六枚、小豆餅二十六斤物ハ十二枚、二十斤物ハ十五枚  
 半、十八斤物ハ十七枚三分ノ一ヲ製造シ得ル計算ナリ  
 燃料ハ石炭ヲ用ヒ油房ノ附近ヨリ之ヲ産ス一斑ニ付一日四十五斤乃至五十斤ヲ消費ス、搾油用ノ油  
 包草ハ皆附近ヨリ産出スルモノヲ用フ、油房ノ操作方法ハ南滿洲他ノ各地ニ同シ、豆油豆餅ノ集散狀  
 況ハ後章市邑ノ部ニ於テ分述スヘシ

(ハ) 磨房(製粉)

本地方ハ多ク洋麵(メリケ)ヲ用ヒ又小麦ハ單ニ自家用トシテ少許ヲ栽培スルニ過キサカ故ニ城廠  
 ヲ除ク外磨房ナシ城廠附近ニハ磨房六戸アリ原料ハ興京(新兵)ヨリ輸入シ規模小ニシテ單ニ家畜ヲ  
 以テ石臼ヲ挽カシメ粉末トナスノミ、平年五萬斤ヲ生産ス、小麦一石(城廠)ヨリ白麵(麥)二百三十斤乃至  
 二百四十斤、麸子二斗五升乃至二斗八升ヲ得ヘシ即チ一年原料小麦ノ消費高二百石強ナリ  
 (ニ) 粉房(製麵)

本地方ニ於ケル粉房ハ合計十七戸アリ即チ左ノ如シ

地名	粉房戸數	原料消費高	生産高	地名	粉房戸數	原料消費高	生産高
城廠	八	約二二〇石	約四〇〇〇斤	小甸子	一	一五石	二八〇〇斤
高麗營子	四	三〇〇	五、五〇〇	望城崗子	一	一〇	一八〇〇
小市	二	一五〇	二八〇〇	計	一七	三〇〇	五四七〇〇
韭菜峪	一	一〇〇	一八〇〇				

原料ハ吉豆ヲ用フルヲ通例トスレトモ本地方ハ小豆ヲ栽培スルモノ多キヲ以テ小豆ヲ用ヒ若干ノ  
 綠豆ヲ混合ス小豆一石ヨリ大約粉條(豆)百八十斤乃至百九十斤ヲ製造スルコトヲ得ヘシ  
 粉條ノ製法ハ南滿洲他ノ各地ニ同シ、販路ハ附近ノ需要ヲ充スノミニシテ輸出力ヲ有セス

一、窯業(缸窯)

八盤嶺堡子ヨリ大堡ニ至ル一帶盛ニ土器ヲ製造ス其製造物品竝ニ製造方法ハ本溪湖ニ同シ  
 窯ハ饅頭形ノ圓窯ニシテ亦本溪湖ノモノニ同シ大小ノ二種アリ、大形窯ハ主トシテ缸類(水)ヲ燒クニ  
 用ヒ之ヲ缸窯ト稱シ小形窯ハ酒瓶、德利、壺類鉢類ヲ燒クニ用ヒ之ヲ土貨窯ト稱スルモ俗ニ大小ヲ通  
 シテ一般ニ缸窯ト慣稱ス  
 大堡一帶ノ窯數左ノ如シ(一戸一窯以上ヲ有スルモノナ  
 カキ故ニ窯數ト戸數ト相同シ)

地名	缸窯	土貨窯	計	地名	缸窯	土貨窯	計



八盤嶺堡子	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大東溝堡	—	—	—	—	—	—	—	—	—
孔家堡子	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	四	三	七						

原料粘土ハ皆缸窑附近ヨリ産シ土質本溪湖ヨリ稍優良ナリ山中ヨリ掘出シタル塊状ノ粘土ヲ尖角ヲ有スル礫子(石製)ヲ以テ碾碎シ水ヲ加ヘ捏ネテ一旦乾燥セシメ更ニ練リテ土器ヲ製造ス工人一日ノ作業大缸ナラハ五六箇小酒瓶子ナラハ五十箇ヲ製スヘシ之ヲ戶外棚上ニ排置シテ乾燥セシメタル後窑中ニ適宜排列シ煉瓦及粘土ヲ以テ窑口ヲ密閉シ窑外ヨリ窑下ニ通スル火坑ヨリ火力ヲ加フ燃料ハ附近ヨリ産スル石炭ヲ用ヒ間斷ナク燃燒スルコト三四日ノ後更ニ數日間冷却セシメ初メテ搬出ス大約一窑ニ付一年五回乃至六回ノ燒製ヲナスト云フ

水缸ト土貨トハ燃燒ノ時間ニ稍長短アルヲ以テ同時ニ燒製スルコトヲ得ス而シテ缸窑ハ土貨ノ燒製ニモ用フルコトヲ得レトモ土貨窑ハ水缸ノ燒製ニハ不適當ナリ

缸窑ノ燒製一回ノ容量種類價格ヲ示セハ左ノ如シ(尺度ハ邦尺トス)

種	類	一窑ノ容量	缸ノ直徑	缸ノ高さ	每箇ノ價格
海大	缸	一七〇	二二五	二八五	二元
大	缸	一七〇	一八〇	二五五	一元二角
中	缸	一七〇	一三五	一九〇	八角
小	缸	一七〇	一〇〇	一四〇	二角

大中小ノ三箇ヲ一組トシ之ヲ一套ト稱シ價格一元八角ニシテ四角ヲ減價ス又之ニ海大缸ヲ加ヘテ

一、<sup>イ</sup>股路(股路ハ普通借字)ト稱シ價格三元三角ニシテ九角ヲ減價ス一窑一回燒製容量ハ各種百七十箇即チ百七十股路ナリ

又土貨窑燒製一回ノ種類容量價格ヲ示セハ左ノ如シ

種	類	一窑燒製ノ容量	每箇ノ價格	種	類	一窑燒製ノ容量	每箇ノ價格
八	件子	三七	九角	小	罐子	二〇	八分
淘	撈壺	五〇	一角	黑	鍋子	四〇	八分
小	口頭子	一〇〇	四分	青	箱子	二〇	八分
大	口頭子	五〇	八分	酒	壺	一〇〇	三分
酒	瓶子	五〇	一角	其他雜工器		二〇〇	三分

土器類一年ノ生産額ハ確數ヲ得サレトモ水缸約三千四百股路八件子約六百箇ナリト云フ

販路ハ一部地方ニ於テ消費シ大部ハ本溪湖遼陽地方ニ輸出ス其方法田師溝口太子河岸マテ大車ニテ輸送シ更ニ船筏子ニ移シテ下流ニ輸送ス河岸マテ大車一輛ニ八件子ナラハ十二箇大缸ナラハ六箇大中小一組ナラハ四套ヲ積載シ河岸マテノ運賃一輛二元乃至二元四角ナリ船筏子ニハ八件子ナラハ三十六箇水缸ナラハ十二套ヲ積載スヘク本溪湖迄ノ運賃每隻二十元乃至二十五元ナリ

### 三、香料製造業 (水磨房及香房)

湯河流域一帶香料トシテ楡麵(楡皮)及柞麵ヲ製造スル水磨房四十戸其内香房(楡香製)ヲ兼スルモノ二十五戸水洞附近ニ於テ二戸ノ水磨房アリ

楡麵ノ原料楡皮ハ東南方二百支里ノ山中ヨリ産シ山許ニ於ケル價格每百斤八角乃至一元ナリ、山許ヨリ駄背ニ依リ水磨房マテ運搬ス每百斤ノ運賃二元内外ナリ、水磨房ハ河水ヲ堰キ磨房マテ流水ヲ通セシメ直徑一丈乃至一丈五尺ノ水車ヲ廻轉セシメ其動力ヲ以テ剃刀(チリ)ヲ運轉セシメ楡皮ヲ細塊ニ刻ム、更ニ之ヲ普通ノ磨房ニ移シ鹽或ハ牛ヲ以テ碾子(コ)ヲ運轉セシメ粉末トシテ所謂楡麵トナス此工賃每百斤八角ヲ要シ百斤ノ楡皮ヨリ約八十斤ノ楡麵ヲ得ヘシ

柞麵ノ原料ハ柞樹ナリ湯河上流ノ山中ヨリ産シ河流ニヨリテ磨房マテ運搬シ樹皮ト樹幹トヲ併セテ水磨ニ附シ楡麵ト同様ノ方法ヲ以テ粉末トナシ柞麵ヲ造ル

湯河一帯ノ生産高楡麵四十萬斤、柞麵三十萬斤アリ其内柞麵ハ原料低廉ナレトモ運賃工費ニ多額ヲ要シ輸出ニ適セサルヲ以テ全部香房ノ線香製造原料ニ充テラレ楡麵ハ十萬斤ヲ線香ノ原料ニ充テ三十萬斤ヲ奉天遼陽、安東地方ニ輸出ス其價格每百斤四元内外ナリ

香房ニ於テハ楡麵ト柞麵トヲ一ト三トノ割合ニ混シ更ニ營口遼陽地方ヨリ輸出スル江王(チン)ト稱スル香料ヲ楡柞麵一〇〇ニ對スル江王二五乃至四〇ノ割合ニ混シ水ヲ加ヘテ捏ネ合セ型ヲ用ヒ壓柞シテ竝列セル細根狀ノ線香トナシ(線香)ニ入レテ安置シ其乾燥ヲ待テテ之ヲ一本毎ニ分離セシメ百五十本乃至二百本ヲ一把トシ五把ヲ一包トシテ出賣ス

香房ノ大小ハ床數ニ依リテ之ヲ言フ、一床ヲ有スルモノヲ一副床ト稱シ約一萬斤ヲ製作スヘシ大ナルハ四副床ヲ有スルモノアリ、磨石餘王家香房ニ於テハ四副床ヲ有シ原料トシテ楡麵一萬斤、柞麵三萬斤、江王一千斤ヲ使用シ毎年約四萬斤ノ線香ヲ製造スト云フ

線香ニ二種アリ一ヲ頂線香ト曰ヒ一ヲ頭門香ト曰フ頂線香ハ稍上等ナレトモ共ニ香氣ハ良好ナラ

第三節 商 業

踏查地方ニ於ケル商業範圍ハ大約分チテ五トナスコトヲ得ヘシ即チ左ノ如シ

出セラル、卸賣價格頂線香每百包十五元頭門香每百包八元内外ナリ

(一) 牛心臺 牛心臺紅臉溝一帯ヨリ偏嶺堡子金坑ニ及フ本溪湖商業範圍ノ一部ナリ

(二) 小市 小市、山城寨ヨリ賽梨寨温泉寺青山背、八盤嶺以西韭菜峪ヨリ湯河流域一帯ニ及フ

(三) 城廠 八盤嶺以東分水嶺將軍石以北馬家城子以南ニ及ヒ且四平街葦子峪ト密接ナル關係ヲ有ス

(四) 小甸子 小甸子、清河城、望城崗子、金斗峪、馬圈子、富家樓子一帯ニ及フ

(五) 高麗營子 高麗營子ノ溝谷一帯及偏嶺堡子、放牛堡、松樹臺、温泉寺附近ニ及フ

商業經路ハ牛心臺及高麗營子ハ殆ト全部本溪湖ニ賴リ城廠ハ賽馬集、草河口經由安東縣ニ由ルモノ七割其他ハ本溪湖、遼陽ナリ、小市ハ本溪湖ニ由ルモノ三割、遼陽ニ由ルモノ七割ナリ、小甸子ハ草河口經由安東縣ニ由ルモノ三割、千金寨經由奉天ニ由ルモノ五割、本溪湖ニ由ルモノ二割ナリ

本地方ハ山間僻地ニ介在シ商業一般ニ沈衰ス生産僅少ナルト交通不便ナルト馬賊ノ被害頻出スルト雨期ノ交通杜絶スルトニ依リ特別ノ事情發生シテ經濟狀態ヲ融和セサル限リハ現在以上ノ隆盛ハ不可能ナルヘシ

大小ノ商舖各地ニ散在スルモノ無數ナルモ城廠ヲ除キ言フニ足ルモノ稀ナリ、資本微弱ニシテ且現

銀缺乏シ私帖ヲ發行シ其餘利ヲ以テ編織シツアルコト所在皆然リ、一萬元以上ノ資本ヲ有スルモノ城廠ニ福興魁公悅成億合成四合興ノ四戸田師傳溝口ニ永隆泉ノ一戸、小市ニ永隆源ノ一戸、小甸子ニ永泉長ノ一戸、合計七戸ニ過キス

地方ノ人民一般ニ貧弱ナルト交通ノ關係ニ依リ商店ノ資金融通不活潑ナリ、農民トノ賣買ハ賒賣(賒掛)トシテ一年一回ノ清算ニ依ルモノ多ク從テ商店ノ一業ニ固執スルモノ稀ニ、多クハ數種ノ營業ヲ兼帶ス燒鍋ノ如キモ概ネ雜貨油房等ヲ兼ネ雜貨舖モ亦雜穀木材其他ノ特產物ヲ取扱ヒ夜々トシテ如何ナル小業タモ出來得ル限リ兼營セントスルカ如キ觀アリ、且他ノ地方ニ於テ見ル如キ獨立ノ棧店(問馬)ヲ有セス

中流以上商舖ノ資本主ハ地方ノ者僅々四割ヲ占ムルニ過キス殘部ノ六割ハ直隸永平、山東蓬萊、興京、奉天、山西等ノ者ナリ、殊ニ大商舖ハ福順魁、永隆泉、永泉長ノ如キ山西人ノ經營者多キハ奇異トスル所ナリ

商店ノ組織、店規等ハ南滿洲他ノ各地ニ同シ、尙各地ノ商業狀態ニ就キテハ第四章市邑ノ部ニ於テ更ニ詳述スヘシ

### 第四節 林業

#### 一、森林ノ分布

城廠、葦子峪ヨリ太子河ノ下流竝ニ小市、小甸子、高麗營子附近ニハ既ニ樹木ヲ有セス、唯タ各村トモ或一定ノ山區ヲ限リテ公山或ハ官山ト稱シ其一角タケ樹木繁茂スルモ公有地ナルカ故ニ特別ナル理

由ト公議トヲ經サレハ伐採ヲ許ササルモノトス、現在ノ森林區域ハ湯河ノ上流四十支里ノ山中ヨリ賽馬集方面ニ至ル一帶ヨリ青山背ノ南方ヲ東ニ延長シ城廠ノ東南方四平街ノ北方一帶ヨリ平頂山ノ南方ヲ走リ興京方面ニ及フ其内本溪湖方面ニ伐出セラレ得ヘキ森林ノ面積ハ約八十方邦里ニシテ小市方面約十五方邦里、城廠方面約三十方邦里、葦子峪方面約三十五方邦里ナリ(地圖ニ依リ概算)木材ノ重ナル產地ハ左ノ如シ

城廠方面 楊鬪子溝、水溝子、紅臉溝、黃波羅險、來河、西溝、小同溝、大同溝、驛牛溝、四方溝、南營房、瓜票子、

水甸溝、分水嶺、杉松河上流一帶

小市方面 樺皮峪、大甸子、錯草峪、水波箕溝、湯河上流一帶

葦子峪方面 平頂山ノ南方一帶

右ノ内現在伐出セラレツアルハ城廠及葦子峪ノ二方面ニシテ出產額兩方面トモ殆ト相似タリ

#### 二、木材ノ種類

產出木材ハ主トシテ雜樹ニシテ柞樹最モ多ク、榆樹之ニ亞キ、椴、樺、色、黃波羅、楊ノ各種ヲ交ユ、杉、松(赤松、白松)、松(赤松、白松)、黃花松(落葉松)ノ如キ松柏科ノ樹木ハ稀ナリ、樹幹亦大ナラスシテ直徑一尺以上ノモノハ稀ニ概ネ三寸乃至六七寸ヲ普通トス、粗造家屋、坑木、輕便鐵道ノ枕木、木炭製造、雜家具ノ製造等ニ之ヲ用フルコトヲ得ヘシ

柞樹ハ我國ノ櫟(柞)ニシテ用途最モ廣シ普通樹幹直徑三四寸乃至六七寸ニシテ一尺ニ及フモノ稀ナリ粗造家屋、坑木、道木(枕木)、薪炭材、菌類培生ノ原木、權、舵、大車ノ材料、柞麵製造原料、柞蠶ノ飼養等ニ用ヒラ

ル  
 楡ハ我國ノはるにれニシテ樹幹柞樹ヨリ大ナレトモ屈曲常ナク且丈高カラス、家屋建築製板等ニハ不適當ナレトモ椀盆羅圈(物曲)車腕子(軸車)扁擔(棒)机、桌椅等ヲ造リ皮ハ香料製造ニ用ヒラル  
 櫟木ハ又粗木ト稱シ我國ノへらのきナリ樹質強靱ナレトモ樹幹柞樹ニ比シ小ナリ諸道具ノ製造ニ供セラレ木杓子羅圈木楸子(木製)等ニ用ヒラル  
 樺木ハ我國ノ(かば)ニシテ産出額多カラス粗造家屋ノ建築ニ用ヒラルル外扁擔等ノ原料トナル  
 色木ハ我國ノ楓(でい)ニシテ數種アリ木材トシテ耐久力ニ乏シク家具、盆類、車腕子、扁擔等ヲ造ルニ用ヒラル  
 黄波羅ハ我國ノ黄蘗(きは)ニシテ産出少カラサレトモ木材トシテ使用セララルルコト稀ニ概ネ家具或ハ枕木坑木トセラレ樹皮ハ藥料或ハ染料トセラル  
 楊木ハ我國ノ(ごろ)やなぎナリ鴨綠江上流地方ニ於テ見ル如キ樹幹ノ大ナルモノナク太キモ徑六七寸内外ナリ杓木、盆篋子、箸、羅圈等ヲ造ルニ用ヒラル  
 城廠ニ來集スル木材ノ種類ハ柞樹八割ヲ占メ楡、楊合セテ一割、其他合セテ一割ナリ  
 木材ハ其長短大小ニ依リ大樑子、唐條、大棒子、二棒子、小椽子、密木、道木ノ七種ニ分タル即チ左ノ如シ  
 (一)大樑子 屋梁用材木ニシテ長サ二丈四尺乃至二丈六尺、直徑一尺二寸乃至一尺四寸アリ産額甚タ少シ  
 (二)唐條 雜木中最大ノモノニシテ長サ一丈六尺、直徑一尺内外アリ亦産額甚タ少シ  
 (三)大棒子 長サ一丈三尺五寸、直徑七寸乃至九寸アリ

(四)二棒子 長サ一丈二尺、直徑六寸乃至八寸アリ  
 (五)小椽子 雜木中最小ノモノニシテ長サ一丈六尺、直徑二三寸アルノミ  
 (六)密木 坑木ニシテ長サ八尺、直徑二三寸乃至六七寸ナリ  
 (七)道木 枕木ニシテ二種アリ大道木ハ鐵道用枕木ニシテ長サ八尺、幅八九寸、厚サ五六寸アリ但シ産出稀ナリ小道木ハ輕便鐵道用枕木ニシテ長サ五尺、幅五六寸、厚サ三四寸アリ一時多額ノ産出アリタルモ目下ハ甚タ少シ  
 城廠ニ來集スル木材中小椽子約四割ヲ占メ大棒子、密木各二割、二棒子一割、其他合セテ一割弱ヲ占ム

### 三、木材ノ伐採及流筏

木材伐採ハ專業トスル者稀ニシテ多クハ附近農民ノ副業ニ係リ苦力ハ地方一帶農村ノ壯男カ内職トシテ臨時雇用セラルルモノナリ伐採者ノ一團ヲ稱シテ班ト稱シ一班ノ人員少キハ五六人多キハ三四十人ニ至ル班ニハ各長アリ之ヲ把頭ト稱ス把頭ハ資金豊富ナル者少キヲ以テ概ネ春夏ノ候城廠或ハ葦子嶺ノ商舖ト先約ヲ結ビ豫メ木材ノ種類ト伐出數量トヲ定メ其ニ對スル見積價格ノ幾分ヲ現銀或ハ雜品、食料等ヲ以テ受取り冬季ニ至リ初メテ伐採ニ從事スルヲ常トス、商舖モ亦他地ヨリノ注文アリテ始メテ把頭ト約定スルモノ多キヲ以テ年々ノ産額ハ一ニ注文ノ多寡ニ依リテ多少アルノミナラス俄ニ木材買占ヲ行ハントスルモ急速ノ間ニ合ハサルヲ普通トス、城廠一帶ノミニテ現在伐木ニ從事スル苦力約五百人内外ナリ  
 把頭ハ冬季苦力ヲ引率シテ山林中ニ入り伐木ニ從事ス伐木苦力ヲ土語砍手ト曰フ、山林ハ邊柵以外

ナルトキハ官有林ニ屬スルヲ以テ規定ノ木税ヲ納付シ邊柵以内ナルトキハ王府地或ハ旗地ニ屬スルヲ以テ其管理者ニ對シ伐木ノ許可ヲ受ケ約束ニ依ル謝禮ヲ贈ル外山許ニ於ケル木税ナシ但シ輸出ノ場合ニハ税局ヨリ規定ノ木税ヲ徴セララルモ買主ニ於テ負擔スト云フ

伐採シタル木材ハ山中ニ於テ所要ノ長短ニ切り牛或ハ馬ヲ以テ解氷前附近ノ河岸マテ運搬ス此時約定商舖ハ店員ヲ該地ニ派シテ數量ヲ檢メ價格ノ殘額ヲ支拂ヒ授受ヲ了ス

木材授受結了後商舖ハ別ニ人ヲ雇ヒ之ヲ排筏ニ編成ス其法大棒子ハ六七本、二棒子ハ八九本、小棒子ハ十本乃至十二本ヲ柔軟ナル細木或ハ木皮ヲ以テ結合ス此一系列ヲ一條ト稱ス更ニ五條乃至六條ヲ窰木ナラハ十餘條ヲ連結シテ一排トナス此工程三人ニテ約三日工ナリ

是ニ於テ更ニ筏手即チ流筏者ヲ雇ヒ本店所在地マテ流筏ス楊鬍子溝ヨリ城廠マテ水路二百餘支里(陸路ナラハ)行程七八日乃至十日、一排ニ付筏手一人權ヲ以テ筏ヲ操縦シ此工銀四元乃至五元ナリ(六十支里)斯ノ如クシテ城廠ノ河岸ニ至ルトキハ筏ノ編成換ヲナシ上流ニ於ケル二排ヲ竝列セシメテ一排ニ連結ス此工程一人一日工ナリ

一 排ニ連結スル木材數ヲ種類別ニスレハ大凡左ノ如シ

大棒子 一〇〇本  
二棒子 一五〇本  
小棒子 二五〇—三〇〇本

大椽子 三〇—四〇  
唐條 三〇—四〇  
窰木 五〇〇

一 排ニ要スル筏手ハ一人乃至二人トシ權ヲ以テ操縦ス城廠ヨリ本溪湖ニ至ル平水ニ於テ三四日、遼陽ニ至ル更ニ一日半乃至二日其運賃本溪湖マテ一排ニ付十元乃至十二元遼陽ニ至ル十五元乃至十八元ナリ

輸出セラレタル木材ハ本溪湖ニ於テハ木廠ノ手ニ依リ或ハ直接賣却シ遼陽ニ於テハ杠房ト稱スル木材買賣仲介者ノ手ニ依リ賣却スルヲ常トス

四、木材輸出額

現時木材ヲ輸出スルハ城廠及葦子峪ノ二箇處トス例年三十萬本乃至四十萬本ノ間ヲ上下セシカ本年ハ撫順炭坑用坑木買收ノタメ戊辰洋行カ城廠及葦子峪ニ出張所ヲ設ケタルト本溪湖煤鐵公司ハ同地河岸ニ於テ坑木ヲ買收シタルトニ依リ產出額ヲ二三割方増加セリ

城廠並ニ葦子峪ニ於ケル木材輸出數量左ノ如シ、葦子峪ノ分ハ未踏查地ニ屬スルヲ以テ城廠四合與支配人ノ見込數ニ依レリ

種	類	城廠ニ於ケル輸出額	葦子峪ニ於ケル輸出額	單價
大	椽子	五〇〇本	四〇〇本	一元乃至一元二角
唐	條	一〇〇〇	一〇〇〇	五角
大	棒	五〇〇〇〇	三〇〇〇〇	三角
二	棒	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	二角五分乃至三角
小	棒	一〇〇,〇〇〇	八〇,〇〇〇	四角乃至一角
窰	木	六〇〇〇〇	五〇〇〇〇	五分乃至二角五分
計		二四一,五〇〇	一九一,四〇〇	

即チ城廠、葦子峪合計四十三萬二千九百本ノ輸出アリシ見込ナリ

五、木材ノ公課

木材ヲ城廠竝ニ葦子隘ニ搬出シタルトキ木税局ニ於テ左ノ木税ヲ徴收ス

道	木(枕)	每百本ニ付	大	二 元 六 角
同	木(坑)	同	小	二 元 二 角
客	木(坑)	同		一 元 二 角
大 棒 子	同	同		二 元 四 角
二 棒 子	同	同		五 角 九 分

右ノ外税局ニ於テハ耗羨ト稱シ正税ノ二分木捐ト稱シ正税ノ一分ヲ徴收シ更ニ税票每一枚ニ付銅元四分ヲ徴收ス皆輸出者ニ課ス

木材カ本溪湖或ハ遼陽ニ於テ賣却セラレタル場合ハ木税トシテ賣却價格每百元ニ付八元ヲ徴ス買主ノ負擔トス

六、林業副産物 (藥材及菌類)

(イ) 藥材

湯河上流一帶ノ山地竝ニ城廠ノ東南一帶ノ森林中ニハ藥材ヲ産スレトモ品質ハ吉林産ニ比シテ劣等ナリ産額ハ菲菜嶺方面十三萬四千斤城廠方面十六萬五千斤合計二十九萬九千斤アリ

藥材ハ人參(じんじん)ヲ例外トシ其他ハ之ヲ細藥材粗藥材ノ二種ニ分ツ本地方産出藥材ノ種類竝ニ其採

集時季ヲ列舉スレハ左ノ如シ

種	類	名	稱	日	本	名	採
細	粗	名		本	名	集	
藥	藥	名		日	本	時	
材	材	名		本	名	季	
		名		日	本	(陰	
		名		本	名	曆)	
細	粗	黃	辛	五	五	五	五
防	木	防	風	七	七	七	七
五	黃	五	子	七	七	七	七
党	木	党	參	六	六	六	六
蒼	黃	蒼	荒	六	六	六	六
五	木	五	皮	六	六	六	六
加	黃	加	皮	六	六	六	六
味	木	味	通	六	六	六	六
	黃		皮	六	六	六	六
	木		柏	六	六	六	六
	大		枝	八	八	八	八
	黃		木	六	六	六	六
	木		葛	三	三	三	三
	車		子	五	五	五	五
	升		根	五	五	五	五
	結		前	三	三	三	三

人參ハ土名之ヲ拂錘ト曰ヒ人參ヲ採集スルコトヲ放山人參採集者ヲ放山的ト曰フコト吉林地方ニ同シ放山的ハ大抵數人以上一團トナリ陰曆五月以後秋季白露以前山中ニ入りテ採集ニ從事スルモ

吉林地方ノ如ク數日乃至數十日ノ食料ヲ携帶シテ入山スル大規模ノモノナク概ネ二三日ヲ限度トシテ山中人參ノ開花或ハ枯莖ヲ目標トシテ搜索シ草根ヲ挖ル人參ノ莖ハ高サ五六寸以上二尺五寸内外ニシテ其花紅ナリ葉ハ對生ニシテ其對點ヨリ花梗ヲ生シ梗頂ニ開花ス人參ハ一年草ナレトモ多年根ナルカ故ニ葉莖ハ年々枯死スルモ根ハ長年月地中ニ在リ其長久ノ度ニ從ヒ其葉ノ對生數ヲ増加ス即二對生ノモノハ二皮葉ト稱シ五六年乃至十年位ヲ經過シタルモノナリ三對生ハ三皮葉ト稱シ十年以上三十年位ヲ經過シ四對生ハ四皮葉ト稱シ三十年以上五十年位ヲ經過シ漸次年數ヲ増加スルニ從ヒ八對生即チ八皮葉ニ及ヒ益ス品質ト價格トヲ遞加ス本地方出產ノモノハ燈臺子(最モ劣モ)ニ皮葉三皮葉ニシテ四皮葉以上ノモノハ稀ナリ例年放山ニ從事スルモノ四五組乃至七八組ニ過キスシテ產額合計一百二十斤内外ナリ概ネ放山の自身ニテ奉天地方ニ輸出ス(以上人參ニ關スル事項ハ土人ノ話)細辛以下ノ藥材ハ皆農民ノ副業トシテ隨意ニ接集セラルルモ奉天地方ヨリ來レル老客(仲買)トノ間ニ最初採集スヘキ藥材ノ種類ト數量トヲ約定シ手附金ノ交付ヲ受ケテ入山スル者多キカ故ニ老客注文ノ多少ニ從テ產額ニモ増減アリ概シテ之ヲ言ヘハ年々藥材ノ品質劣等トナリ產出額モ減少ス唯木賊黃柏皮木通細辛ノ四種ノミ尙豐富ナリト云フ

(ロ) 菌類

森林地帶中亦菌類ヲ產ス木耳(らび)黃蘗(一種)榆蘑等アリ其產地ハ城廠ノ東南ニ多ク一年ノ生産大

約木耳六七千斤黃蘗五六萬斤榆蘑二千斤内外アリ木耳(らび)ハ一名黑菜トモ稱シ柞樹ニ生ス秋冬ノ頃柞樹ヲ伐リ倒シ山中ニ放置スルトキハ翌年ヨリ木耳ヲ生シ更ニ三年目迄之ヲ採集スルコトヲ得三年ヲ經過スルトキハ硬質トナリテ食用ニ適セス

其產額多カラサルカ故ニ吉林地方ノ如ク木耳採集ヲ専門トスル黒菜(イソギ)のナル者ナシ黃蘗ハ一名元蘗或ハ東蘗トモ稱ス椎茸ニ似タル菌ニシテ椴樹ヲ伐リ倒シタル三年目ヨリ發生ス其風味甚タ佳ナルカ故ニ廣ク愛用セラル

榆蘑ハ一ニ榆肉トモ稱ス伐倒シタル榆樹ニ發生ス其味佳ナレトモ產額多カラス榆蘑ハ樹幹ニ發生シ榆肉ハ樹窟内ニ發生スルモノナリト云フ

菌類ノ集散地ハ主トシテ城廠ニシテ其販路ハ木耳ハ奉天ニ輸出セラレ其他ハ安東鳳凰城ニ仕向ケラルルモノ多シ

第五節 鑛業

鑛業狀況ニ關シテハ地質研究所ノ専門調査アルヘキヲ以テ之ヲ省略ス

第四章 市邑

第一節 城廠

一、市街狀況

城廠ハ太子河ノ上流杉松河トノ會合點ノ右岸ニ位シ本溪湖ノ東百八十支里草河口ノ東北百八十支里ノ地ニ在リ康熙二十一年此地ニ城廠邊門章京ヲ置キ邊門ノ守衛ニ任セシカ現時單ニ虛位ヲ有スルニ過キス此地原ト興京ノ管下ニ屬セシカ光緒三十二年(明治三十九年)遼陽州ヲ割キテ本溪縣ヲ設ケシ際

此地竝ニ馬家城子、小甸子一帶亦本溪縣ニ劃歸セララルニ至リタリ、現在行政官ノ駐紮スルモノナク又市街自治機關ヲ存セス單ニ本溪縣警察東區第三分局ノ巡官アリテ地方ノ警謐安寧ニ任シ行政事務ハ直接本溪縣ノ指揮ヲ仰キツツアリ(因ニ官ヲ城廠ノ地名ハ曹達製造所アルニ非スシテ滿語加水源邊門ト稱スル普通ナルカ知シ)

市街ハ東北一帶ニ丘嶠ヲ負ヒ南方一帶ハ稍々開濶セル平地ニ蒞ム、街衢ハ太子河ノ東岸ヨリ起リ東方ニ延ヒ前街後街ノ二街、後街ニ竝行スル二巷及之ト交叉スル大小五條ノ街巷ヨリ成ル、就中後街最も長ケレトモ重ナル商舖ハ前街ニ雜然トシテ集合セリ、稍々市街ノ體裁ヲ成シ瓦葺甌房比較的多ク商店ノ建築亦大規模ノモノ多ケレトモ市街一般ニ蕭條トシテ活氣ナク殊ニ近年馬賊ノ襲撃ヲ受クルコト、頻々ニシテ加フルニ本年四月馬賊黃四燼ニ襲ハレ嗣テ該賊討伐ノ爲メ來レル軍卒ノ誅求ニ遭ヒ市民ノ損害約十萬元ニ及ヒ商舖ノ如キハ目下尙堅厚ナル門扉ヲ設ケ僅ニ人ノ出入シ得ル丈ケノ入口ヲ開キ以テ賣買ヲ營ミ居ル奇觀ヲ呈セリ、要スルニ本市街ハ他ニ特別ナル產物ノ生セサル限リ現在以上ノ發展ハ望ミ得ラレサルヘク支那官憲ニシテ善ク保護ノ道ヲ講セサレハ將來或ハ衰微スルヤモ測リ難シ

市街ノ戶數正戶附戶合計約九百戶、人口約六千、內大小ノ商舖四十五戶、工作ニ從事スルモノ三十五戶、旅店七戶アリ(巡警局ノ官所ニ據ル)

官公衙トシテ本溪縣東區第三分局アリ老爺廟內ニ寄設シ巡官一名、巡警二十名駐紮ス、外ニ鳳凰城ノ東邊鎮守使ニ屬スル奉天右路巡防兵ノ一部(三十名)及馬賊討伐ノ爲メ來駐中ノ奉天陸軍第二十七師ノ一部(名一百)駐在ス

學堂ハ公立兩等小學堂(老龍廟ニ附設、學生二十五名)及八旗小學堂(邊門街門ニ附、學生二十名)アリ

城廠邊門ハ城廠市街ノ東方二十支里ニ在レトモ現時形ヲ存セス、該邊門守禦ノタメ康熙二十一年武章京一員莊丁十一名ヲ置キシモ後莊丁ヲ五十名ニ増加シ光緒年間更ニ四十名ニ減セリ、俗ニ章京ノ居所ヲ邊門衙門ト稱シ章京ヲ門官ト稱ス、莊丁ハ城廠市街竝ニ四近ノ村落ニ散居ス、別ニ邊欄ニ沿フテ挖濠ノ爲メ散在スル臺丁一百十名アリ、共ニ盛京鎮黃旗ニ屬シ章京以下隨缺地(章京ハ一百二十餘、莊丁ハ各六十六餘)ヲ有スレトモ現時章京ヲ除ク外自耕或ハ招租スルモノ稀ニシテ出押ニ附セルモノ多シ、現章京ヲ阿力布ト曰フ、單ニ空名ヲ擁スルニ過キスシテ莊丁、臺丁ヲ管スルノミ

### 二、商業

#### (イ) 概 説

城廠ノ商業區域ハ東南ハ六十支里桓仁縣ノ四平街ニ至リ南ハ四十支里ノ將軍石地方ニ及ヒ西ハ四十支里張家堡子ヨリ大堡、田師傅溝一帶ニ及ヒ北ハ三十五支里馬家城子地方ニ至リ東北ハ五十支里葦子峪地方ニ至ル一帶ニ及フ

商業取引ハ陰曆十一月、十二月三箇月ヲ最盛トシ陰曆三月、四月頃太子河ノ解氷前後之ニ亞ク夏季六、七月頃ハ霖雨ノ節ニシテ交通殆ト杜絶シ從テ商業最も閑靜ナル時期トナス、輸出商品ハ木材、燒酒、大豆ノ三種ヲ最トシ木材ハ太子河ニ依リテ流筏シ本溪湖地方ニ輸出シ燒酒ハ大部分冬季大車ニ依リテ安東方面ニ輸出シ大豆ハ解氷後水路ニ依リ遼陽、本溪湖ニ赴クモノ七割ヲ占メ殘部ハ冬季大車ニ依リ安東縣ニ輸出ス其他麻ハ大部分奉天、遼陽地方ニ輸出シ葉煙草ハ安東地方ニ輸出シ藥材及菌類ハ奉天地方ニ輸出ス、輸入雜貨ハ安東ヨリ草河口、養馬集ヲ經由スルモノ七割ヲ占メ其他ハ駱背ニ依リ



本溪湖遼陽地方ヨリ輸入ス其内布疋類大部ヲ占ム尙後項商品ノ部ニ於テ詳述スヘシ  
 要スルニ此地ノ商業關係ハ安東ト最モ密接ニ次ハ遼陽ニシテ奉天之ニ亞ク本溪湖トハ交通不便ノ  
 タメ未タ商業關係密運スルニ至ラスシテ奉天遼陽トノ往復貨物カ水運ノ關係上之ヲ經由シ或ハ撫  
 順本溪湖ノ炭坑用坑木ヲ該地ニ陸揚スルアルノミ  
 城廠ハ山間溪谷中ノ盆地ニ介在スル一小市場ニシテ單ニ附近ノ需要供給ニ應スルノミナルカ故ニ  
 商店ノ取引高多カラス從テ一業ヲ固執スルコト困難ニシテ市中ノ雜貨商ハ概ネ農產物木材其他ノ  
 特產物ヲ總テ兼辦スルモノ多シサレハ他ノ市場ニ於テ見ル如キ店棧等仲買問屋ノ設備ナク從テ用  
 錢(仲買手)棧用(囤用)等ノ規矩習慣ヲ生スルニ至ラス  
 大口ノ商業取引ハ多ク現金ヲ以テセラルルモ附近農民トノ賣買ハ賒賣即チ掛賣トスルモノ多ク商  
 店備附ノ流水賬ニ華客ノ姓名ヲ記シテ口座ヲ設ケ賣渡シタル品目ヲ記載シ隨時物品或ハ現金ヲ以  
 テ相差引キ年末ニ至リ金錢穀物其他ノ貨物ヲ以テ相抵清算スル習慣盛ニ行ハル口座ヲ有スル農民  
 間ノ振替勘定即チ過賬(通項フ)モ亦行ハル

(ロ)商店  
 大小ノ商店四十五戸ノ内重ナルモノ十五戸ヲ左ニ表示ス

商 舖 名	營 業 別	所 在 地	資 本 額	開 設 年 月	支 配 人
福 興 魁	燒 鍋	山 西 太 谷	二五〇、〇〇〇	道 光 五 年	楊偉杰 (山谷太谷)
公 悅 成	雜 貨、油 房	山 東	二〇〇、〇〇〇	光 緒 十 年 頃	盧鳴春 (山東掖縣)
億 合 成	雜 貨	城 東	一〇〇、〇〇〇	光 緒 三 十 年 頃	張肇和 (山東掖縣)

商 舖 名	營 業 別	所 在 地	資 本 額	開 設 年 月	支 配 人
四 興 貞	雜 貨、油 房、木 廠	直 隸 永 平	一三〇、〇〇〇	咸 豐 年 間	張鵬翥 (興 寧)
永 隆 祥	雜 貨、磨 房	福 興 魁 ノ 支 店	五〇、〇〇〇	光 緒 二 十 七 年	吳德晟 (城 廠)
福 裕 長	雜 貨、磨 房	西 溝	八〇、〇〇〇	道 光 年 間	賈自發 (直隸昌黎)
會 來 祥	雜 貨、木 廠	直 隸	五〇、〇〇〇	光 緒 二 十 年 頃	魏連展 (城 廠)
興 記 號	雜 貨	直 隸	五〇、〇〇〇	同 治 年 間	孫寶立 (同 )
豫 豐 泰	雜 貨	城 廠	三〇、〇〇〇	光 緒 二 十 年 頃	張鳳枝 (同 )
謙 新 泰	雜 貨	直 隸	三〇、〇〇〇	民 國 二 年	孟廣增 (同 )
裕 生 茂	雜 貨	城 廠	二五、〇〇〇	未 詳	紀永清 (同 )
興 盛 成	雜 貨	直 隸	二五、〇〇〇	同	未 詳
善 誠 福	雜 貨	山 西	三五、〇〇〇	光 緒 十 五 年 頃	同
義 興 隆	雜 貨	同	三〇、〇〇〇	未 詳	同

備 考

一、小洋一元ハ十吊文トス

一、資本ト稱スルハ最初ノ投資額ニシテ資産ヲ指スモノニ非ス

右ノ表ヲ以テ見ルニ市中ノ商店中資本額一萬元以上ノモノ四戸ニシテ又開設以來七十一年以上ヲ經  
 過シタルモノナシ

(ハ)商業機關

商業機關トシテ本溪縣商務分會アリ市中ノ大小商舖四十五戸皆之ニ加入ス商董八名アリ左ノ八商  
 支配人ヨリ成ル

福興魁 公悅成 億合成 四合興 福興貞

右ノ八商董ハ順番ニ一箇月毎ニ交代シテ會務ヲ取扱ヒ又商務分會ハ特別ニ事務所ヲ設ケスレテ該當番商董ノ商舖ヲ以テ之ニ充ツ從テ書記雜役ノ必要モナク且役員ハ名譽職ニシテ無報酬ナルヲ以テ會費徵收ノ必要モナク單ニ巡警學堂ノ經費ヲ釀出スルノミ、各商舖ノ釀出額ハ之ヲ等級ニ分タスシテ取引高ノ多寡ニ依リ適宜之ヲ振り當テ毎月十元ヨリ少キハ二角ニ至ル

二、重要商品

(1) 農産物

城廠ニ來集スル農産物ハ黃豆ヲ主トシ高粱之ニ亞キ、小米(脱穀セ)、大麥、小麥、包米之ニ亞キ、穀子(脱穀セ)ハ少シ、本年ハ未タ出廻期ニ達セサルヲ以テ昨年ヨリ今年初ニ至ル來集額竝ニ輸出額ヲ示セハ左ノ如シ

高 粱	一萬五千石	輸 出	二千石	遼陽へ六割、本溪湖へ四割
元 豆 <small>(大豆)</small>	二萬石	輸 出	一萬七千石	本溪湖へ七千石、安東へ九千石
小 米	二千石	輸 出	八百石	本溪湖、遼陽相半ハス
大 麥	一千石			
小 麥	五百石			
包 米	四百石	輸 出	二百石	本溪湖、遼陽相半ハス

小 豆

六百石

高粱ハ附近及田師溝溝ヨリ産シ一部ハ四平街、葦子嶺、平頂山(又平定山トモ)、地方ヨリ來集ス、主トシテ市内ノ食料ニ供セラレ、燒酒ノ原料トシテ田師溝、永隆泉ニ於テ三千石、城廠、福興魁ニ於テ三千六百石ヲ消費シ、殘部ノ二千石ヲ輸出ス、輸出先ハ遼陽六割、本溪湖四割ニシテ運送ハ一半ハ冬季大車ニ依リ一半ハ解氷後太子河ノ水運ニ依ル、高粱一斗ハ三十三斤ニ當ル

元豆(大豆)ハ附近及田師溝、平頂山、四平街地方ヨリ來集ス、葦子嶺ノ元豆ハ概ネ直接千金寨(葦子嶺支里)ニ向ヒテ輸出スト云フ、來市高二萬石、中市内油房三戸ニ於テ約二千石ヲ消費シ、豆腐製造及飼牛料其他ノ食料トシテ約一千石ヲ消費シ、殘部ノ一萬七千石ハ例年遼陽ニ輸出スルモノ、五割安東ニ輸出スルモノ、三割本溪湖ニ輸出スルモノ、二割ヲ占ムルヲ常トスレトモ、今年春遼陽小寺洋行カ直接購入シテ本溪湖ヲ經由セシモノ約四千石、本溪湖廣泰盛、張碗舖等カ買付セシモノ約三千石、即チ約七千石ノ輸出ヲ見タルカ故ニ本年ハ前表ノ如キ割合ヲ示スニ至レリ、其輸出方法ハ遼陽、本溪湖へハ多ク太子河ノ水運ニ依リ、安東へハ冬季大車ニ依リ直接運送ス、元豆一斗ノ斤量ハ城廠秤ニテ三十二斤トス

穀子及包米ハ大部分附近ヨリ産ス、穀子ハ多ク脱穀シ小米トナリテ來市ス、大部ハ市内ノ食料ニ供セラレ、尙ホ小米八百石、包米二百石ヲ本溪湖、遼陽地方ニ輸出ス、小米一斗ノ斤量ハ三十七斤ナリ、大麥ハ平頂山地方ヨリ輸入シ主トシテ燒鍋ノ麩製造用ニ供セラレ、小豆ハ附近ヨリ産シ八戸ノ粉房(豆業麩製造所)及燒鍋麩製造用ニ供セラレ、小麥ハ主トシテ新兵堡(京)地方ヨリ輸入セラレ、六戸ノ磨房(製粉所)ニ於テ製粉シ地方ノ食料ニ供セラレ共ニ輸出力ナシ

城廠市中ノ雜貨舖ハ概ネ穀物ヲ取扱ヒ穀物ヲ買入レ輸出ヲ營ム外市民ヘノ小賣ヲモ兼業ス、雜穀ノ出廻ハ陰曆十月十一月十二月ノ三箇月ニ最モ多ク其賣出方法ニ農家自身市中ニ賣出スモノト批貨(取引物)トノ二種アリ前者ハ最モ普通ニ行ハレ就中商舖ノ掛金ニ對スル補償トスルモノ最モ多ク現物ヲ賣買スルモノ之ニ亞ク批貨ハ代價全部先渡ト一部先渡ト全部後拂トノ三種アレトモ共ニ多カラス但シ更ニ輸出スル場合ニ他地ノ商人トノ取引ハ概ネ現金授受トナス、雜貨舖ノ買收シタル雜穀ハ一時自家ノ院内ニ囤積シ其輸出スルモノノ内大車ニ依ルモノハ解氷前直ニ之ヲ發送シ水運ニ依ルモノハ陰曆三四月解氷ヲ俟チテ陸續發送スルカ故ニ仲買人ノ手数料、棧用即チ倉敷料等ノ習慣ヲ生スルニ至ラス

雜穀ノ輸出ハ車運ト水運トノ二法ニ依リ駛運ニ依ルモノ稀ナリ、雜穀ハ總テ之ヲ麻袋ニ封シ每袋ノ容量ヲ五斗トス、大車ノ積載量、冬季安東縣(三百里)ニ至ルモノハ一千八百斤(六十石内外)本溪湖(支里)遼陽(支里)ニ至ルモノハ二千四百斤ニシテ每袋ノ運賃、冬季安東縣ニ至ル一元五角、本溪湖ニ至ル八角、遼陽ニ至ル一元四角内外、一日ノ行程九十支里内外トス、船ハ五千斤ヲ以テ定量トシ其運賃三四月ノ頃ハ商店ノ需要多キカ故ニ最モ昂貴ニシテ每袋本溪湖ニ至ル一元、遼陽ニ至ル一元二角、五六月以降ハ稍ヤ閑散トナルヲ以テ雨期ヲ除ク外安價トナリ每袋本溪湖ニ至ル六角、遼陽ニ至ル八角内外ナリ(口)農産加工品

農産加工品ノ生産及集散ハ左ノ如シ  
 燒 酒 五十五萬斤 三十萬斤ヲ輸出ス  
 豆 油 六萬斤 地方ニテ消費

豆	餅 大	一萬枚(五十斤)	全部輸出
	小	四千枚(二十斤)	地方ニテ消費
粉	條	四萬斤	右同
土	麵	五萬斤	右同
洋	麵	八萬斤(二千)	全部輸入、地方ニテ消費

左ニ各項ニ就キ略ホ解説ヲ加フヘシ  
 燒酒 燒酒製造所即チ燒鍋ハ城廠市街ニ福興魁、北二十支里田師溝口ニ永隆泉ノ二戸アリ、兩者共規模軒輊ナク前者ハ例年三十萬斤餘、後者ハ二十五萬斤餘ヲ製出シ各十五萬斤内外ヲ輸出ス、福興魁ハ道光五年ノ開設ニ係リ現ニ二班ヲ有ス、每班ノ人員六人(打同夫一人、燒火的一人、搬案子一人)ニシテ原料ハ高粱ヲ用ヒ二班ニテ一日高粱九石六斗、麴三石二斗(此重量六百四十斤)ヲ用ヒ燒酒約八百斤ヲ製出ス、燃料ハ田師溝炭ヲ用ヒ(每千斤一元八角)毎日約一千餘斤ヲ消費ス、燒酒ノ一斤ハ十二兩ニシテ其二斤即チ二十四兩ヲ以テ一提トス、一提ハ普通秤(十六兩)ノ一斤半ニ當ル、一提ノ卸賣價格一角六分、小賣價格一角八分ナリ

燒酒ノ販路ハ主トシテ鳳凰城、安東縣ニシテ賽馬集、草河口、平頂山、四平街、葦子崙等ニモ多少ノ輸出アレトモ總額ノ五分ノ一内外ナリ  
 賣出方法ハ店員ヲ派シ大車ヲ雇ヒテ直接搬運シ鳳凰城、安東縣店棧ノ手ヲ經テ賣却ス、賒賣(掛)モ間々アレトモ多クハ現金引替ノ法ニ依ル、運送ハ之ヲ糞ニ入レ每糞二百斤、大車ニテ草河口マテ輸出シ其ヨリ汽車ノ便ニ依ル、每車ノ積載量一千八百斤乃至二千斤、運賃草河口迄八九角、冬季最モ安價ナル時

ニ於テ七角内外ナリ、時トシテ船運或ハ駄運ニ依ルコトアレトモ甚タ稀ナリ、船脚(船運)每百斤本溪湖ニ至ル三四角、駄脚(運貨)草河口ニ至ル每百斤八角乃至一元ナリ、燒鍋ノ公課ハ本溪縣國稅徵收局ニ上納シ、一班ニ付一日小洋八元トシ、一年ヲ四期ニ分チテ分納ス、福興魁ニテハ一期一千五百元餘ヲ納稅シ、外ニ稅票一枚ニ付手數料トシテ銅元四子ヲ要ストイフ(酒稅則トシテ一班一日大洋六元四角トス)

豆油及豆餅 城廠市街ニ公悅成四合興雙興福(破產セル燒鍋)ノ三油房アリ、皆舊式搾油法ニ依リ規模亦小ニシテ各一班ヲ有スルニ過キヌ、一班ノ人員三人(看碾子的一人、燒火的)、一日原料元豆三石ヲ搾油シ、每一石ノ搾油高三十斤、豆餅五十二斤物(日本斤四十六斤)ナラハ六枚、二十六斤物ナラハ十二枚ヲ得ヘシ、燃料ハ田師傳溝炭ヲ用ヒ、一日四十五斤ヲ要シ、搾油ニ用フル油包草ハ附近ヨリ産ス、全市三戸ノ消費スル原料元豆約二千石ニシテ、豆油六萬斤、豆餅大一萬枚、小四千枚ヲ製出ス、其内豆油ハ地方ノ食料ニ供セラレ、小豆餅ハ地方ノ家畜飼料ニ供セラレ、大豆餅ハ全部遼陽及本溪湖ニ輸出セララル、本年小寺洋行ニ於テ四千枚ヲ購買セシト云フ、輸送ハ船運ニ依ルモノ七割ヲ占メ、殘部ハ冬季大車ニ依ル、運賃豆餅一枚ニ付遼陽ニ至ル車運五角、船運四角ニシテ、本溪湖ニ至ル車運三角乃至三角五分、船運二角五分乃至三角、市街ヨリ太子河岸マテ一枚一分、安東縣マテ車運五角、草家口マテ三角内外ナリ、公課ハ輸出スルモノニ限り、出產貨稅トシテ價格百元ニ對シ一元五角ヲ徵ス、調査當時ノ價格豆油卸賣每斤一角小賣一角五分、大豆餅一枚一元一角、小豆餅一枚五角五分ナリ、麥粉 麥粉ハ白麵ト稱ス、土麵及洋麵ノ二種アリ、土麵ハ一ニ本地麵トモ稱シ、地方ニ於ケル小麥ヲ原料トシテ製造シタル麥粉ナリ、其色黒ケレトモ味佳ニ價格亦低廉ナリ、市内及四郊ニ磨房六戸アリ、例

年約五萬斤ヲ製出シ、其原料ハ全部興京地方ヨリ輸入ス、洋麵ハ即チメリケン粉ニシテ日本物、米國物等種類、價格共ニ一ナラス、主トシテ草家口經由安東縣ヨリ輸入シ、間々本溪湖經由奉天遼陽地方ヨリ輸入スルモノアレトモ、其額少シ、每袋四十斤、賣價四元内外、草家口ヨリノ運賃一袋ニ付冬季車運三角内外ナリ、粉條 即チ豆素麵ナリ、通例吉豆ヲ原料トスレトモ、此地方ニ在リテハ小豆ヲ以テ主要原料トシ、少許ノ吉豆ヲ混ス、市内竝ニ四郊ニ粉房八戸アリ、毎年約四萬斤ヲ製出シ、全部地方ニ於テ消費セララル

(ハ) 木材

木材ニ關シテハ既ニ第三章第四節林業ノ部ニ於テ述ヘタリ、本項ニハ單ニ城廠ニ於ケル木材ノ集散狀況ニ就テノミ略述スヘシ

木材ノ產地ハ楊鬍子溝、永溝子ヲ最トス、尙其他ノ產地ヲ擧クレハ左ノ如シ

楊鬍子溝 <small>(東四十支里)</small>	永溝子 <small>(東四十支里)</small>	紅臉溝	黃波羅 <small>(東南四十支里)</small>	來河峪西溝
小同溝	大同溝	樺牛溝 <small>(東二十支里)</small>	四方嶺 <small>(東二十支里)</small>	南營房 <small>(東四十支里)</small>
瓜票子 <small>(東四十支里)</small>	永甸溝 <small>(東二十支里)</small>	杉松河 <small>(西三十支里)</small>		

種類ハ柞木、榆木ノ二種最モ多ク、其他樅木、樺木、色木、黃波羅等アレトモ、松柏科ノ木材ハ桓仁、通化方面ニ至ラサレハ殆ト之ヲ見ストイフ、一般ニ良材ナク、粗造家屋或ハ坑木用トセラル、ニ過キヌ直徑一尺ニ及フモノ甚タ稀ニシテ多クハ四五寸乃至五六寸長サ一丈二三尺内外ヲ普通トス、今木材ノ種類ニ依リ其長短價格竝ニ例年ノ出產高ヲ示セハ左ノ如シ

名	稱	長	サ	直	徑	河岸渡シ每本ノ價格	一年ノ出產額
大	標子	二丈四尺乃至二丈六尺		一尺一寸乃至一尺四寸	一元乃至一元二角	五百本	
唐	棒子	一丈六尺		一尺	五六角	一千本	
大	棒子	一丈三尺五寸		七寸乃至九寸	三四角	五萬本	
二	棒子	一丈二尺		六寸乃至八寸	二角五分乃至三角	三萬本	
小	棒子	一丈六尺		二三寸	四五分	十萬本	
密	木(坑木)	八尺		二三寸乃至六寸等シカラ	五分乃至二角五分	六萬本	

即チ例年ノ出產額二十四萬一千五百本内外ナリ然レトモ本年ハ戊辰洋行ニ於テ店員ヲ派駐セシメ撫順炭坑用坑木ヲ買收シ又本溪湖河沿ニ於テ煤鐵公司用坑木ヲ買收スルアリ既ニ五萬餘本(八尺)ノ輸出ヲ見タルカ故ニ尙ホ需要ニ伴フテ續々出產ヲ増加スルニ至ルヘシト思ハル

城廠市街ニ於テハ特ニ木材ノミヲ扱フ專業者ナク四合興會來祥公悅成等ニ於テ兼辦シ其他三四ノ雜貨舖亦之ヲ取扱フ伐木從事者モ亦專業者ナク殆ト農民ノ副業ニ係ル其法數人乃至二三十人ヲ一組トシ其把頭(組合)ト商舖トノ間ニ春夏ノ頃木材ノ伐出ヲ約シ全價格ノ五分ノ一乃至五分ノ二ヲ先拂シ冬季伐採シテ牛馬ニ依リ河岸マテ運搬シ置キ春季解氷ノ頃商舖ヨリ派遣セル店員トノ間ニ授受ヲ了シ價格全部ヲ支拂フ商店ハ河沿ニ於テ別ニ人ヲ雇ヒテ排木(筏)ニ編シ大約大棒子ナラハ六七本小棒子ナラハ十餘本ヲ一列ニ結合ス之ヲ一條ト稱ス更ニ五條乃至六條ヲ連結シテ一排トナシ先ツ城廠ノ河沿マテ流筏ス河沿ニ於テ編筏ニ要スル日數ハ三人ニテ三日行程トス其編成ヲ待チ一人ノ打排的(筏手トモ稱ス)ヲ以テ城廠ニ至ル楊鬪子溝ヨリ水路約二百支里(陸路ナラフ)五日乃至十日ヲ要

ス此運賃一排木ニ付四元五角内外ナリ城廠ニ至リ二排ヲ橫結シテ一大排ヲ造リ初メテ下流各地ニ輸送ス此工程一人一日工ニシテ打排的ハ一人トス城廠ヨリ本溪湖ニ至ル三日乃至五日此運賃一排十元乃至十二元ナリ(第三章參照)

木材ノ運出地ハ從來遼陽四分ノ三本溪湖四分ノ一ナリシカ本年ハ坑木其他ノ特別買占アリシ結果兩地ニ輸出セシ數量略同一トナレリ

右ノ外松棒子(徑三寸)松方棒子(徑五寸乃至九寸)各五百本ノ附帶產物アリ皆特別ノ筏ト爲ナス普通ノ排木ニ混結シテ重ニ遼陽地方ニ輸出ス

又左ノ諸品ハ太子河上流並ニ賽馬集ノ東方桓仁縣界ニ產スルモノナレトモ地形運搬ノ關係上城廠ヲ經由セスシテ直接大車ニテ草河口ニ運搬シ更ニ鐵道ニ依リ安東鳳凰城遼奉地方ニ分銷セラル參考ノタメ附記ス

名	稱	原料	產地	輸出車輛數	每車積載量	每箇價格
車	頭(車心)	梓、榆、色	分水嶺一帶	四〇〇	五十本	三角五分
車	腕子(車軸)	梓、榆、色	同	四〇〇	百本乃至百五十本	一角二分乃至四角
扁	擔(天秤棒)	梓、榆、色、樺	遼瀋一帶	三〇〇	百八十本	一角乃至一角五分
木	瓢(木杓子)	椴	八拉甸子	三〇	一千箇	四分
羅	圈(曲物材料)	同	同	四〇	三十套(套十枚)	
木	楸(木製圓匙)	同	同	二〇	五百箇	五角

因ニ云フ分水嶺ヨリ草河口ニ至ル百三十支里冬季大車運賃每輛十元内外ナリ

(二) 特産物

特産物トシテ藥材、煙、麻、菌類、皮張等アリ、其出產數量合計左ノ如シ

細藥材	三萬一千斤	粗藥材	十三萬四千斤	黃菸	四萬斤
線麻	四萬斤	菌類	五萬七千斤	皮類	四千三百枚
獸毛	三萬五千斤	木炭	五萬斤	蜂蜜	一萬斤

今右各項ニ就キ簡單ナル解説ヲ加フヘシ

藥材 東南一帶森林地帯ヨリ藥材ヲ產スレトモ一般ニ其質下等ニシテ粗藥材多ク產額モ年々減少シツツアリ種類ハ黃柏皮、木賊、木通、細辛、黃芩ヲ主トシ全額ノ八割ヲ占ム、人參ハ多少之ヲ產スレトモ採參ニ從事スル放山の少ク例年四五組ニ過キスシテ產額三百兩内外ナリ其質モ亦劣等ニシテ二皮葉ノモノヲ普通トシ四皮葉以上ノモノ甚タ稀ナリ(第三章參照)其價格、重サ三錢物二十元、四錢物三十元、一兩物一百元内外ナリ、人參ハ重ニ直接採集主ヨリ奉天ニ輸送シ山貨店ノ手ヲ經テ賣却セラル、人參ヲ除キ其他藥材ノ產出數量並ニ價格ヲ示セハ左ノ如シ

名	稱	出產數量	採集時季(陰曆)	單位	價格
細藥材	黃、細、黃、五、黨、蒼	一〇〇〇〇斤	五月	一斤	二角五分
	味	一〇〇〇〇	七八月	同	六分乃至八分
	辛	五〇〇〇	同	同	六、七分
	子	三〇〇〇	六月	同	一角七分乃至二角
	參	二〇〇〇	春季	同	三四分
	荒	二〇〇〇	春季	同	三四分

名	稱	出產數量	採集時季(陰曆)	單位	價格
防風	黃、木、木、黃、桔、大、升、葛、車	一、〇〇〇	五、六、七月	一斤	六七分
	柏	八〇、〇〇〇	六月	百斤	一元四角乃至一元六角
	通	二〇、〇〇〇	春季	同	一元乃至一元五角
	賊	二〇、〇〇〇	同	同	一元
	芥	六、〇〇〇	六、七月	同	四元五角
	枝	五、〇〇〇	春季	同	六元乃至八元
	麻	二、〇〇〇	八月	同	五元
	根	一、〇〇〇	五月	同	三元五角
	前	多カラス	春季	同	同
	子	右同	五、六月	同	同

藥材採集ハ農民ノ片手間ニスルモノ多ク近時森林ノ減少ニツレ產額頓ニ減少セリ皆奉天地方ヨリ來ル老客ノ手ニ依リテ買收セラレ特ニ自運自賣スル者ナシ而モ老客ト先物約定ニ依ル場合多キ結果產額モ一定セス殊ニ本年ノ如キハ買收約定ニ來ル老客ノ少カリシタメ其產額大ニ減少セリト云フ

黃菸(葉煙) 東方邊外四平街一帶並ニ附近ヨリ產ス例年ノ來集高四萬斤、片菸及柳子煙ノ二種アリ柳子煙八割ヲ占ム、市中ノ各雜貨舖皆之ヲ取扱ヒ農家ノ運來スルモノ一捆五十斤乃至一百斤一様ナラサルヲ更ニ九十斤内外ニ細リ替ヘ地方消費ノ分ヲ除キ約三萬斤ヲ大車ニ依リ興京、遼陽、鳳凰、安東地方ニ分銷ス、安東ニ至ル運賃冬季百斤一元五六角、城版ニ於ケル價格每斤柳子煙七分乃至一角、片菸一角五分ナリ

線麻 葦子峪平頂山地方ヨリ産ス、亦市中ノ雜貨舖之ヲ取扱ヒ例年ノ來集高約六百捆、每捆五十斤乃至一百斤、合計約四萬斤アリ、皆農家ノ自運ニ係リ商舖ハ更ニ九十斤内外ニ荷造替へ各地ニ輸出ス、輸出先ハ奉天四割、遼陽四割、鳳凰城二割ヲ占ム、其運賃每百斤奉天ニ至ル一元二角、遼陽ニ至ル一元、鳳凰城ニ至ル一元内外ナリ、皆水路ニ依ルモノナシ、城廠ニ於ケル市價上每斤二角、中每斤一角四分乃至一角六分、下每斤一角ナリ

菌類 東方邊外四平街ヨリ平頂山ニ至ル一帶ニ産シ九月以降ニ出廻アリ農家ノ副業トシテ採集セラル、木耳ハ柞樹ニ産シ黃蘑ハ椴樹ニ産シ、椴樹ハ椴樹ニ産ス、皆春季樹木ヲ砍リ倒シ秋季ニ至リテ發生スル菌類ヲ採集シ三年目迄之ヲ得ヘク三年ヲ過キタル倒木ニ發生スルモノハ食料ニ適セスト云フ、其來集額左ノ如シ

木	耳 <small>(ちき)</small>	六千斤	一斤	八角乃至九角
黃	蘑 <small>(東原又ハ云フ)</small>	五萬斤	同	一角二三分
檢	蘑	一千斤	同	八角乃至一元
木耳ハ奉天、遼陽ニ輸出シ、黃蘑、椴蘑ハ安東縣ニ輸出ス、皆黃菸線麻ニ附隨シテ大車ニ依リ輸送セラル				
皮毛類	野獸皮ハ農民ノ副業トシテ狩獵ノ結果得ル所ニシテ家羊皮 <small>(ヤギ)</small> 、猪毛 <small>(毛豚)</small> ハ農家ニ於テ飼牧スル山羊、豚ヨリ之ヲ得、昨年ノ來集額左ノ如シ			
狐	狸 <small>(皮狐)</small>	五百枚	一枚	七元乃至十三元
灰	鼠 <small>(皮梁鼠)</small>	五百枚	同	二角五分乃至三角
元	頁 <small>(皮黃鼠)</small>	八百枚	同	一元内外

罐	子 <small>(皮あなぐ)</small>	二百枚	同	五六角
貉	子 <small>(皮狸)</small>	二百枚	同	四元乃至五元
家	羊 <small>(皮山羊)</small>	二百五十枚	一枚	五角内外
山	羊 <small>(毛豚)</small>	五千斤	一斤	四角乃至五角
猪	毛 <small>(毛豚)</small>	三萬斤	同	七八分

以上ハ地方ニ於テ消費セラルルモノ少ク多クハ冬季大車ニ依リ奉天地方ニ輸出セラル、每百斤ノ運賃冬季一元乃至一元三四角ナリ

以上ノ外木炭ハ東方一帶三四十支里ノ山中ニ産シ來集額五萬斤ハ全部市内ニテ消費セラレ、蜂蜜一萬斤ハ四郊ヨリ産シ主トシテ奉天、遼陽地方ニ輸出セラル

(ホ)輸入雜貨

雜貨ハ原ト遼陽ヨリ輸入セシモノ大部ヲ占メシカ近時安奉線開通ノ結果安東縣ヨリ草河口ヲ經由スルモノ七割ヲ占メ遼陽ヨリスルモノハ二割、殘部ノ一割ハ本溪湖ヨリ輸入スルニ至リ、其本溪湖ヨリスルモノト雖同地ノ雜貨舖ヨリ購入スルコト少ク奉天ヨリ輸入スルモノノ道ヲ本溪湖ニ藉ルモノ多シトス、サレハ雜貨ハ本溪湖トノ關係極メテ少ク安東縣トノ關係最モ密接ニシテ重ナル店舖ハ概ネ店員ヲ常ニ安東ニ滞留セシメ同地ノ商情ヲ調査セシメツツアリ、是レ交通路ノ關係上本溪湖ニハ冬季凍結セル太子河上ヲ通行シ得ルニ止マレトモ草河口城廠間ハ甚タシキ降雨ナキ限リ四時大車ヲ通シ道路亦前者ニ比シ險惡ナラサルト、遼陽方面ヨリスルモ安東方面ヨリスルモ運賃其他ノ關

係上結局價格ニ於テ大差ナキトニ因ルモノノ如シ  
今大正三年度ニ於ケル輸入雜貨ノ數量ニ就キ四合興會來祥二舖支配人ノ見込數ヲ綜合スレハ左ノ  
如シ

名	稱	輸入數量	内	容	價	格	備	考
大	尺布	五〇〇件	每件	四〇疋	二元一角乃至二元七角		大部安東ヨリ一部奉天、遼陽ヨリ輸入	
中	尺布	一、〇〇〇件	同	四〇疋	一元			
花	旗布	二〇〇件	同	二〇疋	六元二角同九元			
清	布	一〇〇件	同	二〇疋	八元二角同九元			
套	布	五〇〇件	同	五二疋	一元六角同一元八角			
坎	布	一〇〇件	同	一〇一疋	六角五分同七角五分			
喬	布	一〇〇件	同	三〇疋	六元同七元			
羽	布	一、〇〇〇件	同	一四四疋	四角五分			
其	類	八〇〇板	同	同	八元			
洋	類	五〇〇疋	同	同	八元以上不等			
白	糖	二、〇〇〇箱	每箱	二箇	五元二角		遼陽、本溪湖ヨリ輸入	
紅	糖	一、〇〇〇包	每包	一五〇斤	二元			
水	糖	一、二〇〇包	同	一五〇斤	一角四分			
洋	糖	一〇〇包	同	八〇斤	二角六分			
洋	煙	二〇〇箱	每箱	五〇、〇〇〇本	同		本溪湖ヨリ輸入	
洋	火	三〇〇箱	同	二四〇包	三十元		安東、遼陽ヨリ輸入	

大	茶	棉	洋	洋	古	紙	面	乾	牛	報	線	蘆
鹽	葉	花	蠟	鐵	城	皮	紙	袋	口	蘆	蘆	蘆
三、〇〇〇、〇〇〇斤	八、〇〇〇斤	四、〇〇〇斤	五〇〇件	一、〇〇〇箱	一〇〇、〇〇〇斤	三、〇〇〇元	五〇、〇〇〇斤	二〇、〇〇〇斤	一、〇〇〇枚	五〇、〇〇〇斤	一〇、〇〇〇箇	五〇〇〇枚
			每件	每箱	每箱	每箱	每箱	每箱	每箱	每百斤	每箇	一枚
			四〇捆(三二〇斤)	二五包(每包六本)						元	四角五分	一元五角
本溪湖ヨリ輸入	安東ヨリ輸入	遼陽、安東、營口ヨリ輸入	安東ヨリ輸入	奉天、安東ヨリ輸入	奉天、遼陽ヨリ輸入	奉天、遼陽ヨリ輸入	奉天、遼陽ヨリ輸入	奉天、遼陽ヨリ輸入	奉天、遼陽ヨリ輸入	奉天ヨリ輸入	安東ヨリ輸入	同

右ノ内茶葉ハ全部安東縣ヨリ草河口ヲ經由シテ輸入シ其種類主トシテ香片、蘭茶、福建紅茶ノ三種ニシテ就中蘭茶ハ割ヲ占ム  
大鹽(鹽)ハ年ノ豊凶ニ依リ多寡一ナラス豊年ニハ銷路少ク凶年ニハ多シ其理由ハ豊年ニ於テハ穀物豊富ナルヲ以テ穀食多キモ凶年ニハ菜食多キ結果漬物其他ニ需要スル額著ルシク増加スルカ爲ナリト云フ、食鹽ハ先ツ鹽棧ニ於テ包銷(委託)シ更ニ鹽店ニ於テ分銷ス、鹽棧或ハ鹽店ハ概ネ他ノ商舖ノ兼辦ニ係リ鹽棧ハ棧帖ト稱シテ一年四十八元、鹽店ハ店帖ト稱シテ一年二十四元ノ納稅ヲ要ス、城廠ニ於テハ本溪湖ノ鹽棧ヨリ分銷シ公悅成、興記號德聚號ノ三戸ニ於テ鹽店ヲ兼ヌルト云フ  
洋油(石)ハ美孚印ト亞細亞印トノ二種アリ就中美孚印三分ノ二ヲ占ム主トシテ水運或ハ駁運ニ依リ



テ遼陽ヨリ輸入シ時トシテ本溪湖ヨリモ輸入ス  
古鐵(鐵)ハ一部奉天遼陽ヨリ輸入スルモ(本溪湖)地方需要ノ大部分ハ田師傳溝及賽馬集ヨリ輸入ス、  
田師傳溝全家堡子ニ鐵爐一戸アリ附近ノ鐵鑛ヲ利用シ一年生鐵約十萬斤ヲ製ス賽馬集ニハ永隆長、  
東聚成ノ二鐵爐アリ合計約八十萬斤ヲ製シ附近ノ需要ニ應スル外奉天地方ニ輸出スト云フ

#### 四、金融及度量衡

##### (イ) 金融概況

錢舖當舖其他金融機關ト稱スヘキモノナシ、市中ノ金融一般ニ逼迫シテ順潮ヲ缺キ硬貨稀ニシテ商  
店ノ發行スル私帖充滿シ相當ノ商舖ト雖僅々十元ノ硬貨ヲ交換スルニ支障ヲ感スルコト往々ナリ、  
物價ノ建ハ原ト吊文ヲ以テシ十吊ヲ以テ一元ト爲セシカ目下ハ元建ノミトナレリ、爲替業ヲ營ム者  
ナク又鑛局ノ如キ貴重品輸送ノ委託ニ應スル者モナシ、市中ノ商店ハ概ネ奉天官銀號券其他之ニ準  
スル銀券ニ換ヘ自身現金ヲ携帶シ、或ハ貨物輸出ノ際其賣價ヲ以テ雜貨ニ換ヘテ輸入シ、或ハ本溪湖  
及草河口マテ銀券ヲ携帶シ該地日本郵便局ノ爲替ニ委託スルカ又ハ該地停車場ニ託シ貴重品ノ鐵  
道便トナス等ノ方法ニ依ル、市中人民間ノ貸借金利ハ大抵月利一分五厘以上二分五厘ニシテ商店間  
ノ貸借ハ月利一分乃至一分四五厘トス

##### (ロ) 通貨

硬貨トシテ小洋銅元ノ二種アレトモ市中ノ流通額甚タ少ク硬貨ヲ得ルコト容易ナラス制錢ノ如キ  
ハ殆ト跡ヲ絶チ銀塊ハ儀式上ノ贈答ニ用セラルレトモ通貨ト稱スル程ニ至ラス紙幣ハ奉天官銀號

券黑龍江官銀分號券交通銀行券、中國銀行券、奉天興業銀行券等ハ現金トシテ携帶輸送ニ便ナルタメ  
最モ歡迎セラレ、本溪湖商務會銀票亦多少ノ流通ヲ見ルモ奉天農業銀行券ハ全ク通用セス、市場ニ於  
テ最モ多キヲ私帖トシ市中各商店共多少ノ發行高アリ其最モ多キヲ田師傳溝燒鍋永隆泉(發行高)及  
同舖城廠支店永隆祥(發行高)トス、私帖ノ通用範圍ハ城廠附近、田師傳溝、馬家城子地方一帶ニ限ル其他  
飛子ト稱スル短期一覽拂約束手形アレトモ其額多カラズ  
市中物價ハ元建ニシテ何元何角何分ト稱シ其低キモノハ銅元何子ト稱ス、銅元十二子ヲ以テ一角ト  
シ十角ヲ以テ一元トスルコト本溪湖地方ニ同シ而シテ舊來ノ慣習ニ依リ稀ニ一角ヲ市錢一吊一元  
ヲ市錢十吊ト稱スル計算法ヲ用フルコトアリ、吊文ニハ別ニ制錢ニ依ル計算法アリ奉天ト同シク制  
錢一百六十箇ヲ以テ東錢(或ハ奉錢トモ云フ)一吊文トシ一角ハ制錢一百箇トシ東錢ノ六百文ニ當ル、  
然レトモ近時制錢殆ト跡ヲ絶チタルタメ東錢計算法ニ依ル場合稀ナリ

##### (ハ) 度量衡

斗ハ本溪湖ニ比シ稍小ニシテ城廠ノ一石ハ本溪湖ノ九斗八升五合ニ當ルト稱ス、尺度ハ裁尺、木尺及  
布尺ノ三種ヲ用ヒ、裁尺ハ一般ノ布疋ヲ量リ、木尺ハ木匠及量地ニ用ヒ、裁尺ノ九寸ニ相當シ、布尺ハ清  
水布、大尺布、套布等ノ土布ヲ量ルニ用ヒ、裁尺ノ一尺二寸五分ニ當ル、又秤一斤ハ藩平即チ奉天平ノ十  
五兩ニ當ルト稱ス、今左ニ實際ニ於ケル度量衡比較ヲ示ス

一 斗	我一斗四〇五	裁尺一尺	我一尺一五二
木尺一尺(裁尺)	我一尺〇四〇	布尺一尺(裁尺一尺)	我一尺四六一
秤一斤(滿平十)	我一四四夕二		

五、交通

交通狀況ニ關シテハ既ニ第二章中ニ包含セルヲ以テ省略ス

第二節 牛心臺及紅臉溝

一、一般狀況

牛心臺ハ本溪湖輕便鐵道事務所ノ建設ニ係ル太子河牛心臺間(十)輕便鐵道ノ終點ニ當リ太子河ノ左岸、河ヲ距ル約二支里ノ地ニ位シ上牛心臺下牛心臺ノ二村ニ分ル輕便鐵道牛心臺驛ハ即チ上牛心臺ニ在リ、驛ノ東南方一帶ハ勾配緩漫ナル丘陵地ニシテ紅臉溝大南溝、小南溝、王官溝等ノ溪谷東南ニ入ル、北ハ四支里餘ニシテ太子河右岸ニ聳立スル山岳ニ對シ太子河ニ沿フテ幅約四支里、長十二支里ノ平甸耕地ヲナシ地味良好ナリ、太子河ハ其間ヲ東ヨリ西ニ貫通ス  
上牛心臺ハ戶數約六十ノ小村ニシテ小旅店一戸アリ未タ市街ノ體裁ヲナスニ至ラスシテ唯タ驛ノ附近ニ鐵道従事員社宅數棟アルノミ、此地ハ原ヨリ牛心臺村其物ニ價値アルニ非スシテ附近ニ産出スル石炭ノ發送驛トシテ稍價値アルニ過キササルヲ以テ將來トモ炭坑附近ニ市街ヲ形成スルナラハ兎モ角驛附近ノ發送ハ望ミ難カルヘシ  
下牛心臺ハ上牛心臺ノ下流三支里ニ在リ本溪縣巡警分局アレトモ戶數約一百戶、内小舖二戶ヲ有スル小村落ナリ

二、炭坑概況

牛心臺ヨリ更ニ四條ノ輕鐵支線アリテ紅臉溝、小南溝、大南溝、王官溝ノ四炭坑ニ通ス、王官溝ハ目下休山中ナレトモ其他ノ三坑ハ支那人ノ手ニ依リ採掘中ニシテ就中紅臉溝及小南溝ノ産出最モ旺ナリ但シ舊式採掘法ニ依リ小規模ニ隨意亂掘シ溜水ニ遭ヘハ更ニ他ノ地點ヲ採掘スルカ故ニ舊坑廢坑所在ニ難然タリ、採炭ヲ業トスル組合四五團アリ其勞働者ハ附近農民ノ副業ニ係ルモノ多シ、目下採掘中ノモノ大小四十餘坑ニシテ苦力三百餘人アリ、一日ノ産炭額詳ナラサレ共大約二百噸乃至二百五十噸、一年ヲ通シテ七萬五千噸乃至八萬噸ノ産出アル見込ナリ、此内石炭買取販賣ヲ業トスル邦商彩合公司ノ手ニ於テ輕便鐵道ニ依リ本溪湖ニ輸出セラレシモノ大正三年七月ヨリ四年六月ニ至ル一箇年間ニ於テ四萬八千五百〇八噸アリ其他ハ支那人自ラ冬季大車ニ依リ本溪湖奉天地方ニ輸出ス、無煙ニシテ火力甚タ強キモ炭質脆弱ニシテ粉炭甚タ多シ紅臉溝ヨリ王官溝一帶ニ至ル第三層ニハ沙爐鍋ト稱スル天然骸炭ヲ産シ其他副産物トシテ黑礬ト稱スル天然綠礬ヲ産ス、牛心臺炭ノ用途ハ主トシテ支那人ノ爐竈ニ泥土及水ヲ混シ捏ネテ燃料トセラル火力強ク持久力ニ富ムヲ以テ殊ニ奉天地方ニ歡迎セラルト云フ、炭坑ニ關スル詳細狀況ハ別ニ専門家ノ調査アルヘキヲ以テ之ヲ略ス

三、紅臉溝概況

紅臉溝ハ四炭坑中最モ人家多シ牛心臺ヨリ温泉寺ニ通スル路上ニ在リ、牛心臺ヲ東ニ距ル四支里、戶數一百六十戶、小舖六戶アリ内農耕スル者三十六戶ニ過キスシテ其他ハ重ニ採炭業ニ従事シ、邦商彩

合公司事務所亦此地ニ在リテ石炭ノ買収及販賣ニ從事ス、支那人ノ經營スル黑礬製造所二戸アリ一年約二十五萬斤ヲ製出シ半數ハ輕便鐵道ニ依リテ輸出セラル、附近ノ住民ハ盛京鐵黃旗ニ屬スル旗戸ニ係リ地ハ金王府地ニ屬シ旗民ハ王府ノ包衣ニシテ包衣達ハ東南五十支里ノ磨石磨ニ住ス、然レトモ實際旗民ノ自耕スル者少ク民人ニ出押種地セル者多シ、其外旗地紅冊地、餘租地等混在スレトモ其數多カラズ、附近溝中ノ耕地一百日地(六畝地)地味牛心臺ニ比シ稍劣レトモ本溪湖ニ比シ稍優ル、作付ハ高粱四、穀子三、黃豆二、其他一ノ割合ニシテ收穫ハ一日地ニ付高粱三石乃至七石、黃豆三石乃至五石、穀子四石乃至六石、包米四石乃至六石ナリ、毎日地ノ地價ハ上地三百五十元、中地二百五十元、下地一百五十元内外ナリ、租子即チ小作料ハ穀納ノ習慣ニシテ一日地ニ付上地二石、中地一石五斗ヲ普通トシ三色糧(高粱、穀子、黃豆)ヲ以テ納ル

地方ノ物産ハ石炭ノ外農産物トシテ例年小豆三百石餘ヲ本溪湖ニ輸出スレトモ却テ本溪湖ヨリ高粱穀子等ノ輸入ヲ仰キツツアリ主トシテ採炭苦力ノ需要スルモノニ係ル

住民一般ニ窮迫ニシテ全村ヲ通シテ大車三輛、牛三十頭、馬螺合セテ四十頭ヲ有スルニ過キス

(參考)關聚福ノ話 同人ハ彩合公司事務所ノ家主ニシテ金王府ノ包衣ニ係リ鐵黃旗ニ屬ス土地三十六畝(六)ヲ有シ既ニ二百餘年前王府ニ納金シテ土地ヲ領有シタルカ其價格記憶セス、父ノ代ニ至リテ之ヲ三千元ニテ民人ニ出押シ現在耕地ヲ有セス、一家八人ノ内壯男二人アリ家屋賃料ノ外冬季ハ石炭採掘、木炭製造其他ノ勞働ニ從事シ衣食シツツアリ、公課ハ王府ニ御租ト稱シテ毎日地ニ付銀四錢五分ヲ上納シ別ニ毎日地ニ付本溪縣ニ畝捐毎月一角ヲ納ムレトモ押戸ノ負擔ニ係ルト云フ

### 四、牛心臺驛發著貨物

大正三年七月ヨリ同四年六月ニ至ル一箇年間ニ於ケル牛心臺驛取扱貨物數量ヲ左ニ示ス(單位)

木	粉	大	炭	豆	材	薪	礬	高	鐵	金	物	類	石	梁	九〇
															四九
															二五

鐵	器	及	鐵	類	二五	石	米	七	七	一〇	高	麥	綿	布	六
					六五	豆	六	五	二	七	二	二	二	七	六
					四	石	四	六	二	七	二	二	二	七	六

備考

- (一) 本表ハ本溪湖輕便鐵道事務所統計表ヲ基礎トシテ合計數量ヲ舉ケタリ
- (二) 一噸以下ノモノヲ表入セス、噸以下ハ切捨テタリ
- (三) 噸ハ米噸ニ依リ一千五百十二斤トス

### 五、交通

牛心臺ヨリ各地ニ至ル里數左ノ如シ

城 廠 <small>(小市)</small>	一五〇 <small>支里</small>	城 廠 <small>(經石峪)</small>	一四〇 <small>支里</small>	本 溪 湖	三〇 <small>支里</small>
磨 石 峪 <small>(近路)</small>	五〇	小 市	六〇	高 麗 營 子	三五
望 城 崗 子 <small>(本道)</small>	六〇	溫 泉 寺	七〇		
			四〇		

其他ノ狀況ハ第二章第一節ヲ參照スヘシ

### 第三節 高麗營子

#### 一、一般狀況

高麗營子ハ牛心臺ヨリ東北三十五支里本溪湖ヨリ六十五支里ノ地ニ在リ、法臺牛录堡ノ溝谷(河子道)中ニ當リ牛录堡ヨリ十支里附近ハ約二支里乃至三支里ノ幅員ヲ有スル平甸耕地ヲナシ東北方二十五支里雙嶺附近ニ及フ

戶數一百餘戶、雜然トシテ集合シ不規則ナル小市街ヲ形成ス、初等小學堂、保衛團(團員二十名)ノ外官公衙ナク望城崗子巡警分局ノ管下ニ屬セリ

商業範圍ハ二道河子溝谷一帶ヨリ西ハ偏嶺堡子ニ及ヒ東南ハ法臺牛录堡子、松樹臺、溫泉寺地方ニ及フ、市中ニ商舖五戸アルノミ左ノ如シ

萬 聚 德 雜貨兼油房	萬 泉 湧 雜貨兼油房
張 慶 東 同	慶 源 長 雜貨

右ノ内萬聚德、萬泉湧ノ二戸ヲ除ク外小舖ニシテ言フニ足ラス、附近農民ヲ顧客トスルヲ以テ現金ノ取引少ク除賣(掛)トナシテ收穫期或ハ年末ニ金錢或ハ穀物ヲ以テ清算スルヲ常トス

二、物資集散

農産物及農産加工品ノ集散スルモノ左ノ如シ

黃 豆	五、〇〇〇石	本溪湖及奉天ニ輸出
高 豆	四〇〇〇石	
油 梁	三〇、〇〇〇斤	油房二戸ノ製造高
餅	五、〇〇〇枚	五十二斤物豆餅ハ本溪湖ニ輸出
豆	二、〇〇〇枚	二十五斤物ハ地方ニ於テ消費
燒 洋	四〇、〇〇〇斤	小甸子、城子戸屯ヨリ輸入
粉	三〇、〇〇〇斤	本溪湖ヨリ輸入
線	五、五〇〇斤	地方ニテ製造消費
	三〇、〇〇〇斤	奉天ニ輸出

大豆ハ附近ニ産シ冬季大車ニ依リ太子河氷上ヲ本溪湖ニ輸出シ一部ハ直接奉天ニ輸出ス、每一斗ノ斤量ハ三十七斤トス

豆油及豆餅ハ萬聚德、萬泉湧二戸ノ油房ニ於テ製造シ各一班ヲ有シ一班ノ人員三人、黃豆一石ヨリ豆油三十斤、豆餅五十二斤物ナラハ六枚、二十五斤物ナラハ十三枚ヲ製ス、一日ノ搾油原料黃豆ノ消費多キトキハ四石ニ及フコトアリ、其内豆油及二十五斤物豆餅ハ附近ニ於テ消費シ五十二斤物(日本斤四十)

豆餅ハ本溪湖ニ輸出ス、例年五車(一車ノ積載量九百八十六枚)内外アリト云フ  
 燒酒ハ小甸子、姚千戸屯ノ燒鍋ヨリ輸入セラレ、粉條ハ附近二戸ノ粉房ニ於テ製造セララル、奉天方面ヨリモ粉條ノ輸入アレトモ其額僅少ナリ  
 麻ハ二附近ヨリ産シ直接奉天或ハ千金寨經由奉天ニ輸出セララル  
 此地方小麥ヲ栽培セサルカ故ニ麥粉ハ全部洋麵(メリク)ヲ使用シ本溪湖ヨリ輸入セララル  
 雜貨類ハ大部分本溪湖ヨリ稀ニ奉天ヨリ直接輸入セラレ紙類ハ遼陽ヨリ輸入セララル其數量大約左ノ如シ

名	稱	輸 入 數 量	單 價
大	尺	二、〇〇〇疋	二元三角乃至二元五角
花	其 尺	(五十疋)	七 元
布	布	一〇〇疋	管運布五元一角乃至五元三角、坎布八元乃至九元、套布八角乃至九角、市布六元五角
襟	連布、坎布、套布、市布	一、五〇〇疋	一角七分
白	糖	二、二五〇斤	一角一分
紅	糖	(十五包)	四元六角
洋	油	一〇〇箱	四分
洋	火	四、八〇〇包	五角乃至一元二角
茶	葉	(二十箱)	每百斤 四元乃至四元五角
大	鹽	五〇〇斤	
		七〇、〇〇〇斤	

三、通貨及度量衡

硬貨ハ小洋、銅元ノ二種アレトモ流通額極メテ少ク主トシテ奉票即チ奉天官銀號券及之ニ準スル黒龍江官銀分號、交通銀行奉天興業銀行券等ヲ用ヒ本溪湖商務會帖子、煤鐵公司物品配給票等亦流通セラル、小洋一元ハ市錢十四吊文(遼陽ト)ニ計算シ一元ハ十角、一角ハ十二子トス  
 本邦度量衡トノ比較左ノ如シ

一	斗 <small>(黃豆ノ三)</small>	我	一六五六
裁	尺 <small>(小尺)</small>	尺	一、二四七
大	尺 <small>(一名布尺、裁尺)</small>	尺	一八三八
秤	尺 <small>(一名布尺、裁尺)</small>	尺	一五〇二六
	一斤		

四、土地

土地ハ金王府地、禮親王府地、二公爺地(公ノ名稱未詳)、盛京戸部地等相錯綜ス、荆、鮑二姓ノ者最モ多ク、鮑姓ハ山東ノ民人ニシテ王府地ヲ押典シタルモノニ係リ、荆姓ハ禮親王府ノ包衣ニ係ル、盛京戸部地ハ錢糧トシテ一日地ニ付一年九角(原ト)ヲ徵收セラレ、王府地ノ王府ニ納ルル租率ハ地ト人トニ依リ同シカラス皆一日地ニ付毎月一角ノ畝捐ヲ本溪縣署ニ納付スルコト牛心臺地方ニ同シ、地價ハ一日地ニ付上地三百五十元、中地二百元、下地一百元ナリ、租子(料小作)ハ「打糧對半、地畝對半」ト稱シ收穫及納稅ヲ均分スル習慣最モ普通ナリ  
 農業ニ關スル一般事項ハ第三章第一節中ニ包含セリ

### 五、交通

牛心臺ニ至ル三十五支里、本溪湖ニ至ル六十五支里、望城崗子ニ至ル三十五支里、小甸子ニ至ル四十五支里、溫泉寺ニ至ル十五支里アリ、冬季ハ大車ヲ通スレトモ其他ノ季節ニ在リテハ主トシテ駄運ヲ用フ、詳細ハ第二章第一節ヲ参照スヘシ  
通信設備トシテハ商店萬泉湧ニ於テ郵便代寄事務ヲ取扱フ

### 第四節 小市

#### 一、市街狀況

小市ハ本溪湖ヲ距ル九十支里、城廠ヲ距ル九十支里、太子河湯河會合點ノ西南岸ニ在リ、小市附近ハ稍開濶セル平甸耕地ヲナシ北ハ太子河ヲ越エテ山城寨前嶺子一帶ニ及ヒ南ハ即チ湯河ノ流域ニシテ幅二三支里、太子河岸ヨリ十五支里、香磨堡子(小市ヨリ)附近ニ至リ斷崖ノ爲ニ阻マレテ盡ク  
市街ハ附近ヲ合セテ戸數一百戸、前街後街ノ名アレトモ家屋散漫シ街衢不秩序ニシテ降雨ニ當リテハ路面泥水ヲ以テ覆ハル、湯河一帶竝ニ山城寨、賽梨寨地方物資ノ小集散地ナレトモ外見頗ル蕭條トシテ殆ト市街ノ體裁ヲ成サス、加フルニ本年陰曆四月馬賊ノ襲撃ニ遭ヒ燒塌セラルルモノ十數戸ニ及ヒ其瘡痕未タ癒ユルニ至ラス  
本溪縣東區第一巡警分局アリ、巡官一名(現巡官)巡警三十名駐在ス

### 二、商業概況

此地原トヨリ山間ノ一小村ニシテ商店トシテハ永隆源一戸ノミ資本稍ヤ豐富ナリ、其他春茂永以下七戸ノ小舖アレトモ露店ヨリ稍優レル程度ノモノニ過キス、永隆源ハ雜貨ヲ本業トシ油房ヲ兼ネ田師傳溝口永隆泉ノ支店ニ係リ賽馬集城廠山城寨平頂山葦子峪(引揚)等ニ支店ヲ有シ一箇年ノ取引高十萬元(內雜貨)内外アリト云フ  
特産物取引ノ外現金取引少ク多クハ春夏ノ候物品ヲ貸付ケ八月節以降年末マテニ穀物或ハ金錢ヲ以テ清算スルヲ常トス、貸金ノ催促ハ比較的嚴峻ニシテ年末ニ當リ出來得ル限り負債ヲ償フヘキ方法ヲ取ラシムルヲ以テ窮乏セル農民ハ已ムヲ得ス土地ヲ抵當トシ或ハ利息附ニテ新ニ負債スル者多シ、永隆源カ最初酒局即チ燒酒小賣ヲ業トセルニ今ヤ堂々タル豪商トナリシハ斯ノ如ク暴利ヲ貪リシニ依ルトノ評アリ

### 三、重要商品

#### (イ) 農産物

此地ニ來集スル農産物ハ高粱黃豆ノ二種ヲ最トシ例年高粱一千石、黃豆三千石竝ニ附近韭菜、其他ノ地方ヨリ直接輸出セラルル黃豆四千石、高粱五百石アリ、其内七割ハ遼陽ニ、三割ハ本溪湖ニ輸出セラル、運搬方法ハ冬季大車ニ依ルモノ六割、春季船運ニ依ルモノ四割ヲ占メ駄運ニ依ルモノ甚タ稀ナリ

農産物ハ直接輸出セラルルモノヨリモ遼陽本溪湖ヨリ買占ニ出張セル客商ノ手ニ依ルモノ多シ、遼陽小寺洋行ニ於テ昨年買収セシ黄豆約三百石アリト云フ

(ロ) 農産加工品  
農産加工品ノ生産並ニ輸出入額左ノ如シ

品名	生産或ハ輸出入數量	備考
燒酒	一五、〇〇〇斤	田師傳滿口ヨリ輸入、地方消費
豆油	三、〇〇〇斤	永隆源製造、地方消費
豆餅	一、五〇〇枚	右 同
洋豆	十八斤物	本溪湖ヨリ輸入、地方消費
粉	二、〇〇〇斤 二、八〇〇斤	粉房二月ニテ製造、地方消費

燒酒ハ永隆源ニ於テ田師傳滿口ノ本店ヨリ輸入ス、其一斤ハ十二兩ニシテ二斤即チ二十四兩ヲ以テ一提ト稱ス、一提ハ普通秤ノ一斤半ニ當ル  
油及豆餅ハ永隆源ニ於テ兼營製造ス、半班ヲ有スルニ過キス、半班ノ人員二人、一日原料黄豆七八斗ヲ使用シ、每斗豆油三斤、豆餅二十七斤ヲ得レトモ、休工スルコト多ク、一年ヲ通シテ僅々豆油三千斤十八斤物、豆餅一千五百枚ヲ製出スルニ過キス、此地ニ於テハ外國輸出向ノ邦斤四十六斤ニ相當スル大豆餅ヲ製造セス

麥粉ハ土麵ナシ皆本溪湖方面ヨリ船或ハ大車ニテ輸入スルモノ、例年五百袋(每袋四)アリ  
粉條ハ地方農家ノ兼業ニ係ル二戸ノ粉房ニテ製出スル二千八百斤ヲ以テ地方ノ需要ヲ充シ他ヨリ

輸入ヲ要セス

(ハ) 特産物

特産物ノ出產額左ノ如シ

楡 麵 十萬斤 奉天遼陽本溪湖ニ輸出  
 黃 菸 一千五百斤 地方ニ於テ消費

楡麵ハ楡樹皮ノ粉末ニシテ線香ノ原料トナス楡皮ハ二百支里ノ遠キ山中ヨリ之ヲ輸入シ水車ニ依リテ粉末トナス凡ソ楡皮百斤ヨリ八十斤ノ楡麵ヲ得ヘシ楡麵ハ其一部ヲ粉末トナセル柞麵ニ混シテ線香トナシ一部ハ粉末ノ儘奉天遼陽本溪湖地方ニ輸出ス、柞麵ノ原料タル柞樹ハ湯河ノ上流各處ニ産シ、產出豊富ナレトモ價格低廉ニシテ輸出ニ利ナシ、單ニ線香製造ノ副原料ニ用ヒラルルノミ(第三章第二節參照)

(ニ) 輸入雜貨

雜貨類ノ八割ハ遼陽ヨリ輸入シ、殘部ハ本溪湖或ハ草家口經由安東縣ヨリ輸入ス、輸入時季ハ春夏穀物輸出ノ歸船及冬季大車ニ依ル其例年輸入額凡ソ左ノ如シ

品名	數量	品名	數量	品名	數量
大尺布	四、〇〇〇疋	花旗布	五〇〇疋	裕連布	五〇〇疋
其他ノ布疋	二〇〇疋	鐵火	一〇、〇〇〇斤	洋紅糖	一、〇〇〇斤
水糖類	四〇〇斤	鐵(鐵)	一五箱	洋紅糖	一〇〇箱
紙類	約一、〇〇〇元	古洋	一〇、〇〇〇斤	大油	四〇、〇〇〇斤

### 四、通貨及度量衡

#### (イ) 通貨

小洋及銅元等ノ硬貨甚タ缺乏シテ紙幣多ク就中地方商店ノ私帖多キコト他ノ地方ニ同シ、制錢ハ聞々之ヲ見ルモ年々減少シツツアリ、制錢一百六十二箇ヲ以テ東錢ノ一吊文トシ、小洋一角ハ東錢ノ六  
百文ニ計算ス、市錢ハ遼陽ノ市錢ニ法リ小洋一元ヲ十四吊文トシ、即チ東錢ノ一吊文ハ市錢二吊三百  
三十文ニ該當ス、銀元銅元ノ計算法ハ前述各地ニ同シ、紙幣ハ奉天諸銀行ノ發行セル銀票ヲ通スルコ  
ト前述各地ニ同シク唯本溪湖商務會帖子ヲ通セス日本紙幣ハ本溪湖ノ相場ニ依リ永隆源ニテハ受  
入ルルモ未タ一般ニ流通セス

私帖ヲ發行スル商舖ハ附近各村ヲ通シテ七戸アレトモ永隆源(發行商約 二千元)ヲ除キテ概シテ信用ナシ、今  
私帖發行店舖ノ名稱ヲ左ニ掲ク

永隆源市小 春茂永市小 世興長觀音 義興順城廠 福順成孫家 人和聚東湯溝  
私帖ノ通用範圍ハ湯河流域、山城寨、養梨寨一帶ニ限ル

#### (ロ) 度量衡

此地度量衡ノ本邦トノ比較左ノ如シ

一 斗 <small>(黃豆ノ三)</small>	我 一五二二
裁 尺 <small>(十四斤)</small>	一四七
大 布 尺 <small>(裁尺ノ一尺)</small>	一八四二

秤

一斤

一四四五

### 五、農業

小市附近ノ耕地約一千餘日地アリ、大部分旗紅冊地ニシテ少許ノ金王府地、二爺府地混錯ス、該旗地ハ  
民人ニ讓與セルモノ多ク民人ハ自己ノ私有地ト思惟シツツアリ、公課ハ毎日地ニ付一年八角、賦捐ハ  
毎日地ニ付一箇月一角トスルコト他ノ地方ニ同シ  
作付ハ高粱三、穀子三、黃豆三其他一ノ割合ニシテ山地ニハ高粱ヲ種作スルモノ少ク黃豆及穀子ヲ栽  
培ス、耕作ハ輪作法ニ依リ、肥料ハ黃豆、穀子ニハ馬糞、腐土ヲ施シ高粱ニハ用ヒサルコトアリ、收穫ハ每  
日地ニ付高粱四石乃至七石、黃豆二石五斗乃至五石、穀子三石乃至六石、包米四石乃至六石ナリ  
其他一般農業ニ關シテハ第三章第一節ヲ参照スヘシ

### 六、交通

交通ニ關シテハ第二章中ニ包含シアルヲ以テ之ヲ省略ス  
附近村落ヲ通シテ大車四十輛、扒犁(穩)五十輛アリ  
通信設備ハ永隆源ニ於テ郵信事務ヲ代辦シ隔日一回城廠及本溪湖ニ通信ノ便アリ

### 第五節 韭菜峪

#### 一、一般狀況



蕪菜峪ハ湯河ノ溝谷中ニ在リテ小市ヲ距ル二十五支里幅員四支里長サ十二支里ノ稍開潤セル平甸地ノ南隅ニ在リ、南方一帯ハ山岳重疊シ殊ニ森林ニ富ム、湯河ノ溝谷ハ更ニ南ニ入り樺皮峪ノ溝谷ハ南東ニ岐ル戸數九十戸、稍密集シ地方ノ小市場トシテ小舖六戸アリ左ノ如シ

長發源 雜貨舖 近發東 同 慶發長 同 東興源 同  
福興成 油房 三盛爐 鐵爐

本年三四月ノ交馬賊ノ襲撃ニ遭ヒ掠奪セラレシ金錢物品五千餘元アリ爲ニ鐵爐ヲ除ク外皆閉業スルノ已ムナキニ至リ現時開業シツツアルハ三盛爐一戸ノミ  
土地ハ金王府地ニ係リ包衣達ハ磨石峪(北十五里)ニ住ス、朴姓ノ者多ク盛京鎮黃旗ニ屬ス  
蕪菜峪ノ東南十支里樺皮峪ノ溝谷中ニ西鑛山、東鑛山ノ二鐵鑛アリ光緒十七八年頃探掘セラレタルモ目下休山中ナリ

一、重要商品

農産物ハ多ク小市ヲ經由シテ黃豆約二千石高粱約三百石ヲ輸出シ、雜貨ハ小市ヨリ分銷セラル、茲ニハ唯タ此地特産物タル藥材、木材、榆麵ニ就テノミ述フヘシ(外ニ地方ニ於テ製造消費セラル豆油一)

(イ) 藥材

湯河上流ヨリ賽馬集一帶ノ山林中ニ産ス例年十五萬斤乃至二十萬斤ノ産出アルモ昨年ハ出産少ク十三萬四千斤ナリ其内譯左ノ如シ

名	稱	產出額	名	稱	產出額	名	稱	產出額
黃柏	皮	六〇〇〇〇斤	錯	草 <small>(賊木)</small>	一五〇〇〇斤	黃	前	三〇〇〇斤
防風	子	七〇〇〇	葛	根	三〇〇〇	車	子	二〇〇〇
五味	子	三〇〇〇	大	荔	二〇〇〇	細	辛	七〇〇〇
升麻	子	五〇〇〇	蒼	枝	二〇〇〇	合	梗	五〇〇〇
党	參	一〇〇〇〇	五	加	一〇〇〇〇	計		一三四〇〇〇

藥材ハ地方農家ノ副業トシテ採集セラレ奉天方面ヨリ來ル客商ト春季採集方ヲ約定シ内金ヲ受取リ初メテ入山スルヲ普通トス、又人參(土名)ハ放山(集者)ニ依リテ採集セラレ一年ノ産額多クトモ一百斤ヲ出テス、藥材採集時季ハ城廠ト同シ(第三章第四節及第四章第一節參照)

(ロ) 木材

湯河ノ上流樺皮峪錯草峪ヨリ賽馬集方面ニ至ル一帯ハ森林地ナリ、木材ノ種類ハ柞樹最モ多ク榆、椴、色黃波羅等之ニ亞キ直徑六七寸物ヲ普通トス、建築材料トシテハ良好ナラスト雖坑木ニ適シ本溪湖煤鐵公司ノ買收シタル山林數箇所アリト云フ、湯河ハ水車運轉ノ磨房ニ河水ヲ堰引スルモノ多キヲ以テ流筏ニ不便ナルカ故ニ目下未タ木材トシテ輸出セラレサルモ交運ノ便開クルニ至ラハ好箇ノ林産地トナルヘシ(第三章第四節參照)

(ハ) 獸皮類

狩獵ヲ專業トスルモノナク農家ノ男子カ冬季農閑ノ節銃獵シテ獲ル所ナリ一年ノ産額大約左ノ如シ

狐狸皮

一千枚

籊子皮

一千五百枚

貉子皮

八百枚

皆奉天地方ニ輸出セラル

(ニ) 榆 麵

産地、製法ハ既ニ第三章第二節ニ於テ述ヘタリ、朴家堡子ノ上流湯河流域ニ沿フテ磨房約四十戸アリ其製造高榆麵四十萬斤、柞麵三十萬斤アリ、磨房ニシテ香房ヲ兼スルモノ二十五戸、小ナルハ一副床ヨリ大ナルハ四副床ヲ有シ其製出スル線香約四十萬斤アリ、線香ハ榆麵一〇、柞麵三〇、江王一(香料ニシテ遠隔ヨリテ)ノ割合ヲ以テ混製シ奉天遼陽、安東地方ニ分銷セラル、又榆麵ノママ輸出セラルルモノ三十萬斤(小含ムモ)内外アリ

### 第六節

小甸子

#### 一、一般狀況

小甸子ハ城廠ヨリ千金寨ニ至ル街道上ニ當リ城廠ノ北七十支里、本溪湖ノ東北百十支里、馬家城子ノ北三十五支里ノ地ニ在リ、望城崗子ト相距ル十支里、清河ノ上流左岸ニ位シ附近ハ清河ノ本支流ニ沿フテ稍開潤セル平甸耕地ヲ爲シ南ハ富家樓子、趙家甸子ニ連リ東ハ三家子ヨリ金斗峪附近ニ及フ、西ハ突出セル山角ニ依リテ清河城附近ノ耕地ト限ル、耕地凡ソ二千餘日地アリ、戸數三十餘戸、稍密集スレトモ未タ市街ノ體裁ヲ成サス、燒鍋永泉長アルヲ以テ名アリ、商舖ハ永泉長ノ外天合永其他二戸ノ小舖アリ、永泉長ハ道光年間ノ開設ニ係リ資本主ハ山西人ニシテ葦子峪富家樓子、賽馬集、馬園子(東北二十支里)ノ四箇所ニ支店ヲ有ス

附近ノ土地ハ興京倉地ト稱スル旗紅冊地大部ヲ占メ其多クハ民人ノ典得セルモノニ係ル其他少許ノ王府地、官莊等其間ニ錯在ス即チ左ノ如シ

恒公府地	小甸子附近	黃姓ノ者之ニ屬ス
金王府地	三家子附近	福姓ノ者之ニ屬ス
禮親王府地	富家樓子附近	劉姓ノ者之ニ屬ス
內務府官莊	清河城附近	趙姓ノ者之ニ屬ス

地味ハ比較的良好ニシテ富家樓子及馬園子最モ優リ人家稠密ナリ、作付ハ高粱五、黃豆三、其他ニニシテ毎天地ノ收穫上地高粱六石、穀子五石、中地高粱五石、穀子四石内外ナリ

#### 二、物資集散

(イ) 農産物(輸出額 高粱五、三〇〇〇石)

穀物ノ輸出力ヲ有スルモノハ黃豆最モ多ク、概ネ冬季大車ニテ千金寨ニ出ツ、例年ノ輸出高約五千石、外ニ高粱三百石内外アリ、其他夏季太子河沿マテ陸運シ其レヨリ水路本溪湖ニ至ルモノアレトモ數量多カラス、運賃陸路千金寨(百三十支里)ヘ一袋(五斗)六角内外、水路太子河沿ヨリ本溪湖マテ一袋五角内外ナリ

(ロ) 農産加工品(生産額 小燒酒五〇、〇〇〇斤、豆油二〇、〇〇〇斤)

燒酒ハ燒鍋永泉長ニ於テ三班(二班)ヲ有シ一年約五十萬斤ヲ製出ス、其内二十萬斤ハ小甸子、清河城、望城崗子、馬園子地方ニ於テ消費シ殘部ノ三十萬斤ハ主トシテ安東、鳳凰城方面ニ輸出ス、輸出方法ハ夏季

ハ本溪湖迄水路ニ依リ其ヨリ鐵道ノ便ヲ藉リ、冬季ハ大車ニ依リ直接輸出ス、本溪湖迄ノ水脚(船運)每百斤四角内外ナリ、燒酒一提ノ斤量ハ城廠ニ同シ  
 豆油、豆餅、粉條ハ附近農家ノ副業トシテ製出セラレ皆地方ニ於テ消費シ輸出スルモノナシ、麥粉ハ地方製造ノモノナク本溪湖方面ヨリ洋麵(メリケ)千二百袋即チ四萬八千斤内外ヲ輸入ス一袋ノ價格四元内外ナリ

(ハ)特産物(生産額線麻二七〇、〇〇〇斤)

特産物トシテハ麻ノ一種アルノミ、麻ハ附近一帶ヨリ産シ一旦之ヲ商店ニ於テ買入レ更ニ一捆九十斤内外ニ荷造替ヘ冬季陸路ニ依リ直接奉天(支那)ニ輸送シ同地山貨店ノ手ヲ經テ賣却ス永泉長一戸ニ於テ昨年ノ取扱高約十萬斤ナリシト云フ、其他農家或ハ客商ノ手ニ依リ輸出セラルルモノアレトモ全額ノ二割ニ上ラサルヘシト云フ、運賃ハ奉天ニ至ル冬季大車每百斤六角、千金寨ニ至ル(時トシ山)每百斤三角五分内外ナリ

(ニ)輸入雜貨

主トシテ奉天ヨリ直接、或ハ千金寨ヲ經由シテ輸入シ、大鹽(鹽)ハ本溪湖ノ鹽棧ヨリ、鐵器類紙類ハ遼陽ヨリ、布疋類ノ一部ハ安東ヨリ本溪湖ヲ經由シ、洋麵、洋油ハ本溪湖ヨリ輸入ス、全部ヲ通シテ奉天ヨリ輸入スルモノ總額ノ六割ヲ占ム、例年ノ輸入高概ネ左ノ如シ

名稱	輸入		合計	價格
	件數	容積		
大尺布	五〇件	四〇正	二、〇〇〇正	每正 二

名稱	件數	容積	合計	價格
清布	四〇件	一四四正	五、七六〇正	四角
套布	三〇件	五二正	一、五六〇正	一元乃至一元四角
中布	三件	一〇一正	三〇三正	五角乃至六角
花布	一五件	四〇正	六〇〇正	一元一角乃至一元二角
洋布	一〇件	二〇正	二〇〇正	七角
白糖	二〇箱	二四〇包	四、八〇〇包	每包 四角
紅糖	一〇包	一五〇斤	一、五〇〇斤	每斤 二角
冰糖	二〇包	一五〇斤	三、〇〇〇斤	每斤 一角
大鹽	一〇包	八〇斤	八〇〇斤	每百斤 二角
洋油			三〇〇、〇〇〇斤	每百斤 四角
鐵器			一、〇〇〇元	平均每斤 八分

三、通貨及度量衡

(イ)通貨

硬貨缺乏シテ奉票之ニ代リ私帖充斥シテ奉票ヲ壓倒スルコト城廠一帶ノ通弊ナリ附近ノ流通小銀貨、銅元甚タ少クシテ數フルニ足ラス奉票(奉天官銀號、黑龍江官銀分號)及本溪湖商務會帖子ハ流通紙幣ノ四分ノ一ヲ占メ地方ノ私帖ハ四分ノ三ヲ占ム、銀元一元ハ市錢十吊文ニ相當シ一角ハ一吊文ニ相當ス、一元ハ十角、一角ハ銅元十二子トスルコト他ノ地方ニ同シ  
 附近各地ノ私帖發行商舖並ニ其發行高ヲ左ニ示ス

地名	商備名	營業	私帖發行豫想高
小 甸 子	○永 泉	燒鍋、雜貨、油房、粉房 雜貨	六〇〇〇
望 清 城 河 城	×天 永 永 慶	同 同 同 同	一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇
富 家 樓 子	×萬 ×萬 ×萬 ×萬 ×萬	同 同 同 同 同	一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇
青 馬 斗 子	×永 ×恒 ×永 ○永	藥心舖 雜貨 同 雜貨、酒局	一〇〇〇 五〇〇 八〇〇 一〇〇〇

備考 ○印信用アルモノ ×印信用ナキモノ 無印普通ノモノ  
私帖ノ通用範圍ハ附近一帶ノミニシテ高麗營子、小市、城廠等ニ至レハ通用不可能ナリ、帖子ノ種類ハ永泉長發行ノ分ハ一元ノ一種ナレトモ其他ハ一角、二角三角、五角、一元ノ五種アリ  
(ロ)度量衡  
本邦度量衡トノ比較左ノ如シ  
一 斗 (小米三十六斤) 一斗 一三〇  
一 尺 (黃豆三十六斤) 一尺 一〇五

裁 尺	布 尺	秤 尺
一尺	尺 (裁尺ノ一尺五寸五分ニ當ル)	一斤
一尺	普通秤	一斤
	藥 戥	一斤
	同	一斤 (十六兩)

第七節 望城崗子及清河城

一、一般狀況

望城崗子ハ本溪湖ヨリ東一百支里、城廠ノ東北八十支里、東方清河城ヲ距ル五支里、小甸子ヲ距ル十支里、南賽梨寨ニ至ル三十支里、西高麗營子ニ至ル三十五支里ノ地ニ在リ、清河ノ上流ニ瀕シ附近ハ清河ノ本支流ニ沿ヒテ稍開濶セル平甸耕地ヲ成シ、清河城ニ相對ス、附近ノ耕地約二千餘日地アリ、戶數六十戶、内小舖五戶、旅店二戶アリ、南北ノ一條街ニ家屋密集スレトモ市街ノ體裁ヲ成サス、家屋ノ外觀ハ比較的富裕ラシキモノ多キモ本年陰曆三月二十六日馬賊黃四媚ノ襲フ所トナリ燒燬セラレタルモノ數戶、商舖モ亦概ネ其害ヲ被リ市況頓ニ蕭條トナレリ  
本溪縣巡警東區第二分局アリ、巡官一名、巡警三十名駐在シ其管區ハ東ハ趙家甸子、金斗峪ニ至リ南ハ秦家堡子ニ至リ西ハ三家子ニ至リ北ハ縣界ニ至ル管內ノ戶數三千二百三十五戶、人口二萬七千餘、耕地六千九百四十五日地アリ (巡警署ノ所說)  
小舖五戶、内慶和福、永慶東、萬慶隆ノ三戶ハ私帖ヲ發行スレトモ今春馬賊ノ害ヲ受ケ嗣テ官兵ノ誅求

ニ遭ヒ現在開業シツツアルハ萬慶隆ノ一戸ノミ

一、物資集散

(1) 農産物

此地附近ヨリ輸出スル農産物ハ平年ニ於テ左ノ如シ

黃豆	三千石	價格當時	八	角
包米	一百石	同	五	角
高粱	三百石	同	五	角

仕向地ハ本溪湖五割千金寨三割遼陽二割ヲ占ム、皆冬季千金寨ニハ大車、本溪湖ニハ駄馬或ハ大車ヲ以テ輸出シ其運賃千金寨(支里二十)ニ每袋(斗五)六角、本溪湖(支里一百)ニ五角五分乃至六角内外ナリ

(2) 農産加工品

生産並ニ輸出入高左ノ如シ

品名	輸出入數量	價 格	備 考
燒酒	一〇〇〇〇 每斤	一角二分	小甸子ヨリ輸入
豆油	六〇〇〇	一角六分	高麗營子、葦子峪ヨリ輸入、一部ハ地方ニテ製造並ニ消費
粉條	一、八〇〇	一角五分	附近ニテ製造並ニ消費
洋麵	二〇、〇〇〇 (五百袋)	一 角	本溪湖ヨリ輸入

右ノ内豆油ハ高麗營子葦子峪ヨリ約五千斤ヲ輸入シ郊外馬油房(北二支里)ニ於テ約一千斤、小豆餅五

百枚ヲ製造シ皆地方ニ於テ消費ス豆餅ハ十八斤物ニシテ飼畜料ニ供セラル、粉條ハ農家ノ兼業ニ係ル粉房二戸ニ於テ製造シ以テ地方ノ需要ヲ充ス麥粉ハ地方製造ノ土麵ナク皆洋麵ヲ奉天ヨリ本溪湖經由駄馬ニ依リテ輸入ス

(ハ) 特産物

特産物トシテ線麻ヲ産ス附近一帶ヨリ葦子峪附近ニ至ル間生産總額五十萬斤ニ及ヒ其内望城崗子附近ノミニテ一年約二十萬斤ノ輸出アリ、小甸子ト同シク商舖ニテ農家ヨリ買入レ一捆九十斤内外ニ荷造替ヘ冬季大車ニテ奉天ニ輸出シ農家ノ直接輸出ニ係ルモノ少シ、每百斤ノ價格上二十五元、中二十元、下十八元内外ナリ

(ニ) 輸入雜貨

雜貨ハ冬季千金寨經由奉天ヨリ輸入セララルモノ五割、夏季本溪湖ヨリ駄馬或ハ冬季大車ニ依ルモノ二割、小甸子燒鍋ヨリ分銷セララルモノ三割ヲ占ム、輸入額多カラス例年左ノ如シ

名 稱	數 量	價 格	名 稱	數 量	價 格
大 尺 布	六〇〇正	每疋 二元五角	大 布 (洋)	五〇〇正	每疋 二元八角
花旗布、搭連布、市布	四〇〇正	每疋 四元八角	其 他 布	二五〇正	每疋 二元八角
洋 油	二〇〇箱	每箱 四元八角	紙 類	一〇箱	每箱 十元
白 糖	七五〇斤	每斤 二角二分	紅 糖	一五〇斤	每斤 一角五分
茶 葉	八〇〇斤	平均 約 八角	洋 火	一五〇斤	每斤 一角五分
大 鹽	二〇、〇〇〇斤			約三〇〇元	

右ノ内石油ハ美孚印多ク茶葉ハ蘭茶多シ千金寨ヨリ大車運賃每百斤三角五分乃至四角、本溪湖ヨリ  
馱馬運賃每百斤七角乃至七角五分ナリ

### 三、通貨及度量衡

銀元銅元奉票多カラス私帖ノ充滿セルコト小甸子ニ同シク行路者ノ不便甚シ、此地附近私帖發行店  
舖及其發行額ハ小甸子ノ節ニ併記セリ  
一元ハ十角、一角ハ銅元十二子トシ、一元ハ市錢十吊文ニ當ル、東錢ハ制錢百六十二箇ヲ以テ一吊文ト  
シ銀元一角ハ之ヲ六百文ニ計算ス即チ東錢六吊文ハ市錢十吊文ニ當ル然レトモ近時制錢ハ年々減  
少シ銀元ノ計算ニ依ルノ便利ナルヲ以テ東錢ヲ用フルコト稀ナリ  
度量衡ハ小甸子ニ同シ

### 四、農業一斑

土地ハ興京倉地ト禮親王府地(俗ニ包衣地ト稱ス)トノ二種錯在セシカ該王府地ハ其後過半民人ノ承領(一日地  
ニ付約)  
ニト云フ)スル所トナレリ、農民ノ内李姓ハ王府地ニ屬シ孟姓ハ民地ニ屬シ楊姓ハ旗地ニ屬ス、地價ハ  
賣買價格毎天地上地四百元、中地三百元、下地二百元ニシテ典價ハ上地三百元ヨリ下地一百元ニ至ル、  
租子即チ小作料ハ普通穀納ニ依リ毎日地ニ付二石内外、高粱穀子、黃豆ノ三種ヲ以テセラル  
地味ハ小甸子附近ト大差ナク作付ハ高粱、四、黃豆、三、穀子ニ其他一ニシテ收穫ハ上地毎日地ニ付高粱  
六石、黃豆四石、穀子包米五石内外ナリ、農民ノ食料ハ主トシテ高粱ヲ用ヒ小米之ニ亞ク

昨年ヨリ此地ニ移住セル朝鮮人五戸アリ水田十餘日地ヲ耕シ成績良好ニシテ毎日地粳米五石ヲ收  
穫シタリト云フ、皆租地ニ係リ毎日地ノ租子粳米二石内外ナリト云フ  
附近ノ農家ニ大車ヲ有スル者少ク每村多キモ四五輛ヲ出テス附近ノ平甸地一帯ヲ通シテ其數約四  
十輛ニ過キス

### 五、清河城

清河城ハ清河ノ左岸ニ在リ望城崗子ト平甸相連リ小甸子トハ一山角ヲ以テ劃ス、兩地ノ中間ニ位シ  
兩地ト相距ルコト各五支里アリ、戸數五十戸、古城趾アリ人家ハ城墟中ニ密集シ外觀富裕ナル如シ、小  
雜貨舖一戸(永春)藥舖、木匠舖各一戸、旅店三戸アリ、雜貨類ハ小甸子或ハ望城崗子ニ仰ク、通貨度量衡農  
業狀況ハ望城崗子ニ同シ

### 第八節 大堡及田師傳溝口

#### 一、大堡

(イ) 一般狀況  
大堡ハ田師傳溝口ヨリ十二支里ノ地ニ在リ本溪湖ヨリ城廠ニ至ル街道上ニ當リ城廠ヲ距ル西三十  
支里附近ハ溝ニ沿ヒ細長ナル平甸耕地ヲ成ス人家ハ附近ヲ合セテ一百戸、小舖二戸(義成合)旅店二戸、  
竝ニ邦人ノ開設ニ係リ附近ヨリ産スル石炭及鐵礦石買收ヲ業トスル和興公司ノ事務所アリ  
大堡附近ハ田師傳溝炭ト稱シテ著名ナル産炭地ナリ、附近一帯ヨリ城廠ニ輸出スル黃豆三千五百石、

高粱五百石アリ

(ロ) 産出石炭

大堡ノ南方一帯ニ蜿蜒スル山中ニハ到處石炭ヲ産シ就中永溝子、大旺ヲ最トシ二道溝、三道溝之ニ亞キ、遠クハ張家堡子(四十里)八盤嶺堡子(四十里)等亦之ヲ産ス、附近ノ農民ハ之ヲ燃料ニ供シ、或ハ小嶺、八盤嶺堡子地方ノ窯業、全家堡子ノ製鐵業等ニ使用ス、邦商和興公司ハ附近各地ヨリ産スル石炭及鐵鑛石(蒙家窩子及杉松河家窩子上流ニ産ス)ヲ買收シ、八盤嶺炭ハ之ヲ骸炭ニ製シ其他ハ石炭ノ儘冬季大車ニテ本溪湖經由奉天ニ輸出シ一部ハ溝口マテ車運トシ其ヨリ船筏子ニ依リ本溪湖地方ニ輸出ス、目下石炭總産額ハ二千噸内外(一説ニ六千噸トモ云フ)ノ見込ニシテ昨年ノ輸出高約三十萬斤(約二萬噸)骸炭二萬斤餘ニシテ本年ハ未タ輸出スルニ至ラス、此地ニ於ケル價格骸炭每千斤五元、石炭每千斤上三元、下一元五角ナリト云フ

(ハ) 農業一斑

大堡附近ノ土地ハ旗地紅冊地ニ係リ少許ノ順承郡王府地之ニ錯在ス、住民ハ民人三分ノ二ヲ占メ他ハ旗人ナリ、旗人ハ遼陽鎮紅旗ニ屬ス、附近ノ平甸耕地多カラサレトモ山地ヲ合セ溝谷ニ沿ヘル一帯ヲ合セ約一千餘日地アリト云フ

地味ハ溝口ニ近ツクニ從ヒ良好ニシテ作付ハ高粱三、穀子三、黄豆二、包米一其他一ノ割合ニシテ收穫ハ高粱及穀子毎日地四石乃至六石、黄豆三石乃至五石、包米三石乃至六石ナリ

(ニ) 通貨

硬貨ノ缺乏セルコト他ノ地方ニ同シク、紙幣ハ奉天官銀號券、黑龍江官銀分號券、興業銀行券、本溪湖商務會帖子等竝ヒ通スレトモ其額多カラス、地方ノ私帖最モ多ク其發行高概ネ左ノ如シ

地名	商舖名	營業	發行高	帖子ノ種類
大堡	義成	合雜	二〇〇元	牛角
同堡	王記	記同	三〇〇元	牛角
全家堡	福源	興油	五〇〇元	牛角、一角、二角
田師傅溝口	永隆	泉燒	八、〇〇〇元	一元、二元、三元

右ノ内永隆泉發行ノ分ハ北ハ馬家城子ヨリ西ハ八盤嶺、東南ハ城廠方面迄通用スレトモ其他ハ單ニ其附近ニ通用スルノミ

一一、田師傅溝口 (未踏地)

田師傅溝口ハ又田什付溝口、田什夫溝口、田師夫溝口等ニ書スルモ皆普通ナリ、田師傅溝ト太子河トノ會合點ヨリ西二支里ノ地ニ在リ、大堡ヲ距ル十二支里、城廠ヲ距ル十八支里、附近ニ平甸耕地多カラスト雖、山ヲ負ヒ谷ニ沿ヒ細長ナル耕地ハ大堡及城廠ニ連ナル

人家四十餘戸、燒鍋、永隆泉ノ外商舖ナシ、永隆泉ハ乾隆年間ヨリ開設セラレ漸次隆盛トナルニ從ヒ道光年間ヨリ各處ニ支店ヲ設ケ目下城廠、賽馬集(中)小市、山城寨、葦子峪(中)平頂山(中)ノ六箇所ニ支店ヲ有シ、小市ノ永隆泉ハ即チ此支店ニ係ル、燒酒製造ヲ本業トシ農耕ヲ副業トス、二飯二班ヲ有シ、一年約二十五萬斤ヲ製出シ、内十五萬斤餘ヲ安東、鳳凰城方面ニ輸出ス、此地水質良好ナルカ故ニ酒質ノ優等ナルコト城廠一帯之ニ及フモノナク名聲頗ル高シト云フ(大堡ニ於テ聽取)

第九節 馬家城子及葦子峪

一、馬家城子

馬家城子ハ平頂山葦子峪方面ヨリ流下スル太子河北溝ト城廠ヨリ來ル太子河南溝トノ會合點ノ東南岸ニ在リ城廠ヲ距ル三十五支里葦子峪ニ至ル三十五支里小甸子ニ至ル三十五支里小市ニ至ル六十四支里本溪湖ニ至ル陸路百七十支里水路二百十支里アリ

人家四十戸古城址中ニ雜然點在シテ市街ノ體裁ヲ成サス小商舖一戸小旅店一戸アルノミ古城址ハ今尙土壁ヲ存シ方三町餘壁上ニハ榆樹繁茂セリ地方物資ハ此地ニ集散セシテ直接城廠ニ出テ雜貨ハ城廠ヨリ之ヲ仰キ單ニ葦子峪方面ヨリ流下スル筏及船筏子ノ休憩地タルニ過キス附近一帯ノ生産物ニシテ城廠ニ賣出スルモノ約計黃豆二千石高粱五百石ナリ

土地ハ興京倉地ニ係リ住民ハ馬武ノ兩姓多シ附近稍平甸耕地アリ河岸ノ一角ニ約三百餘日地ヲ有シ作付ハ高粱五穀子二包米一黃豆一其他一ノ割合ニシテ收穫ハ上地毎日地ニ付高粱七石穀子五石包米五石黃豆四石内外ナリ

地價ハ毎日地上地三百元乃至四百元典價ハ毎日地上地二百元乃至二百五十元ナリ租子(小作)ハ錢納ト穀納トノ二種アリ錢納ハ五箇年ヲ以テ一期トシ毎日地六十元(五分)ヲ先納スルモノ最モ普通ニ行ハレ穀納ハ收穫高ヲ折半スル方法最モ普通ニ用ヒラル此場合公課ノ分擔ハ錢糧毎日地一年八角ヲ業主(地主)ニ於テ負擔シ畝捐毎日地每月一角(七分)ハ巡警費保衛團費毎日地每月銅元四枚ハ租主(小作)ニ於テ負擔スル筈ナルモ事實ニ於テ錢糧ヲモ小作人ニ負擔セシムル者少カラス

古城址上ノ樹木並ニ村ノ東方平地ニ臨メル古山子ト稱スル小丘一帯ノ樹木ハ公有ニシテ看青的(中)各戸ノ家畜飼牧ヲ受任シ之ヲ看視シ公議ヲ經ルニ非サレハ其伐木ヲ嚴禁ス若シ犯ス者アルトキハ樹木謝禮ハ一年雜穀七十トス

一本ニ付四元柴一把ニ付二元ノ罰金ヲ徵スト云フ(民國四年三月十六日馬家城子衆會決議)

二、葦子峪(未踏)

葦子峪ハ馬家城子ヲ距ル三十五支里太子河北溝ノ上流右岸ニ在リ興京縣ノ管下ニ屬ス附近ハ稍開濶セル平甸耕地ヲ成シ耕地約三百餘日地アリ稍市街ノ體裁ヲ成シ人家二百餘戸内大小ノ商舖二十八戸旅店七戸アリ重ナル商舖ハ左ノ四戸ノミ

信 誠 德	雜 貨 舖	萬 全 湧	酒	局 <small>(小甸子)</small>
永 盛 順	雜 貨 舖	福 順 祥	雜 貨 舖	

農産物ハ黃豆一千石包米二百石ヲ冬季大車ニテ千金寨ニ輸出シ黃豆高粱合セテ約四千石ヲ城廠ニ輸出ス麻ハ千金寨並ニ城廠ニ分銷セラレ一年ノ産額約五萬斤アリ燒鍋ナク燒酒ハ小甸子城廠田師傳溝等ヨリ約四萬斤ヲ輸入シ油ハ市中二戸ノ油房ニ於テ製造セラレ一部小甸子望城崗子金斗峪地方ニ輸出シ豆餅ハ五十二斤物約一千枚ヲ千金寨ニ輸出シ二十五斤物ハ地方ニ於テ消費セラレ木材ハ此地方第一ノ特産物ニシテ既ニ本年筏トシテ流下セル坑木ノミニテ三萬餘本アリ種類ハ大棒子二棒子小棒子ノ三種多キコト城廠ニ同シク例年ノ産出額ハ城廠ト伯仲シ約十九萬一千四百本アリ

通貨ハ城廠ニ同シク硬貨缺乏シ全市流通貨幣ノ二十分ノ一ヲ過キス奉票モ亦多カラスシテ總額ノ



五分ノ一ヲ占メ其他ハ市中七戸ノ商舖ノ發行スル私帖ナリ  
度量衡ハ城版ト大差ナシ黄豆一斗ノ斤量ハ三十六斤トシ坪及裁尺ハ城版ニ同シク布尺ハ裁尺ノ一  
尺二寸五分ニ當ルト云フ此地方種作物ノ作付ハ高粱三、包米二、黄豆二、穀子二其他一ノ割合ニシテ收  
穫ハ上地一日地ニ付高粱六石黄豆五石穀子五石内外ナリト云フ(城版及馬家城  
子ニ於テ取)

### 第五章 沿道状況

#### 第一節 牛心臺小市間

牛心臺驛ヨリ北行シ老官砦子ニ至ル五支里ノ間ハ太子河ニ沿ヒ牛心臺地方ニ連接セル平甸耕地ニ  
シテ地味頗ル良好ナリ過半ハ高粱ヲ種作シ間々穀子黄豆ヲ混作ス道ノ右方ハ丘陵地ニ對シ左方ハ  
三支里ヲ隔テ太子河對岸ノ山崖ニ對ス

#### 牛心臺狀況(第四章第 二節參照)

老官砦子ハ人家三十戸半數ハ農耕ニ從事シ半數ハ日雇人足ヲ稼業トス土地ハ端郡王ノ地ニ係  
リ包衣達ハ磨石峪ニ住ス住民ハ趙李ノ二姓多ク村長ヲ趙文發ト曰フ作付ハ高粱四、穀子二、黄豆二、  
包米一其他一ノ割合ニシテ收穫ハ上地毎日地高粱五石乃至七石内外ナリ一溝アリ西入シテ王官  
溝炭山ニ至リ輕便鐵道ノ支線之ニ通ス

老官砦子ヨリ道ハ稍東折シ漸次太子河ニ近ツキ三支里ニシテ三家子ノ前面ニ於テ太子河ヲ渡ル此  
附近ニ於ケル太子河ハ河幅約三町水幅六十間餘アリ渡船ノ便アレトモ幅二尺四五寸長三丈ノ獨木  
舟ニシテ漲水ノ際ハ渡河ニ便ナラス

三家子ハ老官砦子ヨリ三支里人家二十五戸アリ太子河ニ漸シ後方ニ山ヲ負ヒ東北ニ向ヒテ開ケ  
平甸耕地約五十日地アリ後方ノ山嶺ハ勾配稍急ナル處ト雖耕作セラル土地ハ旗紅冊地ニ係リ李  
馬ノ二姓多ク住民ハ遼陽正白旗ニ屬ス作付ハ高粱七、穀子一、包米一其他一ニシテ地味ハ牛心臺ニ  
比シ沙土多クシテ良好ナラス收穫ハ一日地ニ付高粱四石内外ナリ全村ヲ通シテ大車ヲ所有スル  
者ナシ

道ハ三家子ヨリ太子河右岸ニ沿ヘル細長ナル平甸耕地ヲ通シ山根底(六)ヲ過キ紅石砦子ノ斷崖下ニ  
於テ小河ヲ渡レハ砦咀子ニ至ル砦咀子ノ溝谷ハ稍深クシテ北方二十五支里ニ及ヒ村落耕地混連ス  
太子河ノ對岸ハ即チ白石砦子ニシテ牛心臺ノ平地既ニ盡キ太子河一帯ノ崖地トナル  
砦咀子ハ別名蕭家河子ト稱ス三家子ヨリ三支里戸數二十戸北方ニ啞吧山ヲ負ヒ附近ハ山上マテ  
崖地ヲ除キ叮嚀ニ耘耨セラレアルコト三家子附近ニ同シ土地ハ民紅冊地ニ係リ住民ハ山東登州  
府蓬萊縣人ニシテ移住以來既ニ八代ヲ經過シタリト云フ本村ヲ通シテ大車一輛牛馬合セテ十餘  
頭ヲ有スルニ過キス

砦咀子ヨリ東北折シ道ハ常ニ左方ニ山ヲ負ヒ右方ハ太子河岸ノ平地ニ蒞ミ七支里ニシテ地塔堡子  
ニ至ル地塔トハ滿語河岸岩崖下細道ノ謂ニシテ此地ヨリ偏嶺堡子ニ至ル間ニ崖道アルヲ以テ此名  
アリ太子河ノ對岸ハ河漢ヲ成シ再ヒ平甸耕地トナリ迷岔堡子、臺溝等ノ村落アリ  
地塔堡子ハ又狄他堡子トモ書ス砦咀子ヨリ七支里人家三十戸アリ

迷岔堡子(五)臺溝(三)ハ太子河ノ對岸ニアリ渡船ノ便アレトモ獨木舟ニシテ漲水ノ際渡河危險  
ナリ附近ノ土地ハ金王府地ニシテ住民ハ荆姓多シ福盛和ト稱スル小舖一戸アリ一年ノ賣上高僅

々三四千吊(十四吊文)ニ過キス、附近ノ耕地約三百日地、地味稍良好ニシテ、上地毎日高粱五石餘ノ收穫アリ、高粱及黃豆ヲ合セテ一年約四百石ノ輸出力ヲ有スト云フ、此附近船筏子所有者多ク、迷岔堡子、臺溝ヲ合セテ十七隻ヲ有ス

地塔堡子ニ於テ三家子以來ノ平地盡キ、太子河岸ノ崖道ヲ過クレハ、偏嶺堡子ノ平地トナル、太子河ノ對岸ハ即チ迷岔堡子ニ連ル平地耕地ナリ、小市ニ至ルニハ、此地ヨリ東ニ分岐ス

偏嶺堡子ハ地塔堡子ヨリ五支里牛心臺ヨリ二十三支里、高麗營子ニ至ル十二支里、臺溝ニ至ル五支里、溫泉寺ニ至ル二十五支里ナリ、戸數四十戸、前街後街ノ二ニ分レ、旅店五戸アリ、土地ハ内務府地(姓之)禮親王府地(高姓之)公爺府地(公ノ名未詳)等錯在シ、附近ノ耕地約一百日地アリ、前街ノ高ト云フ者最モ富裕ニシテ三十日地ヲ耕シ、平年雜穀一百餘石ヲ收穫スト云フ、作付ハ高粱三、黃豆三、穀子二、其他ニニシテ收穫ハ上地毎日地高粱五石内外、斗ハ高麗營子ニ同シ、產物ハ黃豆約一百石ヲ輸出シ、特產物トシテ染料ノ原料植葉ト稱スルモノヲ農家ノ閑暇ヲ利用シテ採集セラルルモノ例年約三萬斤アリ

偏嶺堡子ヨリ太子河岸ヲ離レ、東北行シ五支里ニシテ、偏嶺ヲ越ユ、嶺ハ高峻ナラス、大車ヲ通スヘシ、嶺ヲ下レハ即チ高麗營子ノ溝地、平野ニシテ、幅員約二支里乃至三支里ヲ保チ、東北方ニ走入ス、兩側ノ山上勾配地ヲ耕作セルコト從來ノ經過地ニ同シ、嶺ヨリ七支里ニシテ、高麗營子ニ至ル、望城崗子ニ至ルニハ更ニ此道路ヲ前進スヘシ

高麗營子ハ戸數約一百戸、小市街ヲ形成シ、商舖五戸アリ、詳細ハ第四章第三節ヲ參照スヘシ、高麗營子ヨリ再ヒ舊道ニ依リテ南歸シ、五支里ニシテ、東南ニ分岐シ、二道河子ノ溝谷ニ沿ヒ北甸子(二)

戸)ヲ過キ、稍開濶セル平甸耕地ニ出テ、再ヒ太子河ニ近ツキ、十支里ニシテ、法臺牛录堡子ニ至ル、太子河ノ對岸ハ即チ崖地ナリ

法臺牛录堡子ハ俗ニ放牛堡ト稱ス、附近ノ平甸耕地約一百日地アリ、四圍ノ山岳ハ勾配急ナリト雖耕作シ得ル限リ、耘耨ヲ加ヘラレアリ、戸數四十戸、土地ハ民紅冊地、旗紅冊地、禮親王府地等錯在シ、村長ヲ胡廷弼ト曰ヒ、北甸子、法臺牛录堡子、松樹臺、姚家堡子ノ五村ヲ管ス、村内ニ義順興ト稱スル小舖一戸アリ、旅店ナシ、產物ハ黃豆約一百石ヲ本溪湖ニ輸出ス

法臺牛录堡子ヨリ三支里ニシテ、平地盡キ、崖下ノ細道トナル、時偶々降雨ノ後、河水漲溢ニ際シ、人馬辛クシテ通過スルコトヲ得タリ、此對岸ハ即チ養猪園子ニシテ、冬季ナラハ河水ヲ利用シ、一旦該村ニ渡リテ、小市ニ赴クヲ可トスレトモ、夏季ハ依然太子河ニ沿ヒ、河岸ノ崖道ヲ過キサルヘカラス、道ハ即チ崖道ヲ過キ、東南行シ、松樹臺(三十)ノ平甸地ニ出ツ、太子河ハ此地ヨリ南方ニ向ツテ、一大彎曲ヲナシ、道ハ上下二支里ノ小嶺ヲ越ヒ、再ヒ太子河ト會シ、列舟ノ渡船ニ依リ、對岸大甸子(二十)ニ渡ル、此附近太子河ノ屈曲甚クシク、兩岸ハ峻巖屹立シ、間々平地アルモ、面積極メテ狹隘ナリ、大甸子ヨリ道ハ太子河ノ左岸ニ沿ヒ、再ヒ崖道ヲ過リテ、溫泉寺ニ至ル、法臺牛录堡子ヨリ溫泉寺ニ至ル總テ十五支里ナリ

溫泉寺ハ溫泉湧出スルヲ以テ、湯溝トモ曰フ、小市ノ溝谷モ亦湯溝ト稱スルニ依リ、之ト區別シテ、字句ヲ顛倒シ、俗ニ溝兒湯ト稱ス、東方勾配急ナル山岳ノ溝凹ニ廟宇一座アリ、溫泉寺ト曰フ、即チ溫泉ノ所在ナリ、廟ハ禪寺ニ係リ、住持本悅ハ地方ニ於テ相當ノ勢力ヲ有セリ、廟ハ後ニ山ヲ負ヒ、樹林ニ蔽ハレ、前面ハ一支里餘ニシテ、太子河ニ面シ、眺望頗ル優雅ナリ、溫泉ノ湧出スル所ニ浴室三房ヲ設ケ、其屋半ハ倒歪シ、風雨ヲ凌クコト能ハスト、雖湯質ハ清澄ニシテ、甚ク體ニ可ナリ、廟内ニハ佛堂ノ

外閑房數間ヲ設ケ、規定ノ宿泊料ヲ徴シテ浴客食宿ノ便ヲ計ル、此地ヨリ山道ニ依ルトキハ徑路崎  
 嶇ナレトモ三十支里ニシテ牛心臺ニ達スルコトヲ得ヘク本溪湖地方ノ邦人ニシテ杖ヲ此ニ曳キ  
 療浴スル者時々之ヲ見ルト云フ、溫泉ノ西南山上巔崖ノ中腹ニ古洞寺アリ亦遊覽ニ適ス  
 溫泉寺附近ハ人家四十戸、上地ハ廟地ニ係ル、耕地五十餘日地ニ過キスシテ産穀不足ヲ告ケ年々他  
 ノ地方ヨリ小米、高粱等若干ノ輸入ヲ見ル  
 溫泉寺ヨリ小市ニ至ル二十支里アリ順路トシテ太子河ヲ青石嶺ニ渡リ更ニ同江峪ヨリ謝家巖子  
 ニ渡ルヲ便トスレトモ降雨漲水ニ際シテハ隘小ナル刳舟ニ依ルコト危険ナルヲ以テ金坑經由ノ  
 迂路ニ依ラサルヘカラス

溫泉寺ヨリ太子河ノ左岸ニ沿ヒ或ハ崖道ヲ過キ或ハ山端ヲ上下シ趙兒溝(戸十)ヲ經テ遼河充(戸十五)ニ至  
 ル、道ハ之ヨリ太子河岸ヲ舍テ西南ノ狭谷中ニ入り險阻ニシテ石礫多キ山道ヲ攀ツ此附近平地ヲ有  
 セス多クハ急峻ナル勾配地ヲ耕作シツツアリ、遼河充ノ山嶺ヲ昇盡スルトキハ地勢俄ニ緩漫トナリ  
 山上ノ臺地ヲナシ復テ下降ヲ要セスシテ直ニ金坑ニ至ル

金坑ハ溫泉寺ヨリ十五支里、山上臺地ニ在リ、人家二十戸、附近ハ稍平坦ナル耕地前屯、後屯ニ連接シ  
 一帯ノ耕地合計三百餘日地アリ作付割合ハ高粱四、穀子二、黃豆二其他二ニシテ收穫ハ毎日地ニ付  
 高粱三石乃至五石ナリ、西北ハ後屯ヲ經テ紅臉溝、大南溝ニ通シ東南ハ前屯ヲ經テ城廠本溪湖街道  
 ニ出ツルコトヲ得ヘシ

金坑ヨリ三支里ニシテ前屯(戸四十)ニ至ル間ハ稍平坦ナル耕地連レリ、道ハ之ヨリ些少ノ上昇ヲナセル  
 ノミニテ俄ニ急峻ナル擦屁股嶺ヲ下降ス其險ナルコト遼河充嶺ニ譲ラス共ニ車ヲ通セサルハ勿論

馭馬ノ通行モ容易ナラス、嶺ヲ下レハ三架嶺ト二架嶺ノ間ニ存スル同江峪西溝ノ裡ナリ道ハ西溝ノ  
 狭谷ニ沿ヒテ東北折シ前屯ヨリ十二支里ニシテ于家店(戸五)ヲ過キ西溝(戸三十)ニ至リ再ヒ太子河岸  
 ニ出ツ對岸ハ即チ同江峪ナリ、是ヨリ河岸ハ巔崖聳立スルヲ以テ再ヒ東方ノ小溝ニ入り急峻ナル山  
 嶺ノ斜面ヲ曲折シテ辛フシテ謝家巖子ノ平甸地ニ出ツ同江峪西溝ヲ距ル十支里ナリ

謝家巖子ハ小市ヲ距ル五支里、溫泉寺ニ至ル冬季河水ヲ利用スルトキハ十五支里ニシテ達スルモ  
 金坑ヲ迂回スルトキハ四十支里アリ、人家八十戸、耕地一百日地アリ作付ハ高粱四、黃豆二、穀子二、包  
 米一其他一ノ割合ニシテ收穫ハ上地高粱毎日地五石内外ナリ黃豆約五十石ノ輸出力アルニ過キ  
 ス全村ヲ通シテ船筏子十五隻ヲ有ス、附近ニ炭坑一箇所アレトモ目下休山中ナリ

謝家巖子ヨリ屈曲セル太子河ニ突出スル長嶺ノ背ヲ横キルトキハ五支里ニシテ小市ニ至ル、小市ハ  
 湯河ノ流域ニ當リ附近ハ開濶セル平甸耕地ヲナシ北ハ太子河ヲ超エテ山城寨ニ及ヒ南ハ韭菜峪地  
 方ニ至ル

小市ハ本溪湖ヨリ九十支里、城廠ニ至ル九十支里、溫泉寺ヨリ金坑ヲ迂回スルトキハ四十支里、人家  
 約一百戸附近ノ物資小集散地ナリ、詳細ハ第四章第四節ニ於テ述ヘタリ

第二節 小市城廠間

小市ヨリ湯河ノ溝谷ヲ南進シ十支里ニシテ香磨堡子ヲ過ク此間平甸耕地毘連シ平地ノ幅員約二支  
 里乃至三支里アリ、城廠ニ至ル本道ハ此ヨリ直行朴家堡子ヲ經由スヘシ

香磨堡子ハ小市ヨリ十支里、戸數六十戸湯河岸ノ崖上ニ在リ外觀富裕ノ如シ、土地ハ金王府二爺府

(金王ノ一族公)ノ地ニ係リ住民ハ李姓解姓多シ、地味概ネ良好ニシテ收穫上地毎日高粱五石乃至六石ナリ、河水ヲ堰キテ水車ヲ運轉シ輪麵柞麵ヲ製造スル磨房多シ

小市ノ平地ハ此地附近ニ於テ湯河兩岸ノ岩崖ニ依リテ一旦斷絶ス、湯河ノ左岸崖下ニ大車ヲ通スル道路アレトモ河水氾濫ノ際ハ之ヲ浸シ水深クシテ通行困難ナリ、道ハ此ヨリ磨石峪ノ溝谷ニ入り香磨堡子ヨリ五支里ニシテ磨石峪ニ至ル

磨石峪ハ城廠本溪湖間馱馬道ノ通過地ニシテ狹溝中岩崖ノ下ニ小河ヲ夾ミ樹木鬱蒼河水清澈眺望頗ル佳、人民一般ニ質朴ナリ、人家約六十戸、農民過半ヲ占メ、其他ハ地代ノ收入或ハ工方等ニ依リテ衣食ス、附近ニ殆ト平甸耕地ナク多クハ山岳ノ斜面ヲ耕作シツツアリ、土地ハ金王府地ニ係リ牛心臺ヨリ八盤嶺ニ至ル一帯金王府包衣ノ長(包衣達)此地ニ住シ現包衣達ヲ王作霖ト曰ヒ旗民ハ京都饑紅旗ニ屬セリ、此地特産物トシテ檢麵及線香アリ、香房一戸ノ製造スル所ニシテ一年ノ輸出額線香四萬斤内外アリ

磨石峪ヨリ再ヒ溝外ニ出テ五支里ニシテ湯河ヲ渡レハ即チ朴家堡子ナリ、此附近ノ湯河ハ平水ニ於テ徒涉スルコトヲ得レトモ降雨出水ノ際ハ渡船ニ依ラサルヘカラス而モ渡船ハ獨木舟ナルヲ以テ危險甚クシク時トシテ人馬ノ通行杜絶スルコトアリ、城廠ニ至ルニハ此地ヨリ娘々宮ヲ經由シ直ニ山城溝ノ溝谷ニ入ルヘシ

朴家堡子ハ湯河ノ右岸ニ在リ小市ヨリ直行十五支里(磨石峪ヲ迂回ス)磨石峪ヨリ五支里、人家四十戸、内小舖一戸、旅店三戸アリ、豫備巡警二十名駐在ス、土地ハ王府地ト旗紅冊地ト混在シ朴姓ハ金王府地ヲ領シ饑紅旗、正藍旗ニ分隸シ吳姓ハ旗地ヲ領シ正白旗、正黃旗ニ分隸ス

朴家堡子ヨリ城廠街道ヲ離ル、湯河沿岸ノ平甸耕地再ヒ起リ幅員二三支里ヲ保チテ韭菜峪地方ニ連ル、五支里ニシテ城廠堡子ヲ過ク

城廠堡子ハ朴家堡子ヨリ五支里、韭菜峪ニ至ル五支里、湯河沿岸平甸地ノ約中央ニ在リ三村ニ分レ人家合セテ三十五戸、窮民多シ土地ハ金王府地ニ係リ李姓多ク饑紅旗ニ屬ス、作付割合高粱五穀子二、黃豆二其他一ニシテ收穫ハ中地毎日ニ地付高粱四石内外ナリ、地方ノ小作料ハ穀納ノ習慣ニシテ毎日地普通二石内外ナリ

更ニ五支里ニシテ韭菜峪ニ至ル湯河ノ平地ハ此地ノ南方二支里ニシテ盡キ東方ハ閭家堡子ニ至ル間稍平地ヲ成シテ接連スレトモ東南樺皮峪溝谷方面、南方錯草峪溝谷方面ハ時々斷崖ヲ以テ絶タレ點々トシテ少許ノ平地ヲ有スルノミ、山上ノ勾配地ヲ耕作スルコト前來ノ各地方ニ同シ

韭菜峪ハ小市ヨリ二十五支里、人家九十戸、内小舖六戸アレトモ本年春馬賊ニ蹂躪セラレテ餘スモノ一戸ノミ、詳細ハ第四章第五節ニ於テ述ヘタリ

韭菜峪ヨリ東南折シ樺皮峪ノ溝谷ニ入ル、溝中平地ナク幾度カ小河ヲ左右ニ渡リ道路石礫突兀トシテ通行ニ便ナラス、八支里ニシテ鐵嶺ニ至ル溝中ニ入ルニ從ヒ柞榆等ノ樹木益々繁茂ス、牛心臺出發以來住民ノ血色概ネ黯青ナリシカ此地ニ至リテ殊ニ甚シ、其原因血族結婚ニ依ルトモ云ヒ或ハ水質及營養不十分ニ依ルトモ云フ

樺皮峪ハ略シテ化皮峪トモ書ス韭菜峪ヨリ三支里以東ノ溝中一帶ノ總稱的地名ニシテ戸數三十餘戸アリ、鐵嶺所在地ハ溝中八支里ノ地點ニ在リ、道路ノ左側ニ在ルヲ西嶺山ト曰ヒ、右側ニ在ルヲ東嶺山ト曰フ東嶺山ハ一山ヲ隔テテ水簸箕溝ノ鐵山ト背對ス、西嶺山ハ古クヨリ開掘セラレ光緒

十年頃ヨリ十七八年ニ至ル間最モ盛ニシテ工人約三百人ニ及ヒシカ現時ハ廢坑ニ屬セリ踏査當時ハ七月下旬ナリシカ坑中溜水充滿シ水上尙浮水ヲ見タリ

樺皮峪ヨリ同一ノ道路ヲ韭菜峪ニ回リ更ニ城廠堡子ノ東方ヲ過リ十八支里ニシテ娘々宮(一名山城堡子)ニ至リ城廠街道ト合ス道ハ此ヨリ山城溝ノ狭谷ニ沿ヒテ東折シ三支里ニシテ頭道溝ニ至ル附近ノ山岳ハ勾配急ナラス樹木少キ草山ニシテ處々石炭層ノ露出ヲ見ル

頭道溝ハ小市ヲ距ル二十支里人家處々ニ散在シテ密集セルモノナク合セテ約六十戸アリ土地ハ金王府地ニ係リ民人ノ納金領有セルモノ多ク旗人ハ鑲紅旗ニ屬ス頭道溝二道溝三道溝季家堡子一帶石炭ヲ産シ就中二道溝最モ豐富ナリ皆現時休山中ナルモ二道溝ノミ七八人ノ農民カ副業トシテ時々採掘シ附近農民ノ燃料ニ供シ山價毎百斤五六分ナリト云フ

頭道溝ヨリ山城溝谷ニ沿ヒテ漸次上昇シ二道溝口(戸十)裏三道溝口(戸十五)外三道溝(戸二十)ヲ經テ一小嶺ヲ越エ八支里ニシテ山城溝ニ至ル此地ハ泉水河ノ上流ニ在リ平地ニ乏シキモ附近ノ山嶺勾配緩漫ナリ

山城溝ハ頭道溝ヨリ八支里人家散在シ合セテ二十餘戸アリ土地ハ金王府地旗紅冊地混在シ住民ハ民人多シ作付割合ハ高粱四穀子三黃豆二其他一ニシテ收穫ハ上地毎日地高粱六石内外ナリ住民一般ニ貧窮ニシテ休憩セル一農家ノ如キハ家族五人内男子一人ニテ二日地ヲ耕シ一年雜穀十石餘ヲ收穫スルニ過キスト云フ

山城溝ヨリ山角ヲ東南ニ折レ二支里ニシテ袁家窩棚(戸二十)ヲ過ル附近ハ細狭ナル平地ヲ成シ泉水河ニ沿ヒ遙ニ北方ニ連ナル道ハ此ヨリ東南行シ一小嶺ヲ越ユ嶺上石炭ノ廢坑アリ附近ニ露頭少カラ

ラス三支里ニシテ小嶺ヲ下リ青山背ニ至ル即チ泉水河支流ノ上流ニ當リ細長ナル平甸耕地ハ河ニ沿ヒテ北方ニ走ル

青山背ハ山間狭谷中ニ在リ人家處々ニ散在シ合計二十戸附近ノ山岳ハ勾配稍緩漫ナリ小礮溝ノ溝谷東ニ入ル作付割合ハ高粱三穀子三黃豆二其他二ニシテ收穫ハ山城溝地方ニ同シ附近ニ柞樹林多ク殊ニ南方ノ諸山ハ未タ伐採ヲ加ヘラレス菁々トシテ繁茂セルモ樹幹大ナラス普通直徑六七寸ナリ附近ハ鑛山ニ富ミ石炭坑ノ外礮溝ニ銅鐵鑛アルモ現時採掘中ノモノナシ此地方柞蠶ヲ飼養スルモノ多シ

青山背ヨリ溪谷ニ沿ヒテ東北ニ下ルコト四支里ニシテ東南ヨリ來ル一溝ニ會ス即チ東折シテ之上リ青山背ヨリ六支里ニシテ蜂蜜砬子ニ至ル此間屢々小河ヲ左右ニ渡ルヲ要ス時偶々降雨ニ際シ河水氾濫シテ道路ヲ浸シ道即河河即道ノ如キ觀ヲ呈シ頗ル通行ニ困難ヲ感セリ

蜂蜜砬子ハ青山背ヨリ十支里山間ノ溪谷斷崖下ニ在リ平地ニ乏シク耕地ハ山上勾配地ニ多シ戸數四十戸農家ハ概ネ副業トシテ柞蠶ヲ飼養ス繭ハ千箇ヲ以テ單位トシ四條ノ絲ニ分繫ス普通ノ家ニテ三四十千ヲ得サルハナク多クハ自家ニテ蠶絲ニ繰リタル後安東遼陽地方ヨリ來ル客商ニ賣却スト云フ繭一千ノ價格二元内外ナリ

道ハ此ヨリ狭谷ニ沿ヒテ漸次上昇シ東南ヨリ東ニ折レ南岐スル大礮溝々谷ヲ送リテ左方八盤嶺溝ニ入ル路上石礮甚タ多ク騎馬タモ尙通行不便ノ箇所尠カラス五支里ニシテ八盤嶺溝(戸二十)ヲ過ク是ヨリ兩側ノ山嶺益々迫リ道益々急ニ遂ニ峻嶺ノ斜面ヲ盤回曲折シ八盤嶺溝ヨリ五支里ニシテ八盤嶺上ニ達ス

八盤嶺ハ本溪湖ヨリ城廠ニ至ル駄馬道ニ當リ上下各五支里アリ道路ノ險惡ナルコト全路中第一ナリ牛心臺ヨリ此地ニ至ル沿道山岳斜面勾配地ノ耕地多キニ驚キシカ此附近ニ至リ最モ甚クシク人馬喘々トシテ登攀ニ困ムカ如キ箇所ト雖苟モ人力ヲ竭シテ耕耘シ得ル所ハ總テ耕地ニ化セラル以テ物力艱難農戶窮乏ノ狀ヲ察スルニ足ル

八盤嶺ヨリ下ルコト三支里ニシテ八盤嶺堡子ニ至ル急峻ノ度ハ上昇ノ際ニ比シ稍緩ク石礫モ亦少シ

八盤嶺堡子ハ人家二十戸山間溪谷中ニ在リ小旅店一戸農家ノ外觀頗ル貧弱ナリ

是ヨリ四近ノ山嶺頓ニ緩慢トナリ土地亦稍開濶スニ支里ニシテ八盤嶺堡子ノ東村ヲ過ク

八盤嶺堡子ノ東村ハ張家堡子ニ連リ附近ニ無煙炭及粘土ヲ産ス窯業盛ニシテ大小ノ缸窰七戸アリ缸類其他ノ瓶壺類ヲ製シ一年ノ産額水缸類ノミニテ三千四百組ヲ生産シ夏ハ田師傳溝口ヨリ船ニテ冬ハ大車ニテ本溪湖遼陽地方ニ輸出シ其質本溪湖製ニ比シ稍良好ナリト云フ尙窯業ニ關スル詳細ハ第三章第二節ニ於テ述ヘタリ

是ヨリ道ハ稍東南行シ一小嶺ヲ越エ三支里ニシテ小嶺(三)ヲ過キ田師傳溝谷ニ沿フ細狭ナル平甸耕地トナリ更ニ二支里ニシテ全家堡子ヲ過ク道路石礫多ク製鐵ノ遺物タル鐵滓到處ニ墾々タリ

全家堡子ハ大堡ヲ距ル三支里人家四十戸福源興ト稱スル油房及鐵爐一戸アリ附近ニ産スル鐵礫ヲ原料トシテ一年生鐵約十萬斤ヲ製出ス作付割合ハ高粱三穀子三黃豆三其他一ニシテ地味中等毎日地ノ收穫上地高粱五石内外ナリ

全家堡子ヨリ幅員約二支里ノ平甸耕地連リ三支里ニシテ大堡ニ至ル

大堡ハ八盤嶺上ヨリ十五支里此地ヨリ城廠ニ至ルニハ三道アリ一ハ田師傳溝口ヲ經ルモノニシテ三十支里一ハ魏家堡子ヲ經ルモノニシテ三十支里一ハ劉家堡子ヲ經ルモノニシテ二十五支里アリ人家一百戸内小舖二戸アリ石炭及鐵礫ノ産地ニシテ邦商和興公司ノ事務所アリ其他ノ狀況ハ第四章第八節ニ詳シ

大堡ヨリ頭道溝(五)附近ヲ經由シテ田師傳溝ト杉松河トヲ劃セル丘陵ヲ越エ魏家堡子(四)ニ於テ杉松河(河幅)ヲ渡ル杉松河ノ下流一帶ハ幅員二支里乃至三支里ノ細長ナル平甸耕地ヲ成シテ城廠一帶ニ連リ上流一帶ハ即チ木材ノ産地ニシテ流筏盛ナリ道ハ是ヨリ大ナル變化ナク韓家堡子(三)ヲ經テ杉松河ノ左岸ニ渡リ胡家堡子(四)門家堡子(三)黃家堡子(三)等ヲ經テ太子河ノ左岸九龍口(六)ニ至リ始テ城廠ノ廣寬ナル平地ニ出ツル間細狭ナル平甸耕地ヲ通過ス唯タ雨後出水ノ餘河水氾濫シテ渡河ニ苦ミ道路ハ悉ク河流ト化シ而モ石礫突元トシテ通行ニ艱メリ

九龍口ヨリ太子河ノ對岸ハ即チ城廠ナリ此處太子河ハ二條ニ分岐シ其西支流ハ河幅二十間本流ハ河幅二町餘共ニ平水ニ於テ徒渉スルコトヲ得ルモ當時本流ノ水深一丈餘ニ漲シ獨木舟ニ依ル渡河ノ危險甚ク加フルニ舟夫辭ヲ設ケテ不當ノ渡錢ヲ要求シ僅々一衣帶ノ小水ヲ過クルニ三時間ヲ費セリ

城廠市街ハ太子河ノ東岸ヨリ東北ニ接連シ地方ノ集散市場ニシテ戶數九百人口六千アリ詳細ハ第四章第一節ニ於テ説述セリ

### 第三節 城廠望城崗子間

城廠ノ西端ヨリ北折シ耕地ノ間ヲ過キテ太子河ノ右岸ニ沿ヒ漸次丘陵地ニ近ツキ四支里ニシテ四嶺ヲ過ク此對岸ハ草家窩子ニシテ九龍口ニ連リテ幅約二支里ノ平地アリ

四嶺ハ戸數二十戸城廠ノ平地ニ連續シ太子河ノ東岸ニ散在ス東ニ入ル一溝アリ五支里ニシテ四子嶺ニ達ス溝中山丘ノ斜面ニ耕地多シ附近史家堡子李家堡子徐家堡子二道溝等ノ村落ヲ合セテ戸數約一百戸アリ作付ハ高粱四黃豆二穀子三其他一ノ割合ニシテ收穫ハ上地毎日地ニ付高粱六石内外ナリ

是ヨリ平地盡キテ太子河岸ノ崖道トナル城廠ヨリ八支里ニシテ崖ヲ出テテ北陽崗子ノ狹キ平甸地トナル

北陽崗子ハ人家三箇處ニ分在シ合計四十戸太子河ニ面シテ平甸地約八十地アリ對岸ハ即チ南陽崗子ニシテ九龍口ニ連ル幅約一支里半ノ平地アリ

道ハ再ヒ崖上ノ山道ヲ過キ城廠ヨリ十二支里ニシテ小峪(二十)ヲ過ク附近ニ平地ナク概ネ勾配地ヲ耕作シツツアリ東北方ニ入ル一溝ヲ小峪後溝ト曰フ亦平甸地ナシ道ハ更ニ崖上ヲ通シテ地塔堡子ノ小平甸地ニ出ツ太子河ノ對岸ハ即チ田師傅溝口ニシテ幅約一支里ノ平地九龍口ヨリ連續シ溝中ニ入ル

地塔堡子ハ城廠ヨリ十七支里戸數四十戸附近ハ太子河岸稍平地ヲナシ耕地約七十地アリ土地ハ旗紅冊地ニ屬シ作付ハ城廠附近ト大差ナク唯山地ハ殆ト包米穀子ノ二種ニ限ラル此附近太子河ハ雨又ヲナシ西又ヲ本水路トス對岸ハ田師傅溝口ニシテ河岸ヨリ二支里ニ人家四十戸燒鍋永隆泉アリ溝中ハ平地ト稱スヘキ程ニ非サルモ耕地ハ大堡附近マテ連續シ大堡附近ノ石炭及窯業

產物ハ溝口マテ一旦搬出セラル

道ハ更ニ崖上ヲ上下シ六支里ニシテ大陽ヲ通過ス

大陽ハ城廠ヨリ二十三支里人家五十戸附近ニ少許ノ平甸地アリ對岸ノ平地ハ此ニ盡キ岩崖トナル

道ハ更ニ崖地ヲ上下ス崖頭ニ小廟アリ其對岸ハ南甸子(五十)ニシテ山ニ靠リ稍傾斜セル耕地アリ崖ヲ下レハ河東(二十)ニシテ陋屋多シ其對岸ハ崖地ニシテ急ニ太子河ニ落ム道ハ再ヒ河岸崖下ヲ通ス對岸ハ北甸子ナリ農家數箇處ニ分在シ合セテ四十戸アリ一溝西入ス五支里ニシテ蔡家窩子ノ鐵鑛ニ至ル附近ノ耕地約一百日地アリ其大部分ハ後方ニ山ヲ負ヒ緩漫ナル傾斜地ナリ

崖ヲ過クレハ稍開潤セル平甸耕地トナリ城廠ヨリ三十五支里ニシテ馬家城子ニ至ル平頂山ヨリ葦子峪ヲ過キテ流下スル太子河北溝ハ此地ノ北方ニ於テ本流ニ會ス葦子峪ニ至ルニハ此地ヨリ分岐スヘシ

馬家城子ハ城廠ヨリ三十五支里葦子峪小甸子ニ至ル各三十五支里戸數四十戸詳細ハ第四章第九節ニ述ヘタリ

馬家城子ヨリ小甸子ニ至ルニハ趙家甸子ニ至ル間太子河ノ曲折甚タシク渡河四回ヲ要シ一旦増水スルトキハ渡河不能トナルヲ以テ約五支里迂回シ金邊祠ニ於テ北溝ヲ渡リ太子河ノ右岸ニ沿ヒ二嶺ヲ越ユルヲ便トス但シ車輛ヲ通セス

馬家城子ヨリ古城子ノ東門ヲ出テ四支里ニシテ太子河北溝ヲ金邊祠(二十)ニ渡ル道ハ是ヨリ西北折シ一嶺ヲ越ユレハ馬家城子ヨリ十二支里ニシテ水洞ニ至ル太子河ニ落ミ三方ニ山ヲ負ヒ一小平甸

地ヲ成ス對岸ハ即チ高麗營子ナリ

水洞ハ馬家城子ヨリ順路五支里ナルモ金邊祠ヲ迂回スルトキハ十二支里アリ戸數三十戸耕地五十日地民屋矮少ナルモノ多シ民氣不良ニシテ馬賊ノ巢窟地ナリトモ云フ平地ノ東北隅ニ清泉湧出ス其附近ニ磨房二戸アリ楡麵ヲ製造ス

道ハ是ヨリ一小嶺ヲ越エテ小嶺(戸十)ヲ過キ更ニ崖道ヲ上下シテ趙家甸子ニ至ル清河ノ溝谷北ヨリ來リテ此ニ會シ太子河ノ大屈曲ハ此附近ニ至リテ初メテ平夷トナル崖ヲ下リ趙家甸子ニ近ク河岸ニ雜樹鬱蒼タリ太子河ノ防水林ナリト云フ對岸ハ太子河迂回部ノ突出セル平甸地ニシテ即チ高麗營子(戸十)ナリ

趙家甸子ハ馬家城子ヨリ順路十五支里迂路二十支里清河ト太子河トノ會合點ノ東北岸ニ在リ戸數三十戸附近ハ清河ニ沿ヘル平甸地ニシテ後方ノ山嶺モ亦比較的勻配緩漫ナリ土地ハ民紅冊地ニ係リ附近ノ耕地約八十日地作付割合ハ高粱三穀子三黃豆二包米一其他一ニシテ收穫ハ上地毎日地ニ付高粱六七石黃豆四五石内外ナリ村長ヲ趙某ト曰ヒ四日地ヲ耕作シ一年約十五石ノ收穫アリ家族ハ十一人ニシテ内男子三人女子四人小兒四人アリ一年ノ食料高粱八石小米四石包米四石ヲ要シ其不足竝ニ衣住費ハ夏季農閑ノ際伐木或ハ流筏等ニ依リテ補給シ冬季ハ運送竝ニ山中ニ入り把頭ニ雇ハレテ伐木ニ從事スト云フ

趙家甸子ヨリ本溪湖ニ赴クニハ太子河ニ沿フヲ便トスレトモ夏季ハ降雨出水ノタメ渡河不便ニシテ殊ニ鍋成石附近ノ崖道ハ甚タ危險ナリト云フ

趙家甸子ヨリ下流ノ狀況左ノ如シ

流响哨(戸十)趙家甸子ヨリ五支里山麓河岸ノ傾斜地ヲ過キテ達ス附近ノ耕地約五十日地作付割合ハ高粱四黃豆二穀子ニ其他二ナリ對岸ハ崖地ニシテ僅ニ傾斜地ヲ耕作スルノミ

松樹咀子(戸三)流响哨ヨリ太子河ヲ渡リ二支里ニシテ達ス平甸地ナク僅ニ山坡地ヲ耕スノミ附近ニ哈叭嶺溝ノ一村アレトモ亦平地ナシ

小老鶴砬子(戸十)流响哨ヨリ崖道三支里ニシテ達ス此間道路急峻ニシテ人ノ外通行困難ナリ

鍋成石(戸十)松樹咀子ヨリ三支里平甸地ナシ對岸ハ大老鶴砬子(戸三)ニシテ平甸地凡ソ五十日地アリ

趙家甸子ヨリ北行シ二支里ニシテ團山子(戸三)ヲ過ク小甸子ニ至ル本道ハ之ヨリ左折シ富家樓子(戸八)ヲ經由ス道ハ是ヨリ本道ヲ離レ團山子ノ小溝谷ニ入り英守嶺(戸下二)ヲ越エ趙家甸子ヨリ十支里ニシテ英守堡子ニ至ル

英守堡子ハ人家三十戸清河支流ノ細長ナル溝谷中ニ在リ上流十支里ニシテ金斗峪更ニ五支里ニシテ馬圈子ニ至ル兩地トモ商舖各三戸アリト云フ更ニ東行スレハ千合嶺ヲ越エテ葦子峪ニ達ス英守堡子ニ於テ清河支流(河幅四)ヲ渡リ溝谷ニ沿ヒテ西折シ五支里ニシテ三家子(戸二)ヲ過キ清河本流ノ溝谷ニ會シテ本道ニ合シ北折シテ小甸子附近ノ開濶セル平甸地ヲ過キ一河(河幅二)ヲ涉リ五支里ニシテ小甸子ニ至ル時ニ雨後出水甚タシク道路ハ漲水ヲ以テ覆ハレ通行ノ不便甚タシ

小甸子ハ清河ノ北岸ニ在リ趙家甸子ヨリ本道十五支里ナルモ英守堡子ヲ迂回スレハ二十支里アリ人家三十戸燒鍋永泉長アリ詳細ハ第四章第六節ヲ参照スヘシ

小甸子ノ平地ハ西北ヨリ突出スル山端ニ盡ク山端ヲ繞レハ再ヒ平甸地トナル五支里ニシテ清河城(戸五)ヲ過キ更ニ五支里ニシテ望城崗子ニ至ル道路概シテ平坦ナリ



望城崗子及清河城狀況ハ第四章第七節ニ詳シ  
望城崗子ヨリ北折スレハ千金寨奉天ニ至リ、西行スレハ高麗營子、本溪湖ニ至リ、南行スレハ賽梨寨  
小市ニ至ル

#### 第四節 望城崗子牛心臺間

望城崗子ヨリ清河ノ上流ヲ徒涉シ(河幅十)幅員ニ支里ノ細狭ナル溝谷ニ沿ヒテ南行シ七支里ニシテ  
泰家堡子(四十)ヲ過キ更ニ三支里ニシテ孟家堡子(五)ヲ過ク、望城崗子ヨリ此地ニ至ル一帯ヲ南溝ト  
稱ス南溝ノ平甸耕地ハ略此地ニ至リテ盡キ西芬溝ノ狭谷東南ニ入ル  
道ハ是ヨリ漸次上昇シ閭家嶺子(二十)ヲ過キ五支里ニシテ閭家嶺上ニ至ル、嶺ハ高峻ナラ、スト雖降雨  
ト流水トノ爲メ路上岩石露出シ處々龜裂ヲ生シ道路概シテ良好ナラス  
閭家嶺子ヲ下レハ即チ富成峪ノ溝谷ニシテ道ハ直ニ太子河岸ニ通ス、嶺北ニ比シテ路側ノ山岳急峻  
ノ度ヲ増シ所々岩崖屹立シ溝幅狹隘寬處モ一支里ニ及ハス、十支里ニシテ富成峪(五)ヲ過キテ太子  
河岸ニ至リ左方ニ太陽ノ平甸地ヲ望ミテ西南ニ折レ稍開濶セル平甸地ニ出テ富成峪ヨリ五支里、望  
城崗子ヨリ總テ三十支里ニシテ賽梨寨ニ至ル、此附近ノ太子河ハ南北ノ二又ヲ成シ下流五支里ニシ  
テ再ヒ合ス南又ヲ水道トス、河ノ對岸ニハ地道子(三十)順道子(十五)東山(十五)泉水河子(五)等アレトモ  
皆山麓河岸ノ傾斜地ニ在リテ平甸耕地ニ乏シ、泉水河子ハ即チ泉水河太子河會合點ノ西南ニ在リ南  
方季家堡子ヲ經テ山城溝、蜂蜜砬子等ニ通スルコトヲ得ヘシ  
賽梨寨ハ四村ニ分レ合セテ一百二十戸、人家密集シ概ネ石壁ヲ有シ家屋ノ外觀ハ東村最モ富裕ニ

似タリ、原ト東村ニ一戸中村ニ二戸ノ小舗アリシカ今春馬賊ノ害ニ遭ヒ目下半閉ノ姿ニ在リ、土地  
ハ旗紅冊地及内務府官莊ニ係リ、舊制興京府及遼陽州ノ分界地タリシカ光緒二十九年本溪縣ニ割  
歸セラル、附近ノ平甸耕地約二百五十日地地味普通ニシテ上地毎日地ニ付高粱五石、穀子、包米五石  
内外ノ收穫アリ豊年ニ於テ約五十石ノ輸出力ヲ有スト云フ  
賽梨寨ヨリ太子河ノ北岸ニ沿ヒテ西行シ七支里ニシテ平地盡キ河岸ノ崖道トナル、時偶々出水ノタ  
メ崖下ヲ通スヘカラス乃チ右方ノ嶺ヲ攀チテ北方ノ山中ニ入り柳溝(五)牛馬臺溝(十)ヲ迂回シテ上山  
城寨ニ至リ再ヒ開濶セル平地ニ出テ高麗營子街道ニ岐レ賽梨寨ヨリ二十支里ニシテ下山城寨ニ至  
ル、此附近ノ太子河又ニ二條ニ分岐ス、對岸ハ即チ湯河口ニシテ遙ニ觀音閣小市ヲ望ミ平地ノ開濶セル  
コト望城崗子附近ト大差ナシ河岸ニ多數ノ船筏子碇泊スルヲ見タリ  
山城寨ハ上下ノ兩村ニ分ル相距ルコト八支里、人家密集シ上山城寨ハ六十戸、下山城寨ハ五十戸ア  
リ、夏季ハ太子河ニ沮マレ交通不便ナレトモ冬季ハ凍氷ヲ利用シ小市竝ニ各地ニ至ルコトヲ得ヘ  
シ、太子河岸船筏子供給地ノ最上流ニ當リ此地ヨリ上流ノ農村ニハ所有者ナシ、土地ハ旗紅冊地、民  
紅冊地、順承郡王府地等錯在シ地味概シテ良好ナリ、作付割合ハ高粱四、黃豆三、穀子二、其他一ニシテ  
收穫ハ上地毎日地高粱六石内外ナリ、小市ノ商舗永隆源ノ支店ハ上山城寨ニ在リ  
下山城寨ヨリ平地ニ沿ヒテ西行シ四支里ニシテ前嶺子(十五)ニ至リ平地盡ク、道ハ前嶺子ニ於テ太子  
河ヲ經テ西方ノ岩崖突兀タル石道ヲ攀テ上下四支里ニシテ青石嶺ニ至ル、太子河ハ前嶺子ニ於テ東  
南ニ急折シ更ニ西折シ再ヒ西北折シ雙寨子、謝家嶺子、同江峪、迎水寺、五日地ヲ過キ迂回スルコト十五  
支里、青石嶺ニ至リテ再ヒ陸路ト會ス

青石嶺ハ人家三十戸、後ニ山岳ヲ負ヒ太子河岸僅ニ四十餘日地ノ平地ヲ有スルノミ、對岸ハ太子河ノ急折スル邊岩崖河ニ葢ミ屹立スルモノ四百餘尺、山道ノ人ヲ通スヘキモノナク僅ニ遼河充ノ急嶺ヲ攀チテ南方金坑ニ通スルヲ得ルノミ

青石嶺ノ對岸ハ即チ溫泉寺ノ小平甸地ナリ渡船ノ便ニ依ル、城廠ヨリ以來此地ニ至リテ初メテ太子河ヲ渡ルコトヲ得タリ蓋シ降雨漲水ノ餘獨木舟ノ渡河全ク不能ナリシニ因ル、二支里ニシテ溫泉寺ニ至ル

溫泉寺ハ賽梨寨ヨリ三十支里狀況ハ第一節ニ於テ述ヘタリ、溫泉寺ヨリ下流ハ出水ノタメ渡河危險ナルヘキヲ慮リ即チ太子河ヲ經テ牛心臺ニ至ル間道ニ依ル

道ハ直ニ後方ノ峻嶺ヲ攀チ斷崖ノ中腹ニ佇立スル古洞寺ノ古刹ヲ過キ後嶺ヲ越エ急上急下スルコト十支里ニシテ劉家溝ヲ過ク

劉家溝ハ人家二十戸北方一支里半ニシテ太子河岸ニ至ル、太子河ハ溫泉寺ヨリ北流シ更ニ南折シ迂回十五支里ニシテ此地ニ至ル、河岸ハ斷崖ニシテ道路ナク且急峻ナル傾斜地タモ尙耘耨ヲ加ヘラルルコト從來ノ經過地ニ同シ、對岸ハ即チ故綠溝(二十)ノ小平甸地ナリ

劉家溝ヨリ道ハ再ヒ上昇シ劉家嶺ヲ越エ七支里ニシテ楊家溝ニ至ル、嶺ハ後嶺ニ比シ急峻ナラス、北方遙ニ太子河ノ更ニ北折迂曲スル左岸ニ中寨子(六十)ノ小平甸地(約九十)ヲ望ム

楊家溝ハ人家三十戸東北二支里ニシテ太子河岸ニ至ル、山間溪谷中ニ介在シ四近ハ急峻ナル山嶺ヲ以テ包マレ山上ニハ樹木ナシ、附近ニ炭坑一箇所アリ光緒二十年頃迄開掘セラレタルモ一時休鑛シ昨年ニ至リ溫泉寺ノ住持本悅カ再ヒ開掘ニ著手シ約二萬筐(每筐五十斤)ヲ採掘シタルカ資金缺乏

ノタメ目下休止中ナリト云フ

楊家溝ヨリ山間ノ溪谷ニ沿ヒ西南ニ入ル、路上石礫甚タ多ク加フルニ小川ヲ徒涉スルコト無數ニシテ頗ル歩行ニ艱メリ、五支里ニシテ急峻ナル楊家嶺ヲ越ユレハ即チ紅臉溝ノ溝谷ナリ、二支里ニシテ嶺ヲ下レハ道路漸次平坦ノ度ヲ増シ路上復タ石礫ナク溝谷ノ幅員漸ク寛クシテ一支里乃至二支里トナル、楊家溝ヨリ十五支里、溫泉寺ヨリ總テ三十支里ニシテ紅臉溝ニ至ル

紅臉溝ハ炭坑所在地ニシテ牛心臺ヨリ三支里、輕便鐵道之ニ通ス、狀況ハ第四章第二節ニ於テ述ヘタリ

紅臉溝ヨリ漸次狹谷ヲ出テ西北行シテ牛心臺ノ平地ニ通シ三支里ニシテ牛心臺驛ニ至ル、道路平坦ニシテ附近ノ山岳傾斜頓ニ緩漫トナリ復タ前來ノ如キ峻嶺ノ目ヲ遮ルモノナシ  
牛心臺驛狀況ハ第四章第二節ヲ參照スヘシ

### 本溪湖城廠間經濟調查資料終

天  
地  
人  
和  
萬  
事  
皆  
有  
道



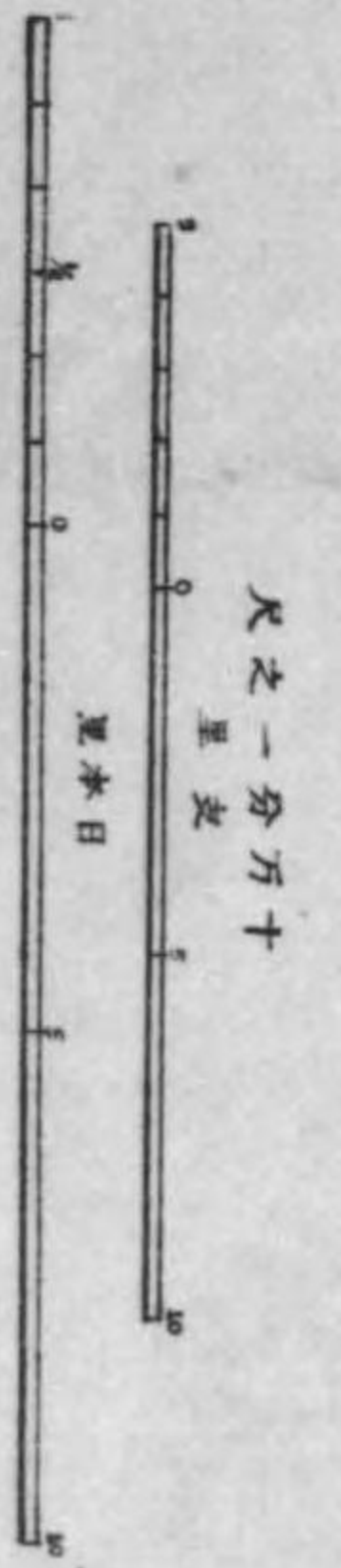
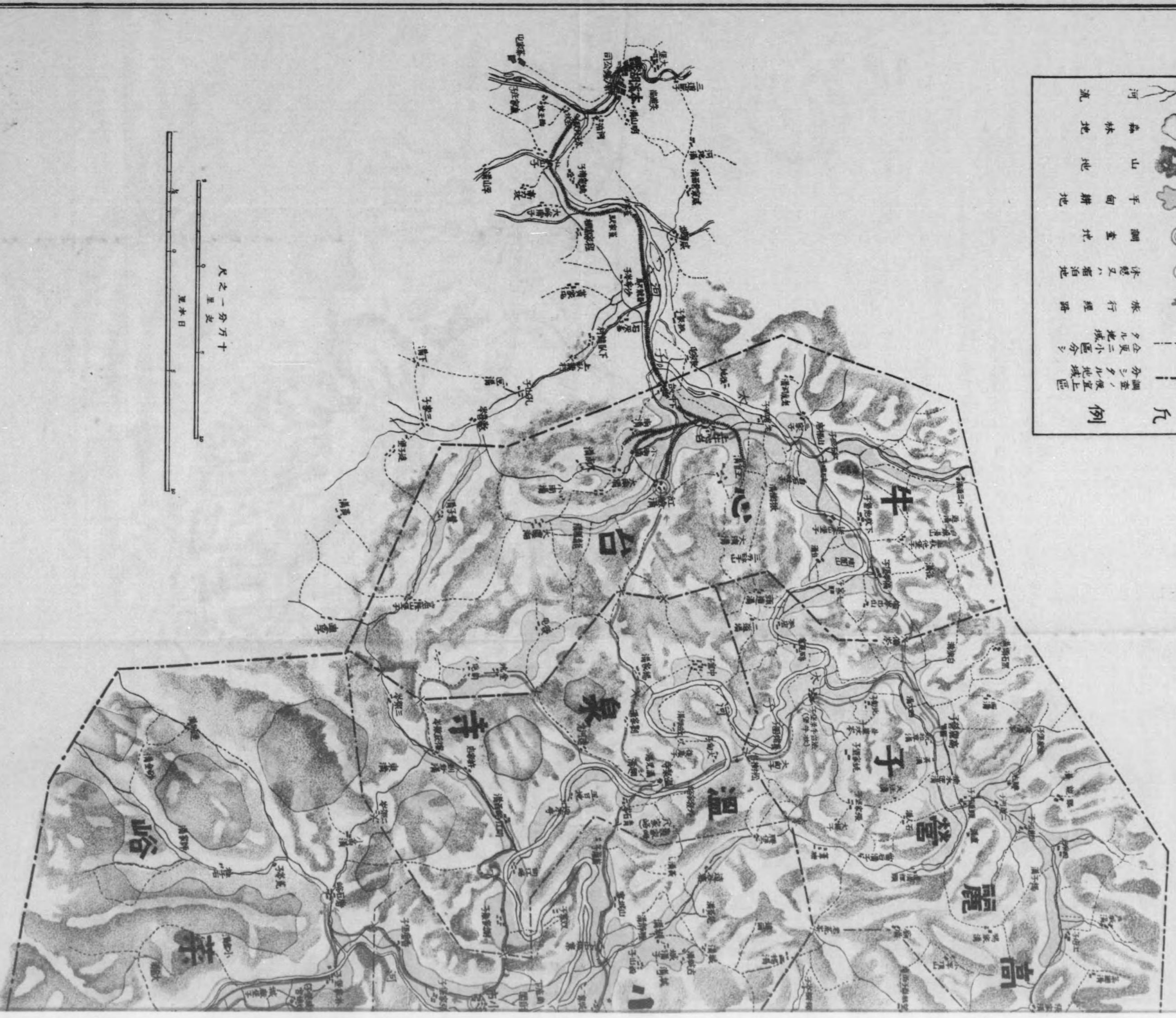
本  
圖  
係  
由  
某  
局  
繪  
製



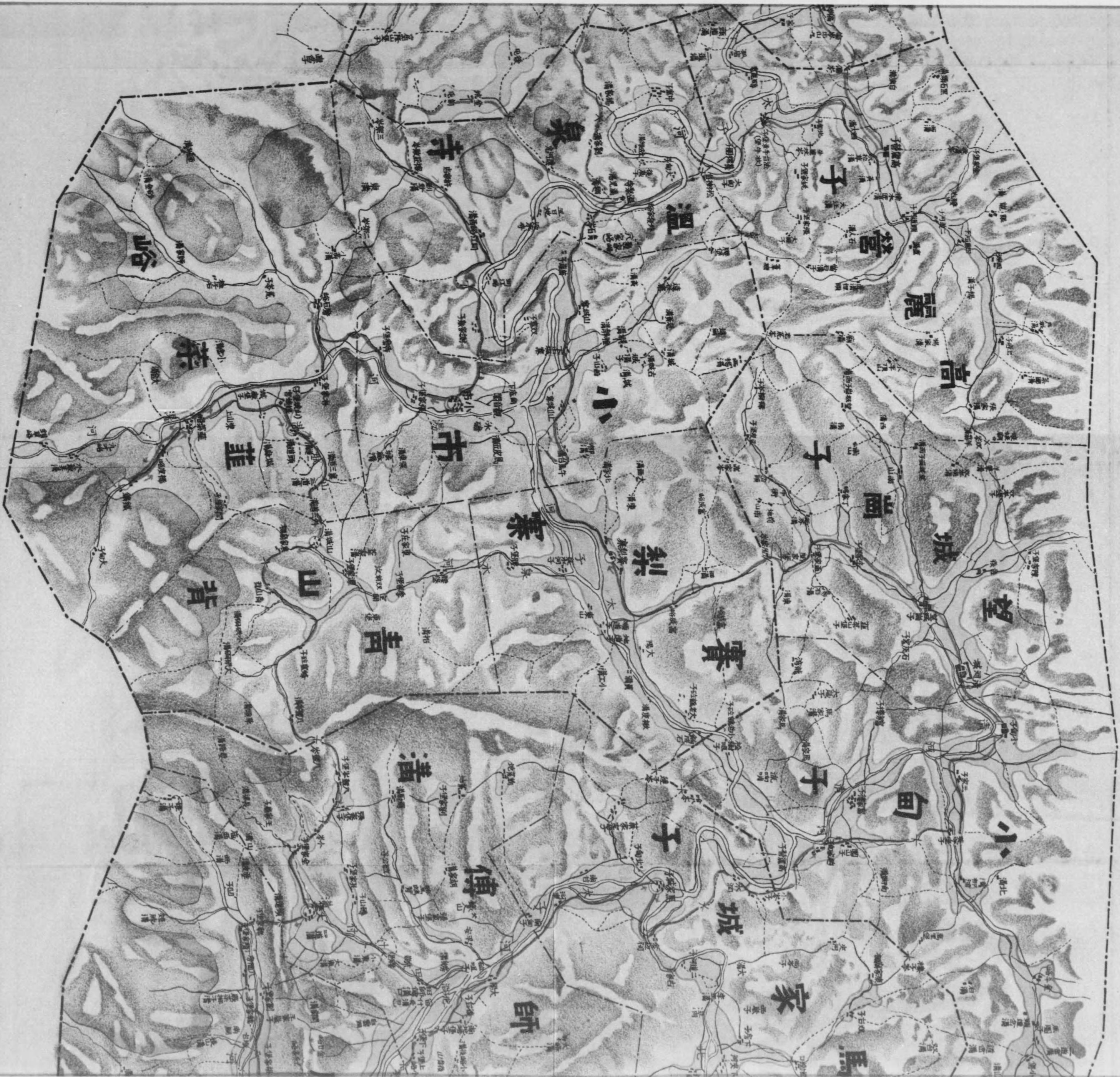
# 高麗子温泉台地調査圖

凡例

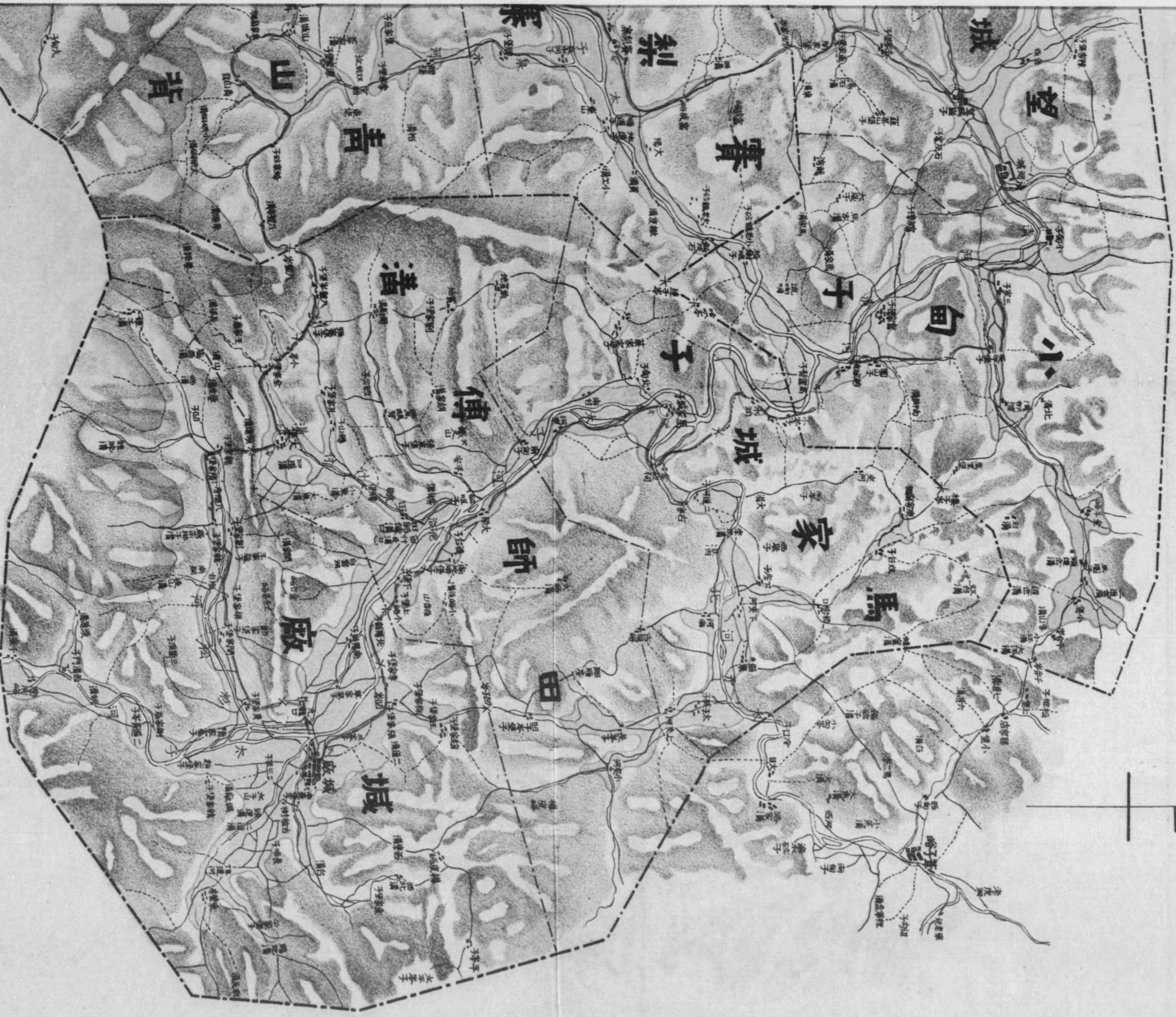
調査ノ復査上區	---
分々ノ小區域	- - -
クハ地塊	—
旅行経路	—
休憩又ハ宿泊地	○
調査地	◎
平甸耕地	⊞
山地	⊞
森林地	⊞
河流	—

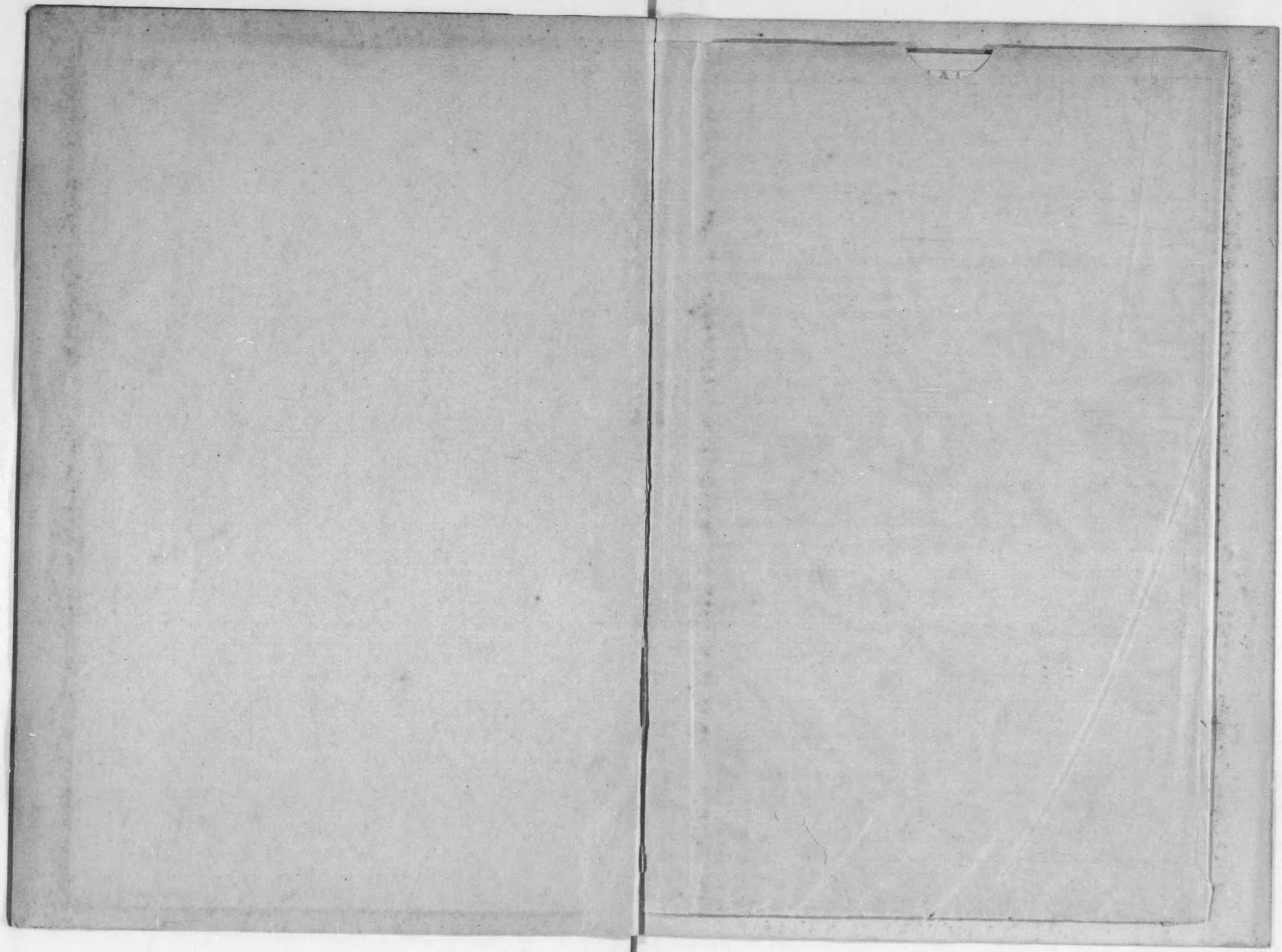


本溪湖列城關師圖



# 小南河子城地圖





321  
173



終